

REAL RACING

MAGAZINE FOR REAL MOTORCYCLISTS

臨時増刊

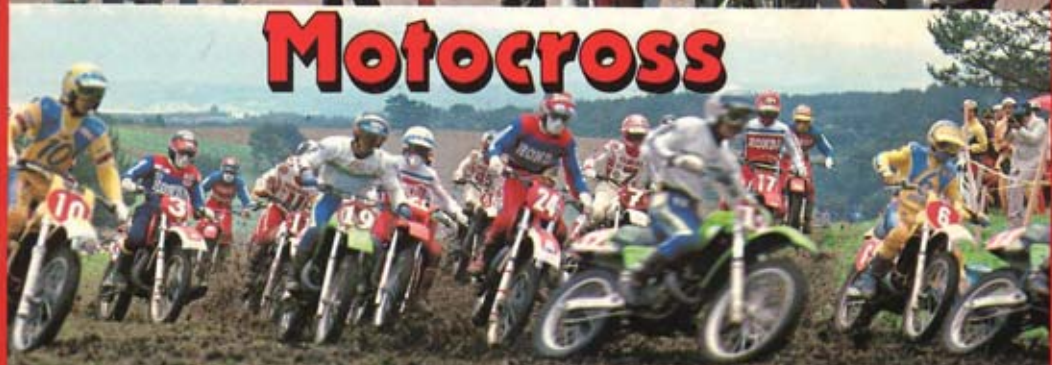
特集:1981年版

MFJ国内競技規則

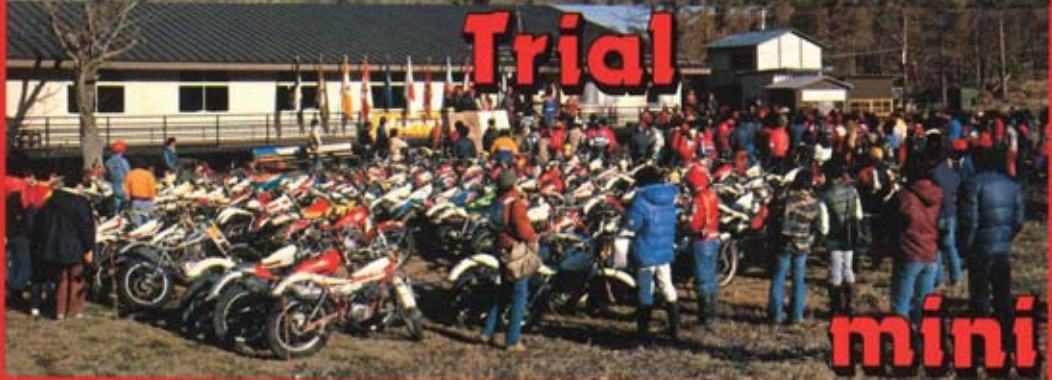
Road Race




Motocross



Trial



mini

 日本モーターサイクル協会



信頼に憑る技術のスズキ

SUZUKI

★ヘルメットをかぶりましょう★自賠責保険をお忘れなく

1980 MOTO-CROSS WORLD CHAMPION-

SHIP 250c.c./

125c.c. CLASS.

スズキ、

6 年連続メーカー&ライダー

完璧な勝利。

チャンピオン獲得!!

ワールドMXGP
125c.c.クラス。

メーカー&ライダー・チャンピオ

1980年モトクロス世界選手権125c.c.クラス6年連続メーカー&ライダー・チャンピオンの偉業達成。250

NEW

RM250

G.ジョへのライティングで、チャンピオンを
奪還したRH80のフルレプリカ版。



FULL FLOATER

●空冷・2ストローク・単気筒・フルリード・バルブ ●最高出力41.5ps/8,000rpm ●最大トルク3.9kg-m/
6,500rpm ●5段リターン変速 ●フル・フローター・サスペンション ●標準現金価格¥365,000

NEW

RM125

6年連続メーカー&ライダー・チャンピオン
獲得RA80のフルレプリカ版。



FULL FLOATER

●水冷・2ストローク・単気筒・フルリード・バルブ ●最高出力30.5ps/10,500rpm ●最大トルク2.08
kg-m/9,750rpm ●6段リターン変速 ●フル・フローター・サスペンション ●標準現金価格¥297,000



モトクロス世界選手権は、ヨーロッパ、アメリカを転戦して、チャンピオンシップを決める苛酷なレースです。1980年、スズキはこのモトクロス世界選手権で2階級(250cc・125cc)を完全に制覇。世界のモトクロス・ファンにスズキの優秀さを実証しました。



H. エパーツ 1979年、1980年モトクロス世界選手権125ccクラスチャンピオン。



G. ジョベ 1980年モトクロス世界選手権250ccクラスチャンピオン。

ン奪還!!

ワールドMXGP
250ccクラス。

ccクラス、メーカー&ライダー・チャンピオン獲得。

NEW RM80

チャンピオン・マシンの血統を受け継ぐ本格的ミニモトクロスカー。



●空冷・2ストローク・単気筒・パワーワードバルブ ●最高出力17ps/11,500rpm ●最大トルク1.08kg・m/10,000rpm ●6段リターン変速 ●標準現金価格¥155,000

NEW RM50

チャンピオン・マシンの血統を受け継ぐミニモトクロスカー。



●空冷・2ストローク・単気筒・パワーワードバルブ ●最高出力8.0ps/10,000rpm ●最大トルク0.58kg・m/9,500rpm ●5段リターン変速 ●標準現金価格¥113,000

●カタログをご希望の方は、カタログ請求券と切手150円分を同封のうえ、〒432静岡県浜松市外高塚300鈴木自動車工業株式会社32輪企画課RM係へお送りください。

RM
長一編

新発売



多様性に多機能を求めたらヘルメットもデュアルパーパスになった

シールドとバイザーに注目。NARVA Z-5000は道を選びません。こだわりません。あくまでもライダーまかせ、どんな道にも対応可能なオールラウンドプレイヤーです。これまでの「オン・オフ」といったヘルメットの使い分け・概念をもう一度根底から見直し生みだされたヘルメットです。あらゆる挙動変化から生ずるスレを防止。起伏に富んだ道にも、高速走行にも、常に安定したフィット感を保ちます。道を選ばず。ライダーを区別しないNARVA Z-5000。いま、ライティングワールドはさらに広がります。

Speed in / Fashion in
NARVA Z-5000

◎サイズ：M・L
◎カラー：ホワイト・ブラック
◎ラバーバイザーとシールド付
◎11,500

カラーバイザー 裏面付、お好みでバイザー
とシールドを装着。◎カラーリングは、ブラック
とレッド。◎¥2,980。フロントとリアのシールドに装
着可能。フロントバイザーは、透視性の高いポリカ
ロニウム製。シールドは、裏面付。◎¥1,500

ゴールド
パラジウム
プラグ

GPよ！俺れのマシンを

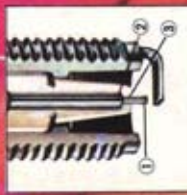
燃やせ。



GPプラグは、2輪・4輪共に最高の走りを追跡しました。

愛車の動力性能向上にさせる高性能プラグが実現しました。チャンピオンGPプラグは、中心電極に真鍮合金・白金コートパラジウムを併用して直径1mmの細径を実現。着火に対する要求以上の燃焼により、低速から高速まで全回転域にわたってアクセルレスポンスの向上をお約束します。燃費も向上。我が社のレースで指えぬか、ねたチャンピオン独自の技術により、耐久性、信頼性も確かです。

- ① 火花の強いゴールド・パラジウム電極
- ② チャンピオンだけのフルカバー型端子
- ③ 1mm径の先端を支える強固な電極構造



Kenny Roberts



世界中で愛されるスパークプラグ



日本チャンピオンスパークプラグ株式会社 横浜港郵便局私箱48号 電話(045)641-5876(代表)

- 北海道 札幌 ①011704-0131 鶴 ①0149-8181 ヤマハ電機センター ①75-02 旭川 旭川市南1条10-7 (03)502-2841 ヤマハ電機センター ①75-02 旭川 旭川市南1条10-7 (03)502-2841
- 青森県 青森 ①01724-0131 ヤマハ電機センター ①125 青森 区 向陽 4-9-11 (03)640-0651 ヤマハ電機センター ①760 青森 市 旭 町 3-24-10 (019)31-3811-3
- 岩手県 盛岡 ①01922-0131 ヤマハ電機センター ①420 盛岡 市 旭 町 6-7-3 (0534)83-0411 ヤマハ電機センター ①333 盛岡 市 東 山 町 2-1-1 (0425)13-4711
- 宮城県 仙台 ①02221-0131 ヤマハ電機センター ①010 仙台 市 青葉 区 大田町 1-15 (018)225-0315 ヤマハ電機センター ①662 仙台 市 北 区 北 山 2-34 (053)913-2121
- 秋田県 秋田 ①01822-0131 ヤマハ電機センター ①509-31 盛岡 市 東 区 東 山 町 大字 8475 (0775)72-627-2
- 山形県 山形 ①02321-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 福島県 福島 ①02421-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 茨城県 水戸 ①02721-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 栃木県 宇都宮 ①02821-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 群馬県 前橋 ①02721-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 埼玉県 さいたま市 ①04821-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 千葉県 千葉 ①04321-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 東京都 東京 ①03221-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 神奈川県 横浜 ①04521-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 新潟県 新潟 ①02521-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 富山県 富山 ①07621-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 石川県 金沢 ①07621-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 福井県 福井 ①07621-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 山梨県 山梨 ①05521-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 長野県 長野 ①02621-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 岐阜県 岐阜 ①05721-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 静岡県 静岡 ①05421-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 愛知県 名古屋 ①05221-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 三重県 津 ①05721-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 滋賀県 彦根 ①07521-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 京都府 京都 ①07521-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 大阪府 大阪 ①06221-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 兵庫県 神戸 ①07821-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 奈良県 奈良 ①07421-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 和歌山県 和歌山 ①07321-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 徳島県 徳島 ①08721-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 香川県 高松 ①08721-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 愛媛県 松山 ①07921-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 高知県 高知 ①09821-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 福岡県 福岡 ①09221-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 佐賀県 佐賀 ①09521-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 熊本県 熊本 ①09621-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 大分県 大分 ①09721-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 鹿児島県 鹿児島 ①09921-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111
- 沖縄県 那覇 ①09821-0131 ヤマハ電機センター ①438 磐田市 新 貝 2500 TEL (05388) 2-1111

ヤマハ発動機株式会社 営業部部品課

“400”DOHC・マルチ



「DOHC4気筒」——400ccアメリカンとして唯一のメカニズムをもつLTD-IIには、クロスオーバーな魅力が一杯です。フルバックハンドルとティアドロップタンク、そしてハイバックシートというビュアなアメリカンスタイルから想像できる悠々とした走り。とりわけ中低速での粘り強い安定したトルク特性が市街地走行などでも疲れを知らないおおらかな乗り心地を約束します。ひとたびハイウェイに出ればメカニカルなスポーツ感を満喫できるDOHCマルチの豪快なパワーノリーディングアクスルフロントフォーク（セミエアサス）や小径ワイドリヤタイヤの装備で直進性・安定性にすぐれダイナミックなスポーツランの世界へとまねきます。81年のツアラーイメージを具体化したスーパーアメリカンZ400LTD-II。発売以来、絶賛されている“クオリティ”にご注目ください。



ヘルメットをかぶりましょう。
安全のため、必ず着用して正しくお乗りください。



点検整備を忘れずにしましょう。
定期点検は必ず受け、日常の点検も必ず行いましょう。



車は正しい仕様で乗りましょう。
安全のため車の改造はやめ、正しくお乗りください。

これがスーパーアメリカン。



Z400LTD-II

DOHC 4 気筒

●4サイクル4気筒・DOHCエンジン ●最高出力43ps/9,500rpm ●カラー
…ルミナスミッドナイトレッド・エゴニー ●標準現金価格 ¥425,000

 **Kawasaki**

川崎重工業株式会社・カワサキオートバイ販売株式会社 / 〒673 明石市川崎町1-1

ライダーの命綱。



TSUBAKI

HEAVY-DUTY OILLESS

MOTORCYCLE CHAIN HSL-NP_{TYPE}

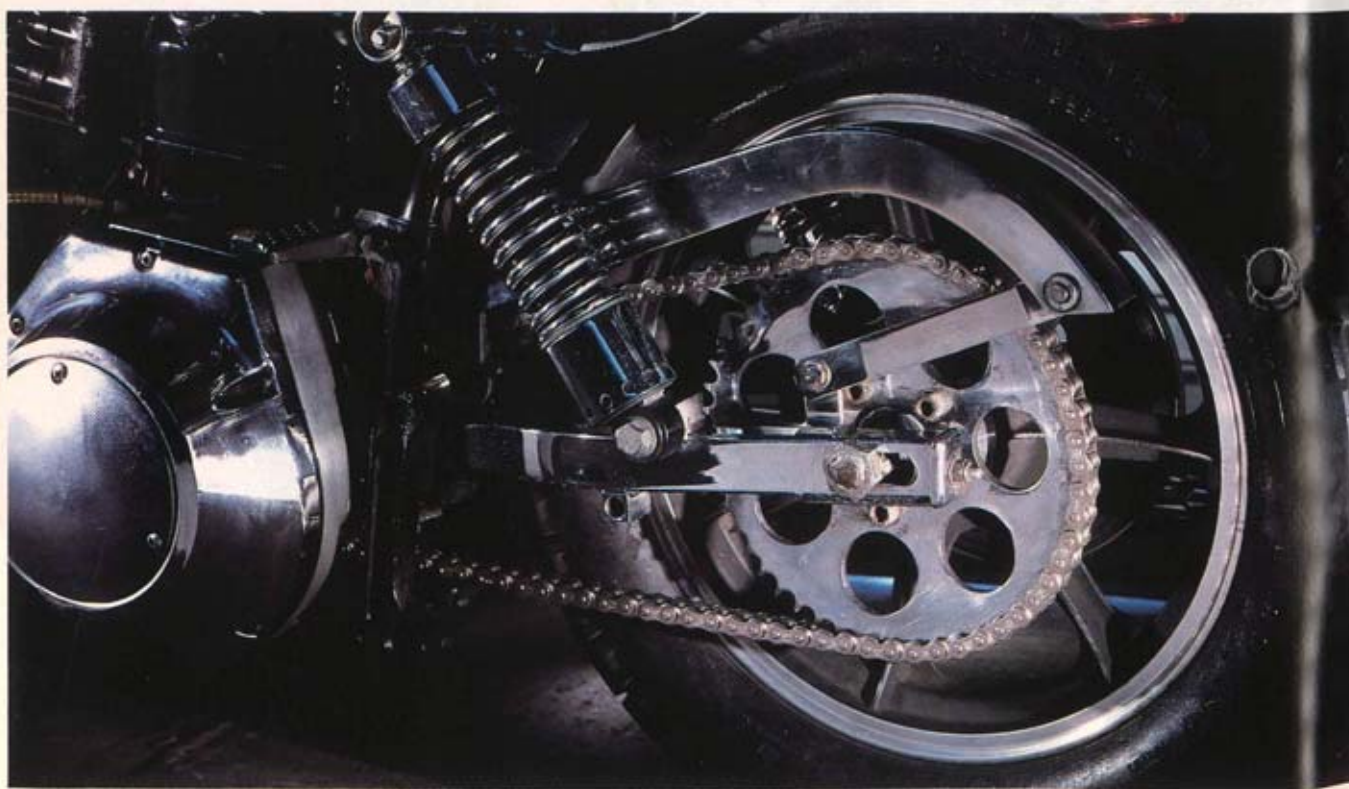
スムーズ & サイレント。オイルレス・チェーンが走りを変えた。

チェーン機能を本質的に問い直し、チェーンとはかくあるべきだとの結論を明解に示したツバキHSL-NPシリーズ。苛酷な条件を克服する抜群の耐錆・耐久性、セルフ・ルブ機構、低いチェーン音…。ライダーのテクニックが、直接タイヤに伝わります。



全国のオートバイ
用品ショップにて発売中

420 HSLNP-102L	¥ 5,300	530 HSLNP- 98	¥ 8,100
420 HSLNP-110	¥ 5,700	530 HSLNP-100	¥ 8,300
428 HSLNP-110	¥ 6,700	530 HSLNP-106	¥ 8,800
428 HSLNP-120	¥ 7,300	530 HSLNP-108	¥ 8,900
520 HSLNP-110	¥ 9,000	630 HSLNP- 96	¥12,000
530 HSLNP- 96	¥ 8,000		



株式会社 橋本チエイン

株式会社 営業第4本部
いものをつつまでも 大沢商会 開発課
〒108 東京都港区芝浦4-2-8 ☎(03)455-0111

株式会社 谷尾商会
大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎(06)358-0651



クイックシルバー

ロングツリー
グからライダーを守
る本格的フェアリング。
ヴェッター
●フェアリングセット(ヘッドラン
プユニット、取付金具付) ●カラー
/ホワイト/ブラック/シルバー

vetter
MADE IN U.S.A.

ウインドジャマーⅡ

MIF J承認部品

F-1の実績が生きるショック
アブソーバーの代名詞。コニー。
●各種種類のあり

KONI
MADE IN HOLLAND

大型専用

間隙に一枚、
伝統のレンズカットが映える
ランプの名門。マーシャル。
●2輪用ヘッドランプユニット
●クワンライト付 ●専用リムを使用

MARCHAL
MADE IN FRANCE

中型専用



空気力学の結晶。ノラン。

NOLAN
MADE IN ITALY



NBI

モトクロスの覇者。スコット。
●ゴータル ●フェイスガード ●プラス
チックブーツ

SCOTT
MADE IN U.S.A.



ジェット



世界の
トップライダーが愛用する
モトクロスグッズ。
ミニサロ。
●グローブ ●各種プロテクター

SINISALO
MADE IN FINLAND

ミニジェット



抜群のフィット感。選ばれたライ
ダーの為にレーザーツ。RG。
●ロード ●モトクロス ●エンデュロ
●各種サイズあり

RG
MADE IN ITALY

雨の日の
ライディングに特殊縫製
のレインスーツ。ルッカ。
●カラー/ブルー/オレンジ

rukka
MADE IN FINLAND



ライディング機能に
フックシヨンをプラスした
モトクロスウエアー。マルコムスミス。
●ホンダ ●ヤマハ ●カワサキ ●スズキ

malcolm smith
MADE IN U.S.A.



●この広告に関するお問合せは下記へ……

日本総代理店 **FET** 極東

林福東 千157 東京都世田谷区千歳台 4-20-11 電話(464)3179
支店: 大阪 営業所: 札幌・仙台・小山・新潟・東京・名古屋・広島・福岡

信号旗



スタート
国旗またはシグナル緑



黄色縦縞の赤旗
コース上にオイルあり注意



緑旗
先に示した合図解除



赤旗
全ライダーはただちに停まれ!!



青旗
追越車あり進路をゆずれ!!



黄旗
危険あり注意。振られた場合は大いに危険!! スピードダウン徐行せよ!!



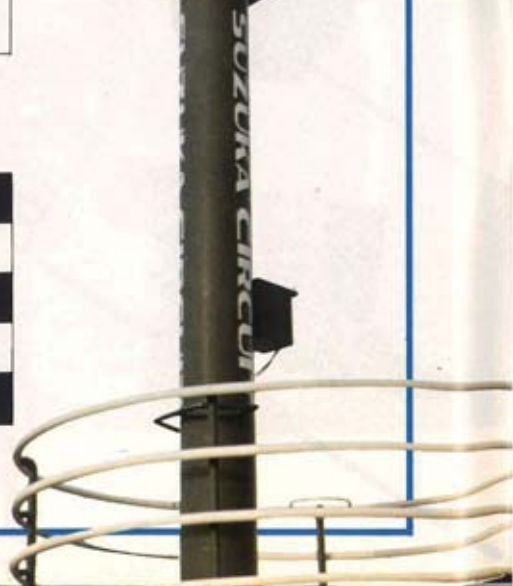
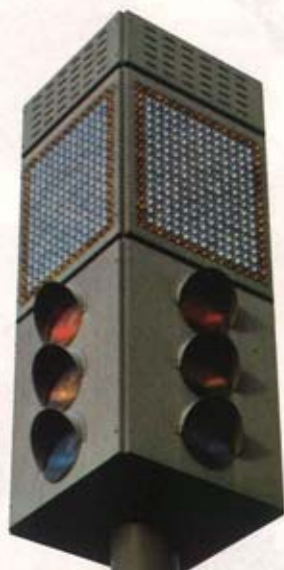
白旗または赤十字旗
コース上に救急車あり!!



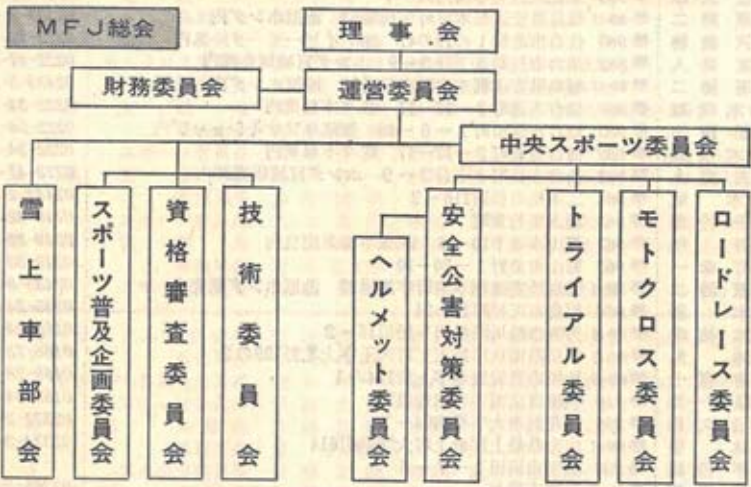
黒旗
指示されたライダーは走行停止せよ!!



チェッカー旗
レース終了!! キミはゴールした



'81 躍
M 進
F !!
J



日本モーターサイクル協会
MFJ(エム・エフ・ジエイ)
会長・石塚秀男

MFJ全国スポーツ組織

北海道モーターサイクル協会顧問	横井七之助	☎060	札幌市中央区北2条東1丁目	北海道マツダ販売㈱	011-221-9181
会 長	本多行夫	☎063	札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
副会長	阿部捷兵衛	☎065	札幌市東区北30条東1丁目	㈱スズキ自販北海道	011-721-8311
常任理事	和田庄太郎	☎060	札幌市中央区南3条西1丁目	㈱アヤマモーターサイクル	011-281-6431
常任理事	日坂三郎	☎062	札幌市白石区本通り4丁目北99	カワサキ東日本販売㈱	011-871-3170
事務局長	川山力吉	☎065	札幌市東区東雁来町52	北海道モーターサイクル協会	011-782-1492
スポーツ委員長	佐藤秀行	☎063	札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
モトクロス委員長	佐藤秀行	☎063	札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-281-6421
トライアル委員長	館谷孟行	☎062	札幌市豊平区豊平2条5丁目	㈱アヤマモーターサイクル	011-823-1980
スノースクランブル委員長	佐藤秀行	☎063	札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
スポーツ委員	長谷川軍一	☎060	札幌市中央区南3条西1丁目	北日本ホンダ販売㈱	011-281-6421
スポーツ委員	木村一廣	☎065	札幌市東区北30条東1丁目	㈱スズキ自販北海道	011-721-8311
スポーツ委員	日坂三郎	☎062	札幌市白石区本通り4丁目北99	カワサキ東日本販売㈱	011-871-3170
スポーツ委員	館谷孟行	☎062	札幌市豊平区豊平2条5丁目	㈱アヤマモーターサイクル	011-823-1980
札幌室蘭支部 支部長	本多行夫	☎063	札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
副支部長	阿部捷兵衛	☎065	札幌市東区北30条東1丁目	㈱スズキ自販北海道	011-721-8311
スポーツ委員長	阿部捷兵衛	☎063	札幌市西区24軒1条7丁目	北海道ヤマハ㈱	011-641-2711
函館支部 支部長	山崎徳三	☎040	函館市美原3-38-34	北海道ヤマハ㈱	0138-46-1466
副支部長	布施勇夫	☎040	函館市梁川町2-4	本田技研工業㈱	0138-52-2101
スポーツ委員長	佐々木昭夫	☎040	函館市高砂町9-18	函館スズキ販売㈱	0138-53-0555
旭川支部 支部長	細川悦郎	☎070	旭川市1条5丁目	㈱細川商会	0166-22-7301

旭川支部	副支部長	藤野良	☎078-02	旭川市永山2条1丁目	韓スズキ自販北海道	0166-48-1186
旭川支部	スポーツ委員長	本野野	☎070	旭川市4条西7丁目	嵯峨ビル1F 北海道ヤマハ㈱	0166-23-9151
北見支部	支部長	小野野	☎090	北見市大町42	道東ホンダ販売㈱	0157-23-7551
北見支部	副支部長	相模山	☎090	北見市本町4丁目1-14	北海道ヤマハ㈱	0157-24-4351
北見支部	スポーツ委員長	利富雄	☎090	北見市西富町112-1	北見スズキ㈱	0157-24-1866
帯広支部	支部長	石川光	☎080	帯広市東1条西4丁目10	帯広ホンダモーター㈱	0155-23-8151
帯広支部	副支部長	石川美	☎080	帯広市西2条南1丁目20	旭川源自転車店	0155-24-5064
帯広支部	スポーツ委員長	石川正	☎080	帯広市西5条北1-4	北海道ヤマハ㈱	0155-24-2438
釧路支部	支部長	岡田正	☎084	釧路市鳥取大通8丁目8の13	本田技研工業㈱	0154-51-1475
釧路支部	副支部長	岡田正	☎			
釧路支部	スポーツ委員長	三浦男	☎085	釧路市南浜町2-30	北海道ヤマハ㈱	0154-23-3345
M E J 東北スポーツ委員会	委員長	塚本龍昌	☎963	郡山市堤下町10-8	塚本輪業商会	0249-22-1784
M E J 東北スポーツ委員会	副委員長	猪股謙一	☎980	仙台市二日町11-14		0222-24-0214
M E J 東北スポーツ委員会	副委員長	高橋道久	☎030	青森市浪館字前田21-15		0177-81-2481
M E J 東北スポーツ委員会	副委員長	高木文雄	☎982	仙台市長町3丁目3-9	ホンダ宮城販売㈱内	0222-47-0123
M E J 東北スポーツ委員会	コミッショナー	大角金孝	☎031	八戸市売布70		0178-43-5497
M E J 東北スポーツ委員会	特別顧問	斉藤三千雄	☎980	仙台市北根1の19の41	㈱アイビーモーターズ内	0222-73-0475
M E J 東北スポーツ委員会	顧問	藤田久	☎09-01	青森市金浜字伊吹69-4		0177-39-2125
M E J 東北スポーツ委員会	監査役	佐々木俊雄	☎980	仙台市通町2-17-17	佐々木輪業内	0222-34-4832
M E J 東北スポーツ委員会	監査役	小松原久	☎995	尾花沢市大字横内94-1		02372-2-4223
M E J 東北スポーツ委員会	監査役	池原勝二	☎96-11	福島県安達郡本宮町字馬場83	池原ホンダ内	02433-3-2455
M E J 東北スポーツ委員会	事務局	長沢義勝	☎980	仙台市北根1の19の41	㈱アイビーモーターズ内	0222-73-0475
M E J 東北スポーツ委員会	トライアル委員会委員長	大池友勝	☎982	仙台市長町3丁目3-9	ホンダ宮城販売㈱内	0222-47-0123
M E J 東北スポーツ委員会	副委員長	大池友勝	☎96-11	福島県安達郡本宮町字馬場83	池原ホンダ内	02433-3-2455
M E J 東北スポーツ委員会	ロードレース委員会委員長	佐々木俊雄	☎980	仙台市通町2-17-17	佐々木輪業内	0222-34-4832
宮城県スポーツ委員会	委員長	服部謙治	☎983	仙台市福田町1-6-46	服部カワサキショップ内	0222-58-1724
宮城県スポーツ委員会	事務局	佐々木俊雄	☎980	仙台市通町2-17-17	佐々木輪業内	0222-34-4832
宮城県トライアル部	会長	佐々木俊	☎982	仙台市長町3丁目3-9	ホンダ宮城販売㈱内	0222-47-0123
福島県スポーツ委員会	委員長	佐々木行	☎964	二本松市松岡216-2		02432-2-3541
福島県スポーツ委員会	事務局	増野行雄	☎963	郡山市若葉町		0249-32-1546
福島県トライアル部	会長	柳原幸一	☎963	郡山市堤下10-8	㈱塚本輪業商会内	0249-22-1784
福島県トライアル部	事務局	藤原勝	☎963	郡山市桑野1-20-10		0249-33-6771
福島県雪上車スポーツ部	会長	藤原勝	☎96-11	福島県安達郡本宮町字馬場83	池原ホンダ販売内	02433-3-2455
秋田県スポーツ委員会	委員長	鈴木祐	☎09-05	男鹿市船川港船川字船川15-2		0185-24-2725
秋田県スポーツ委員会	事務局	三浦勉	☎09-01	秋田県南秋田郡天王町天王字上北野139の2		0188-73-3271
秋田県トライアル部	委員長	佐藤廉一	☎09-15	秋田市豊登豊巻字上野174の1		0188-28-2986
秋田県トライアル部	事務局	佐藤廉一	☎010	秋田市広面字谷内佐波38		0188-34-0695
山形県スポーツ委員会	委員長	小林久雄	☎995	尾花沢市大字横内94-1		02372-2-4223
山形県スポーツ委員会	副委員長	小林久雄	☎96-01	山形県最上郡最上町大字向町614		02334-3-2912
山形県スポーツ委員会	副委員長	万松雄	☎998	酒田市浜田1-7-6		
山形県内陸トライアル部	委員長	村形保	☎99-3	天童市荒谷		02365-3-8828
山形県内陸トライアル部	事務局	関野保	☎998	酒田市本町1-2-27		
山形県庄内トライアル部	委員長	関野保	☎99-01	山形県最上郡最上町大字向町196	最上ホンダ店内	02334-3-2912
山形県スポーツ委員会	事務局	阿部利行	☎990	山形市錦町1-15	三島モーターズ内	0236-33-0361
山形県トライアル部	事務局	阿部利行	☎09-57	二戸市金田一駅前		01952-7-3028
岩手県スポーツ委員会	委員長	岩崎博	☎025	花巻市桜町		01982-4-7356
岩手県スポーツ委員会	副委員長	岩崎博	☎025-57	二戸市金田一下下山井9-2		01952-7-3508
岩手県スポーツ委員会	事務局	岩崎博	☎020	盛岡市長田町4-14	田中ホンダ内	0196-22-7448
岩手県トライアル部	会長	田中清也	☎08-27	青森県西津軽郡鯉ヶ沢字小夜230の7		01737-2-4910
青森県スポーツ委員会	委員長	瀬田高永	☎09-01	青森市金浜字伊吹69-4		0177-39-2125
青森県スポーツ委員会	副委員長	瀬田高永	☎030	青森市小柳字唐橋124市営10の17		0177-22-5511
青森県スポーツ委員会	事務局	山本金	☎030	青森市松森字福田79-15	山本モーターズ内	0177-43-6282
関東信越モーターサイクル協会	会長	石塚秀男	☎108	東京都港区港南3-3-10	東京都軽自動車協会内	03-472-6241
関東信越モーターサイクル協会	事務局	大場光				
関東信越モーターサイクル協会	事務局	大場光				
関東スポーツ委員会	委員長	高久保一	☎176	東京都練馬区平和台3-5-2		03-933-5282
関東スポーツ委員会	副委員長	高久保一	☎108	東京都港区芝5-33-8	三菱自販㈱ホルトスポーツコーナー内	03-456-1111
関東スポーツ委員会	顧問	新妻一	☎184	小金井市本町5-38-3		0423-81-7272
関東スポーツ委員会	顧問	外川一	☎955	三条市四の町232	丸山輪業内	02563-2-2612
関東スポーツ委員会	企画委員会委員長	大久保良	☎184	小金井市本町5-38-3		0423-81-7272
関東スポーツ委員会	審査委員会委員長	大久保良	☎192	八王子市石川町2456		0426-37-3931
関東スポーツ委員会	ロードレース委員会委員長	大久保良	☎123	東京都足立区江北6-9-9		03-890-8172
関東スポーツ委員会	副委員長	野野靖	☎196	昭島市拝島町280	昭島田中町住宅23-303	0425-45-6379
関東スポーツ委員会	トライアル委員会委員長	高上成	☎211	川崎市中原区中九子776の6		044-411-8618
関東スポーツ委員会	副委員長	原保省	☎211	川崎市中原区新九子東1-9-83		044-422-1559
関東スポーツ委員会	副委員長	安住三	☎132	東京都江戸川区東小松川4-40-8	㈱大月ヤマハ内	03-656-5415
関東スポーツ委員会	スノーモビル委員会委員長	大月信和				

東京都	支 部	長	岩田定雄	☎108	東京都港区港南3-3-10	東京都軽自動車協会内	03-472-6241
"	事務局長	久司	雄夫	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	宮城上	☎123	東京都足立区江北6-9-6	榑村上製作所内	03-896-5865
"	副委員長	長	香川秀行	"	"	"	"
"	副委員長	長	馬場州忠	☎114	東京都北区滝野川7-10-2	香川モータース	03-915-8209
神奈川県	支 部	長	大庭雄稔	☎354	富士見市勝瀬940-10	"	0492-64-8461
"	事務局長	加藤克典	丸文	☎226	横浜市緑区池辺町中里前3575	神奈川県軽自動車協会内	045-931-4290
"	スポーツ委員	長	山崎清好	"	"	"	"
埼玉県	支 部	長	河原井源一	☎330	大宮市中釘2082	埼玉県軽自動車協会内	0486-24-1221
"	事務局長	滝沢又之	啓明	"	"	"	"
群馬県	支 部	長	宮森敬明	☎379-21	前橋市野中町稲荷下518	群馬県軽自動車協会内	0272-61-0505
"	事務局長	宮崎之作	雄	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	小八木喜一郎	☎370	高崎市八千代町3-8-17	宮森ビル	0273-22-2659
千葉県	支 部	長	小室文男	☎280	千葉市新港207	千葉県軽自動車協会内	0472-42-3321
"	事務局長	阿子島俊	美	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	伊藤喜代美	☎310	水戸市住吉町307	茨城県軽自動車協会内	0292-47-5832
茨城県	支 部	長	松本栄太郎	"	"	"	"
"	事務局長	入江美雄	皓	☎310	水戸市住吉町123	小室モータース内	0292-47-5215
"	スポーツ委員	長	原賀保男	☎320	宇都宮市西川町字東原1664-3	栃木県軽自動車協会内	0286-45-0958
栃木県	支 部	長	西谷修司	"	"	"	"
"	事務局長	加藤明男	光	☎321-21	宇都宮市石井町2731	"	0286-61-3560
"	スポーツ委員	長	藤原茂	☎324	大田原市戸野内417	"	02872-3-0812
山梨県	支 部	長	古保裕修	☎406	山梨県八代郡石和町磨柏791-1	山梨県軽自動車協会内	05526-2-7548
"	事務局長	高田明	男	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	加山良彦	☎404	山梨県東八代郡一宮町橋立95	スポーツショップ西谷内	05534-7-1476
新潟県	支 部	長	山田友太郎	☎950	新潟市大形本町117-3	新潟県軽自動車協会大形事務所内	0252-75-5704
"	事務局長	青木徳光	"	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	西	☎950	新潟市出来島259	新潟県軽自動車協会内	0252-47-6286
長野県	支 部	長	宮崎	☎380	長野市大字西和田字東和田境438-3	長野県軽自動車協会内	0262-43-1967
"	事務局長	徳光	"	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	西	☎390	松本市出川町1643	モトショップヒロ内	0263-25-6539
中部モーターサイクル協会	会 長	宮崎一	枝	☎422	静岡県国吉田32-7	静岡県軽自動車協会内	0542-61-4455
"	事務局長	松永唯夫	義	"	"	"	"
"	トライアル委員	長	鈴木光正	☎470-01	愛知県愛知郡東郷町諸輪字東59-99	"	05613-8-0736
"	スポーツ委員	長	伊藤外次郎	☎433	浜松市上島町173-1 (自宅)	"	0534-63-3265
富山県	支 部	長	斎藤義男	☎930	富山市藤ノ木521-1	富山県軽自動車協会内	0764-24-6420
"	事務局長	斎藤三幸	松	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	川村一弘	☎930	富山市藤ノ木台3-16 (自宅)	"	0764-25-6824
石川県	支 部	長	加藤三好	☎920	金沢市入江3-134	石川県軽自動車協会内	0762-91-7111
"	事務局長	泉井	一	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	村上幸一	☎921	金沢市泉本町1-133 (自宅)	"	"
福井県	支 部	長	井上信二	☎910-27	福井市浅水町138字植木11-2	福井県軽自動車協会内	0776-38-0558
"	事務局長	井上善吉	武	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	井上好	☎501-02	岐阜県本巣郡徳積町大字別府花塚三ノ町2226-5	岐阜県軽自動車協会内	05832-6-5982
岐阜県	支 部	長	井上徹	"	"	"	"
"	事務局長	井上芳	司	☎463	名古屋市守山区守山字間黒71-1	カワサキ中日本販売機名古屋留	"
静岡県	支 部	長	松永初枝	☎422	静岡県国吉田32-7	静岡県軽自動車協会内	0542-61-4455
"	事務局長	藤田光夫	夫	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	伊藤之男	"	"	"	"
愛知県	支 部	長	寺尾彦彦	☎468	名古屋市昭和区天白町大字八事字富士見ヶ丘110の6	愛知県軽自動車協会内	052-833-9276
"	事務局長	尾田之男	"	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	島田彦彦	☎455	名古屋市中村区稲葉地町3-8	"	052-412-5154
三重県	支 部	長	野村寄田	☎514	津市港町19-12	三重県軽自動車協会内	0592-24-1111
"	事務局長	野村寄田	"	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	荒木幸保	☎514	津市東丸の内14-32	カワサキ中日本販売機三重営業所	0592-26-2713
関西モーターサイクル協会	会 長	橋本重雄	弘	☎673	神戸市垂水区玉津町居住67-1	兵庫県軽自動車協会内	078-927-7701
"	事務局長	中山海	義	"	"	"	"
"	スポーツ委員	長	西山治	"	"	"	"
"	トライアル委員	長	今堀孝治	☎675	加古川市野口町良野261-3	山本レーシングサービス内	0794-23-2335
滋賀県	支 部	長	今堀孝治	☎529-01	大津市唐崎3-17-1	滋賀県軽自動車協会内	0775-79-2233
京都府	支 部	長	伊藤重雄	☎612	京都市伏見区竹田向代町51-5	京都自動車協会内京都府軽自動車協会二輪部会	075-671-5887
大阪府	支 部	長	野田重雄	☎550	大阪市西区立売堀1丁目7-14	大阪府軽自動車協会内	06-532-4781
兵庫県	支 部	長	橋本重雄	☎673	神戸市垂水区玉津町居住67-1	兵庫県軽自動車協会内	078-927-7701
奈良県	支 部	長	小島末太郎	☎630	奈良市南京町2-321-1	奈良県軽自動車協会内	0742-24-5593

和歌山県支部	支部長	黒川 栄	☎ 641	和歌山市西浜字中川向ヒノ坪1660-389	和歌山県二輪車安全普及協会内	0734-31-6133
中国モーターサイクル協会会長		吉井 幸三	☎ 730	広島市大手町3-1-29	鶴平和ボング内	0822-41-4274
西日本スポーツ委員会委員長		野野 弘雄	☎ 730	広島市南区松川町3-19	朝広島英油内	0822-61-8386
	事務局長	原田 茂樹	☎ 730			
山陰スポーツ委員会委員長		立脇 才三	☎ 683	米子市天神町2-49	立脇モータース内	08592-2-4583
鳥取県支部	支部長	梶浦 兵造	☎ 680	鳥取市丸山町248	鳥取自動車会館内鳥取県自動車協会内	0857-23-3271
鳥根県支部	支部長	三沢 栄一郎	☎ 690	松江市八幡町725	鳥根県二輪車協会内	0852-38-1685
	事務局長	吉村 猪吉郎	☎ 710	倉敷市沖8番地1	東中国スズキ販売内	0864-24-1211
岡山県支部	支部長	福岡 康男				
	スポーツ委員長	石川 稔	☎ 733	広島市舟入中町3-9	石川商会内	0822-93-4721
広島モトクロス委員会委員長		佐々木 吉雄	☎ 755	宇部市南浜町2-7-21	佐々木モータース内	0836-21-8181
山口県支部	支部長	若木 恭一	☎ 740	岩国市平田町4-21-30		0827-32-1555
	スポーツ委員長					
M F J 四国地方本部	本部長	前田 秀雄	☎ 760	高松市三条町113	朝スズキオート香川	0878-66-8411
四国スポーツ委員会	委員長	岡村 秀樹	☎ 760	高松市西宝町3-11-7		0878-34-1634
	副委員長	岡 義明	☎ 763	丸亀市西本町1-1-1		08772-2-2921
	モトクロス委員長	富川 雅夫	☎ 763	丸亀市今津町886		08772-2-9512
	トライアル委員長	富川 雅夫	☎ 770	徳島市西新町4丁目7	富浪商店内	0886-22-5545
	事務局長	富川 雅夫	☎ 763	丸亀市今津町886		08772-2-9512
	顧問	前田 秀雄	☎ 760	高松市三条町113	朝スズキオート香川	0878-66-8411
	顧問	武智 和夫	☎ 673-01	明石市二見町福里506-18		07894-2-8297
	顧問	藤沢 恒栄	☎ 105	東京都港区新橋1-1	日比谷ビル8階 カワサキオートバイ販売部	03-503-2581
徳島県支部	支部長	宮本 恒栄	☎ 770	徳島市南矢三町2-1-58	徳島県二輪自動車協会内	0886-53-8513
	事務局長	笹田 満和				
	スポーツ委員長	半田 良和	☎ 770	徳島市佐古1番町5-9		0886-52-0038
	事務局長					
	モトクロス委員長	林 正明	☎ 774	阿南市西路見町元村30-3		0884-22-0710
	トライアル委員長	岸 正裕	☎ 770	徳島市徳島本町3丁目8		0886-54-2233
香川県支部	支部長	前田 秀雄	☎ 760	高松市三条町113	朝スズキオート香川	0878-66-8411
	副支部長	岡 義明	☎ 763	丸亀市今津町886		08772-2-2921
	スポーツ委員長	岡 義明	☎ 763	丸亀市西本町1-1-1		08772-2-9512
	場務局長	近 茅	☎ 762	坂出市旭町3丁目1-11		08774-6-3385
	モトクロス委員長	湯浅 康博	☎ 760	高松市木太町2343-6		0878-33-9625
	トライアル委員長	田内 康博	☎ 760	高松市牛乳町車礼678-82		0878-45-9570
愛媛県支部	支部長	曾我 光四郎	☎ 781-11	松山市南高井町1812-3	愛媛県軽自動車協会内	0899-75-7310
	事務局長	土居 靖雄				
	スポーツ委員長	三原 雄	☎ 790	松山市三番町7丁目13-11	松山カワサキみはら内	0899-32-6151
	事務局長					
	モトクロス委員長	金 高章	☎ 791-41	松山市高岡町61		0899-73-0467
	トライアル委員長	井原 章修	☎ 790	松山市本町		0899-45-7130
高知県支部	支部長	岡 猪之助	☎ 781-02	高知市横浜1657	高知県軽自動車協会内	0888-32-0178
	事務局長	井田 福次				
	スポーツ委員長	笠門 洋一	☎ 780	高知市南御座22		0888-83-7272
	事務局長	香西 健二	☎ 781-02	高知市瀬戸町2-285		0888-42-2987
	モトクロス委員長	橋田 修範	☎ 783	南国市大通甲1615		0888-4-3348
	事務局長	池田 修範	☎ 780	高知市稲荷町3-22	ウテナ美容室内	0888-83-2539
	トライアル委員長	川竹 健一	☎ 780	高知市宝永町3-11		0888-83-7736
	事務局長	裏 正一	☎ 780	高知市浅橋通り1-5-16		0888-31-4260
M F J 九州地方本部	本部長	内野 庄八	☎ 812	福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16	朝福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
	スポーツ委員長	川清 志正	☎ 810	福岡市中央区港2-5-32	サポートハイツ101	092-771-5508
	モトクロス委員長	池田 野徳	☎ 812	福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16	朝福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
	トライアル委員長	内野 野徳	☎ 834	八女市大字吉田1328		09432-4-3629
	事務局長	庄司 正美	☎ 812	福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16	朝福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
福岡県支部	支部長	野村 田村	☎ 812	福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16	朝福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
	事務局長	林 健				
佐賀県支部	支部長	松尾 保次	☎ 849-01	佐賀市高木瀬町大字高木五本杉1240-9	佐賀県軽自動車会館内	09522-2-8442
	事務局長	上野 繁				
長崎県支部	支部長	竹内 義秀	☎ 850	長崎市平間町383-2	長崎県軽自動車協会内	0958-38-3245
	事務局長	西村 義昇	☎ 862	熊本市東町4-26	熊本県軽自動車協会内	0963-69-7920
大分県支部	支部長	渡瀬 治	☎ 679-01	大分市大字三ノ小字亮塩79-1	大分県軽自動車協会内	0975-58-4861
	事務局長	渡瀬 治				
宮崎県支部	支部長	小下 進	☎ 880	宮崎市田代町7-1	宮崎県軽自動車協会内	0985-27-1471
鹿児島県支部	支部長	野田 啓	☎ 691-01	鹿児島市中山町2876-4	鹿児島県軽自動車協会内	0972-69-5561
	事務局長					

1981年版 MFJ国内競技規則

総 則14

ミニバイク競技会指導要綱 70

付則1 ロードレース25

'81全日本選手権大会特別規則 34

付則2 モトクロス43

'81全日本選手権大会特別規則 55

付則3 トライアル61

'81全日本選手権大会特別規則 66

付 録：MFJ公認車輛・公認部品・承認部品・公認ヘル
メット・'81ゼッケンナンバー・全日本選手権ランキング 72
基準・ライセンス昇降格規定・MFJ選手共済制度・など

昭和56年1月1日発行

日本モーターサイクル協会

MFJ (エム・エフ・ジェイ) The Motorcycling Federation of Japan

〒104 東京都中央区銀座 1-9-12 西山興業東銀座ビル Tel. 03-561-8566

MFJ 国内競技規則〔総則〕

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟(Fédération Internationale Motocycliste—略称FIM)の国際スポーツ憲章、FIM 競技規則にもとづいて作成され、日本国内のモーターサイクリススポーツの国内規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と付則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は付則に示される。

総則の内容

[1] MFJ 国内競技規則について……………14	[13] 車輛検査……………22
[2] 公示、特別規則および公式通知……………14	[14] ライダーおよび車輛の変更……………22
[3] ライセンス……………15	[15] 走行中の遵守事項……………22
[4] 参加者およびライダー……………16	[16] レース……………23
[5] 出場申込み……………16	[17] 優勝者、入賞者および完走者……………23
[6] 出場料、保険料および選手共済費……………16	[18] 入賞車の検査……………24
[7] 配布物品……………16	[19] レース結果および記録の公表……………24
[8] 賞および得点……………16	[20] レースの延期、中止および打ち切り……………24
[9] 出場車輛……………21	[21] 抗議……………24
[10] 公道での走行禁止……………21	[22] 損害の補償……………24
[11] 器具および装備品……………22	[23] 競技規則の違反行為に対する罰則……………24
[12] 燃料およびオイル……………22	

〔1〕 MFJ 国内競技規則について

MFJ 国内競技規則は、日本国内のモーターサイクリススポーツのための規則であり、国際モーターサイクリスト連盟(Fédération Internationale Motocycliste—略称FIM)の国際スポーツ憲章、FIM 競技規則にもとづいたものである。

日本モーターサイクル協会(略称MFJ)はFIMの日本における代表機関として、モーターサイクリススポーツの国内管理、一般的モータリゼーションの普及、振興等の目的のために本国内競技規則を制定、施行する。

1. 適用の範囲

本国内競技規則は日本国内のすべてのモーターサイクリススポーツ国内競技会に適用され、各種目の共通事項は総則に、競技種目によって、内容に差異のある事項はそれぞれの付則に記載する。

2. 競技規則の解釈

競技会開催期間中の判定および競技規則全般の解釈は、本国内競技規則にもとづいて、競技会審査委員会(以下

大会審査委員会という)だけがおこない、大会審査委員会の判定および解釈を最終的なものとする。

〔2〕 公示、特別規則および公式通知

1. 競技会は、この国内競技規則にもとづいておこなわれ、競技会の運営上、競技の細部の規則並びに指示は公示、特別規則、および公式通知によって示される。
2. 公示、特別規則、および公式通知は、競技会主催者(以下主催者という)が発行する。
3. 特別規則には次の各項が示される。

- 1) 競技会の名称
- 2) 主催者の名称、所在地および連絡先
- 3) 開催日時
- 4) 開催場所(コース)
- 5) 競技の内容と参加者、ライダーの資格
- 6) 出場申込み受付場所
- 7) 出場申込み期間
- 8) 出場料と保険料金
- 9) クラス区分

- 10) 出走者の定員
 - 11) 賞およびその詳細
 - 12) 運営組織
 - 13) その他、国内競技規則に定められた事項
4. 競技会運営の細部にわたる規則、指示等については公示、または特別規則に記載し得なかつた事項は、公式通知によって示される。

[3] ライセンス

ライセンスとは国際モーターサイクリスト連盟の国際スポーツ憲章、FIM競技規則に準拠して、MFJが会員に対して発行する競技者認定証であり、国内のモーターサイクル競技会に参加するに必要な証書である。

1. ライセンス区分

ライセンスには下記のライセンス資格区分がある。

2. ライセンス新規取得者の資格

新たにライセンス取得申請をおこなう者は下記の条件をみたしていなければならない。

- 1) 日本にスポーツ国籍を有する者であること。
注：日本国内に3カ月以上継続的に居住した外国人がその期間を証明できる書類を提出すれば、スポーツ国籍は日本にあるものとみなされる。ただし、本人が所属する国の代表機関の書面による承諾を必要とする。
- 2) 運転免許証所持者であること。
- 3) 職業選手でないこと。また過去に職業選手として登録し、または登録されたことのある者は、登録取消し後1年以上経過した者でなければならない。
注：職業選手とは、日本小型自動車振興会所管のレースのために登録された者、およびスタントカー、サーカス等に所属している者をいう。
- 4) ロードレース・ノービスライセンス取得申請の場合は、サーキットの3時間走行証明またはMFJ公認ロードレーシングスクール修了証を必要とする。
- 5) ロードレースBライセンス取得申請の場合は、サーキットのライセンス講習会受講証明を必要とする。

3. ライセンスの停止

■ライセンスの資格区分

ライセンス名	種 目			ライセンスカラー	適 用
	ロードレース	モトクロス	トライアル		
国際 A 級	○	○	○	赤 紫 緑	スポーツ専用車を含む競技を対象として種目別に発行される競技者認定証
国際 B 級	○	○	—		
ジュニア	—	○	○		
ノービス	○	○	○		
B	対象種目=プロダクション・ロードレース、ミニモトクロス、ミニエンデューロ、スノースクランブル			青	一般市販車を含む競技を対象として発行される競技者認定証

下記の場合ライセンスは停止される。

- 1) 日本にスポーツ国籍がなくなった場合。
 - 2) 運転免許証取消処分または停止処分を受けた場合。
(停止の場合はその期間満了の日まで)
 - 3) 職業選手として登録された場合。
 - 4) MFJの認めない競技会に出場した場合。
 - 5) MFJ資格審査委員会の裁定により停止処分を受けた場合。(資格審査委員会の定める期間)
4. ライセンス資格の昇格および降格

1) 自動昇格

- (1) ジュニア部門以上のライセンス有資格者の昇格はMFJ資格審査委員会の定める規定にもとづいて審査され、昇格される。
- (2) ノービス部門以下のライセンス有資格者の昇格はMFJ地方スポーツ委員会の審査によって昇格される。

2) 特別昇格および降格

- (1) ライセンス資格の昇格を希望し、MFJが定める期間内に、規定にもとづき、地方スポーツ委員会の推薦によって申請した者で、MFJ資格審査委員会の審査によって昇格が認められた者が上級ライセンス有資格者となる。
- (2) ライセンス資格の降格を希望し、MFJが定めた期間内に規定にもとづき、地方スポーツ委員会の推薦によって申請した者で、MFJ資格審査委員会の審査によって降格が認められた者は、特別にライセンス資格を降格することができる。
ただし、降格後MFJ資格審査委員会によって、そのスポーツ技術、能力が降格したライセンス資格にふさわしくないと判断された者は元のライセンス資格へ戻されるものとする。(86頁のライセンス昇・降格規定を参照のこと)。

[4] 参加者およびライダー

1. 参加者(エントラント)

'81国内競技規則

- 1) MF Jに所属していて、「参加の申請」をおこなった個人およびクラブ。
- 2) MF Jに登録されている車輛メーカー、その部品関連産業メーカーおよびディーラーで、「参加者の申請」をおこなった者。

2. ライダー

ライダーとはMF J会員で、当該競技会に「出場申込み」をおこなった者。

3. ライダーの資格

- 1) 当該競技会出場申込みのときに、日本にスポーツ国籍を有する者で、運転免許証およびMF Jの競技者ライセンスを所有する者に限る。ただし、満20歳未満の者は親権者の承諾書を必要とする。
- 2) 主催者は競技会当日、運転免許証とMF J競技者ライセンスおよび健康保険証の提示を求め、当日の資格を判定する。
- 3) ライダーは過去6ヵ月以内重大な刑法上又は道路交通法違反によって処罰された者であってはならない。
- 4) ライダーは、医師によってレース出場可能な健康体であると診断された場合、レース出場資格者、もしくはレース継続資格者としてみとめられる。

主催者は、どのライダーに対しても、指定した医師による健康診断を要求することができる。またこの診断をもって最終とする。

- 5) 開催期間中、転倒事故等により負傷したライダーは指定医師の承認を得なければ再び出走することはできない。

4. メカニック

メカニックとは、MF J会員で、当該競技会に「参加の申請」をおこなった者とする。

5. ビットサインマンおよびヘルパー

ビットサインマンおよびヘルパーとは、MF J会員でライダーまたはメカニックを援助する当該競技会に「参加の申請」をおこなった者。

6. 参加者、ライダー、メカニックの遵守事項

参加者（ライダー、メカニックを含む）は次の事項を守らなければならない。

- 1) 競技会中は、MF J国内競技規則にしたがって行動し、参加者はすべての行動に対して責任を持たなければならない。
- 2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定や競技役員からの指示に従い、かつレース場以外では交通法規を守らなければならない。
- 3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、野卑な言動は厳に慎まなければならない。
- 4) 競技に関する業務についているときは飲酒あるいは

薬品によって精神状態をつくらせてはならない。

- 5) 競技会中は参加の身分証を必ず携帯していなければならない。（ライセンス、運転免許証等）

[5] 出場申込み

1. 申込み方法

- 1) 申込み期間、申込み場所、その他の詳細については当該特別規則に示される。
- 2) 主催者より支給された用紙の記載事項のすべてに指示どおり記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない。
- 3) 主催者は、参加者、ライダーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申込みを拒否、または無効とする権限を有する。

2. 定員

- 1) レース出走者数または出場申込み者数の定員は特別規則に示される。
- 2) 出場申込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスのレースを中止することがある。

3. 出場車輛の登録

出場申込み者は、「出場申込み書」により競技会に使用する出場車輛（以下車輛という）を主催者に登録しなければならない。

[6] 出場料、保険料および選手共済費

1. 出場料

参加者またはライダーは、出場申込みのときに出場料を（金額は特別規則に明示）払込まなければならない。

2. MF J選手共済組合費および保険料

各ライダーは、出場申込みのときにMF J選手共済組合費および指定保険料の実費を主催者に払込まなければならない。選手共済費、保険料の内容の詳細は特別規則に示される。

3. 出場料等の払戻し

一旦、主催者に受理された出場料等は払戻しされない。

[7] 配布物品

参加賞および配布物品は主催者（大会事務局）から交付される。時期および詳細は特別規則に示される。

[8] 賞および得点

1. 賞およびその詳細は特別規則に示される。
2. 競技会において与えられる得点は次の通りである。
1位=15点、2位=12点、3位=10点、4位=8点、
5位=6点、6位=5点、7位=4点、8位=3点、
9位=2点、10位=1点。



クシタニ '81~'82総合カタログ。

いま、



価値ある一冊。


モーターサイクルスポーツに欠かすことのできないグローブやブーツ及びライディングウェア。それらは真に機能だけを追求して作られていなければなりません。皮と共に30年のクシタニが創立以来もち続けてきた理念もそこにつきるといえます。しかもクシタニが何よりも自信をもっていることはひとつひとつのモーターサイクルアクセサリ作り在先立って自からの体験をもとに行なっているということです。それこそライダースピリットを十分に理解する心かまえがあればこそ可能に

なるのです。●クシタニが自信をもっておすすめできるアクセサリのすべてが一冊のカタログでごらんになれます。頁数44頁、全カラー、サイズA4、送料共¥1000を現金書留にてお送りください。送り先：〒154 東京都世田谷区桜新町2-27-2モータースポーツクシタニカタログ係。



モータースポーツクシタニ ●本社：浜松市電報寺町596-1 ☎0534(56)8611
●東京営業所：東京都世田谷区桜新町2-27-2 ☎03(427)8841
●大阪営業所：大阪府箕面市瀬川5-3-19 ☎0727(22)4105

●仙台店：仙台市八木松1-1-50 ☎022(47)8822 ●豊田店：東京都豊田区緑4-17-1 ☎03(632)1229 ●横浜店：東京都板橋区上板橋2-3-2 ☎03(31)7776 ●世田谷店：東京都世田谷区桜3-8-12 ☎03(425)1519 ●横浜店：神奈川県横浜市西区磯12 ☎045(312)3022 ●浜松店：静岡県浜松市寺島町383 ☎0534(52)6292 ●京都店：京都市伏見区醍醐池田町10 ☎075(573)1301 ●箕面店：大阪府箕面市瀬川5-3-19 ☎0727(22)4176 ●堺店：大阪府堺市向陵西町4-272 ☎0722(22)3316 ●西宮店：兵庫県西宮市西田町1-22 ☎0798(73)6641 ●神戸店：神戸市東灘区上岡井通3-1-1 ☎078(23)1570 ●福岡店：福岡市中央区島崎3-1-4 ☎092(75)18600

世界のブランド  Kijima が贈る

栄光へのモトクロス用品 部品

新製品



バイザー
MK94W ¥1,000
スモーク、黄、赤、黒



チェンカッター
MK-043 ¥800
(420、425、428)



MXワウレバー(ショート)
MK-05MK ヤマハ、スズキ用
¥2,000(1 SET)



MXワウレバー(ショート)
USAで大流行品
デコスター、ポプハナ選手も愛用
ホンダ用(ドラムブレーキ車用)
¥5,000(1 SET)



レンサルハンドル(英国製)
6½、6、5½、5 ¥6,000

OZハンドル(モトクロス)
クロモリ ¥4,000



マグラハイスロットル 国際A選手使用
(西ドイツ製) エンデュロ、¥4,000
トライアル、モトクロス用有
転倒のさいワイヤーがおれません
マグネシウム材



バイザー
MK-94K ¥1,000
(白、赤、黄、黒)



ニューカレラゴーグル
(オーストリア)
¥5,500(マスク付)



SIDI
プロフェッショナル
¥49,800



オーリーグリップ
(USA製)
MXの人気商品
色=黄・赤・黒
¥1,500(SET)



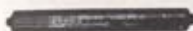
バイザーシールド
MK8-001 ホンダ1枚 ¥350
MK8-002 ヤマハ1枚 ¥350
MK8-003 スズキ1枚 ¥350
MK8-004 カワサキ1枚 ¥350



スコットゴーグル
(U.S.A製)
¥11,000(マスク付)



ロベールブーツ
¥47,500



ハンドルプロテクター
MK-55 ¥1,000
(白、赤、黄、黒、緑)



MK-067F ワンタッチベルト・フック
マシンの選機にフックを使用すればワ
ンタッチでOK。ワンタッチベルト
(MK-067A・MK-067B)と併用してご
使用ください。 ¥2,000(2ヶ)



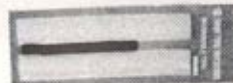
オーバーフェンダー
MK-01 ¥3,000
(乳白色)



スミスゴーグル(レンズミラー)
(USA製)
¥8,000(マスク付)
スベアレンズミラー
¥2,000(1枚)



トライアルブーツ
サイズ25.5/26/27
¥14,000



フロントフォークプロテクター
白・黄・赤
SET ¥1,000



ワンタッチベルト
MK-067A 50%巾
1SET 3,500
MK-067B 25%巾
1SET 2,500



7,000円以上お買上の方にキジマTシャツを100名様にプレゼント
期限 昭和56年3月末日迄

協賛  サークル

木島ショールーム

〒114 東京都北区田端新町1丁目24番地 北進ビル101 TEL 03-893-7521

●製造元 木島ゴム工業株式会社 〒116 東京都荒川区西日暮里1丁目57番7号



プレストガード
(イタリヤ製) ¥18,000

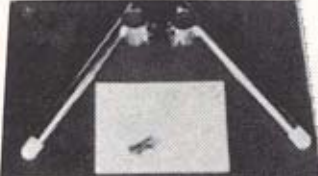
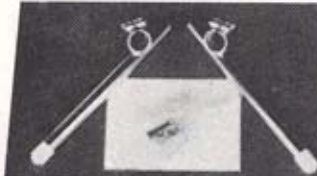

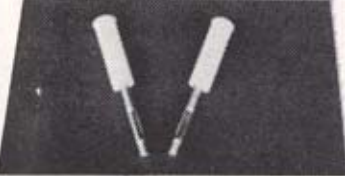
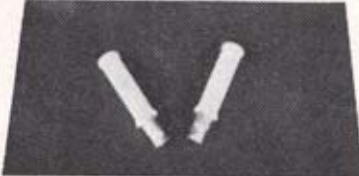



MXRグローブ
MXR-09-001黒地/黄パット
MXR-09-002赤地/白パット
MXR-09-003青地/緑パット
サイズ=M・L
¥5,500

●通販でお買上げの方、
7,000円以上送料サービス
7,000円以下今月より600円加算
電話番号、鉄道駅名を
記入してください

オリジナルパーツ

- | | | | |
|----------------|----------|-------------------|----------|
| ○TZ500用軽量カウリング | ¥ 45,000 | ○スーパーバイク用品 | |
| ○ " " シート | ¥ 27,000 | ○FZ用F-フォークスタビライザー | ¥ 23,000 |
| ○RG500用軽量カウリング | ¥ 50,000 | ○ " エキゾーストシステム | ¥ 70,000 |
| ○ " " シート | ¥ 31,000 | ○ " バックステップHT | ¥ 28,000 |

軽量ハンドルバー  TZ250・350 ¥ 7,500	軽量ハンドルバー  TZ125・MT125R ¥ 7,500	チェンジリンク  TZ250・350 ¥ 5,500 MT125R・RS125 ¥ 5,500
ABS樹脂ステップバー  TZ125・250・350 ¥ 4,000	ABS樹脂ステップバー  MT125R・RS125R ¥ 4,500	レーシングシート  125クラス・ラバー付 ¥ 15,000

TZ250・350

- 軽量カウリング ¥ 35,000
- 軽量カウリング (レンズ付) ¥ 48,000
- 軽量シート (ラバー付) NEWタイプ ¥ 23,000
- カウリングレンズ ¥ 15,000
- マグホイール
F215・R250・275・R300 各1組 ¥ 135,000
- アルミカウリングビス ¥ 250
- レーシングスタンド ¥ 6,000

MT125R

- 水冷用カウリング ¥ 25,000
- " レンズ付 ¥ 36,000
- アンダーカウリング ¥ 17,000
- TOGASHI製クランクベアリング ¥ 1,300
- カウリングレンズ ¥ 13,000
- マグホイール ¥ 100,000
- アルミカウリングビス ¥ 350

TZ125

- レーシングシート ¥ 16,000
- カウリングレンズ ¥ 13,000
- レーシングスタンド ¥ 6,000

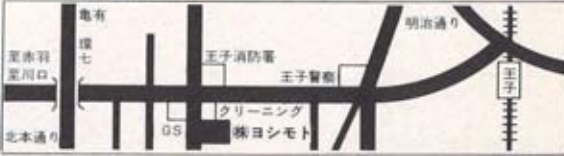
日曜日定休

◎営業時間 = 9:00AM ~ 6:00PM

- レーシングマシンの修理・改造・補強等を行っています。
- 中古TZ・MTレーシングマシンの買入・販売を致しております。
- 各レーシングパーツをクレジットで販売致しております。
- レース開催日にはパーツサービスをしています。
- 通信販売は住所・氏名・TEL・品名を記入、代金のみお送り下さい。

送料は着払いです。


●なお価格の変更がある場合はご了承下さい。



ヨシモトノガロステッカーセット ¥400(切手可)

(株)ヨシモト レーシングパーツ部

〒114 東京都北区王子4-23-8 ☎03(913)4675



ライバルは、
赤いPマーク。

赤いPマークはきずが付きにくく、耐衝撃性に
すぐれたベトロイドレンズを採用したゴーグルです。

MOTOR CYCLE GOGGLES

714MX ¥3,300

モトクロスレーサーにとって欠かせない
機能をそなえたベトロイドレンズ+フォーム
ベンチレーション。

- アメリカ安全規格ANSI Z87.1 & VESC-8合格
- フレームカラー：ホワイト・ブラック
- レンズ：ベトロイドレンズ
- ベルト：40mm

SWANS
SPORTS

3. 出走台数が20台に満たない場合、次の通り賞および得点を制限する。但し賞は原則として6位迄とする。

出走台数	得点	出走台数	得点
18~19台	9位迄	10~11台	5位迄
16~17台	8位迄	8~9台	4位迄
14~15台	7位迄	6~7台	3位迄
12~13台	6位迄	5台	2位迄

注：出走台数とは、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数をいう。ただし予選がある場合は、その総台数をいう。

[9] 出場車輛

1. クラスの区分

車輛は排気量によって原則として次のように分けられ、付則に示される。

1) ロードレース

クラス	最小排気量	最大排気量
50cc	—	50cc
80cc	51cc ~	80cc
125cc	81cc ~	125cc
250cc	126cc ~	250cc
350cc	251cc ~	350cc
500cc	351cc ~	500cc
750cc	501cc ~	750cc

2) フォーミュラ・ロードレース

クラス	最小排気量	最大排気量
フォーミュラー1	(351cc)601cc~(500cc)1000cc	
フォーミュラー2	(251cc)401cc~(350cc)600cc	
フォーミュラー3	(126cc)251cc~(250cc)400cc	
フォーミュラー4	(51cc)51cc~(125cc)250cc	

注：最小~最大排気量のカッコ内は2サイクル車

3) プロダクション・ロードレース

125cc クラス	81cc~125cc
250cc クラス	126cc~250cc

4) モトクロス

クラス	最小排気量	最大排気量
50cc	—	50cc
80cc	51cc ~	80cc
125cc	81cc ~	125cc
250cc	126cc ~	250cc
500cc	251cc ~	500cc

5) トライアル

排気量によるクラス区分は設けない。

2. 総排気量の算出基準

総排気量は下記の計算式により算出する。ただしシリンダー内径・ピストン行程(m/m)は小数点以下1位まで四捨五入し、小数点以下を切り捨てて表示する。この際内径はクランク軸方向とその直角方向を測定し平均する。

$$\text{総排気量(cc)} = 0.7854 \times \text{内径}^2 \times \text{行程} \times 10^{-3} \times \text{気筒数}$$

3. 仕様

車輛は付則に示す「改造の限度」と「仕様」に合致し、かつ特別規則の条件をみたし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

4. 危険な車

車検長または大会審査委員会より車体の強度など安全上の理由によって危険であると判断された車輛は、理由のいかんを問わずレースに使用することはできない。

[10] 公道での走行禁止

1. 公道の走行禁止

主催者に登録された、またはそれに近い構造の車によって一般公道を走行することは一切禁止する。

●ライダーは健康体で 過去6カ月の違反はゼロ



●メカ、ヘルパーはMFJ会員 であること



MFJ 競技者ライセンス、運転免許証、健康保険証を忘れずに!!

81国内競技規則

2. 走行禁止の例外

主催者に登録された車輛であっても、車輛保安基準に適合した安全な車はその限りではない。

3. レース用車輛

車輛保安基準に適合した安全な車でも、レース・ナンバープレートを装着して一般公道を走行することは一切禁止する。

[11] 器具および装備品

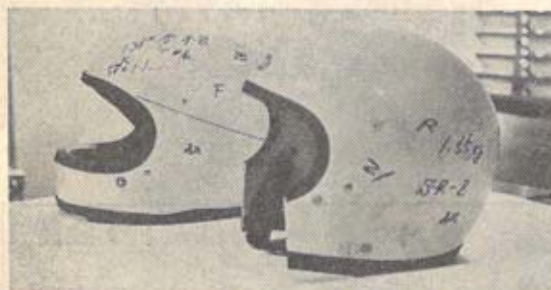
1. レースナンバープレート

- 1) ナンバープレートの大きさ
ナンバープレートの大きさは、付則に示される。
- 2) 取り付け方法
(1) 付則に示される枚数のナンバープレートはライダー等によりかくれることなく、明瞭に見えるように取り付けなければならない。
- (2) 取り付けは安全な方法により確実にとりつけられハリガネなど安易な方法によってはならない。

2. ヘルメット

- 1) ライダーは予選、レース中を問わず、走行中は必ずヘルメットを着用しなければならない。
- 2) ヘルメットは付則に定められた性能を有するもので主催者の検査に合格したものでなければならない。

注：MFJの公認したヘルメットには認証マークが貼付されている。



種々の検査を受けて公認されるヘルメット

3. ライダーの服装

- 1) ライダーの服装は競技中ライダーの身体の安全を確保し、操縦技術を妨げるものであってはならない。
- 2) 指示されたゼッケンは着用しなければならない。ただし、ナンバー固定者でライダースーツの上着にゼッケンを縫い込んだものは認可する。
- 3) その他、付則による。

[12] 燃料およびオイル

1. 燃料

レースに使用する燃料は、一般市販ガソリンでなければ

ならない。また主催者が指定しレース場内にて供給する場合、ガソリンの銘柄およびその他の詳細は特別規則に示される。

2. オイル

オイルの銘柄は指定しない。

3. その他の規定

- 1) ガソリンおよびオイルには、オクタン価や燃料効率を高めるような添加剤あるいは起爆剤を加えてはならない。
- 2) ガソリンにオイルを混合する必要があるときは、安全を確認して作業しなければならない。ただし主催者より作業場所の指定がある場合はその指示に従う。

[13] 車輛検査

1. 車輛検査

- 1) 車輛は、競技規則にもとづいた車輛検査を受けなければならない。車輛検査の時刻、および場所は特別規則に示される。
- 2) 車輛は、レース直前に車輛検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない。
チェックの時刻および場所は大会公示に示される。

2. 使用部品の登録（車輛改造申告書）

ライダーは車輛検査の時に大会事務局より支給された車輛改造申告書を提出し、使用する車輛、部品等の銘柄、型式の登録をしなければならない。

[14] ライダーおよび車輛の変更

1. ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。
ただし、耐久レースの場合はこの限りではない。

2. 車輛の変更

- 出場登録した車輛を変更してはならない。
- 1) ただし、破損またはその他の理由によって使用する車輛を変更する必要がある場合は、きめられた書式にしたがって車輛の変更申請をおこない、競技総監督がこれを認めた場合に限り車輛の変更が認められる。
 - 2) 紛争に際して、銘柄についての立証の責任は参加者側にあるものとする。
 - 3) その他、特別規則に示される。
3. ライダーと車輛の双方を変更することはできない。

[15] 走行中の遵守事項

- 1) 走行中、必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離したり、外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。

- 2) 走行中、故意に他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
- 3) 走行中、車輛はそれ自身が持つ動力、およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
- 4) 走行中、他の人の援助を一切受けてはならない。他の人による援助とは、そのレースに参加しているライダー、きめられた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の役員以外の人が車輛に触れることをいう。
- 5) 走行中、車輛にいかなる他人も同乗させてはならない。
- 6) ライダーはレース中、酒気をおびたり、または医薬品等（興奮剤、麻薬等）により故意に精神状態をつくろってはならない。

[16] レース

1. 予選

出場者数が多い場合等は、予選またはタイムトライアルによって決勝レース出場者を決定することがある。その詳細については付則および特別規則に示される。

2. スタート

付則、および特別規則に示される。

3. 合図旗および合図

- 1) レース中、大会役員が次の合図用旗を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
 - (1) シグナル線または国旗…スタート
 - (2) 赤旗…全ライダーの走行停止
 - (3) 黄旗
 - ① 静止…危険予告
 - ② 振る…コース上に重大な危険あり、徐行、安全確認、追越し禁止

注：重大な危険とは、コース上に事故車輛またはライダーの存在および役員等による事故等の処理作業中のため、コースの全面または部分的閉鎖を意味する。
 - (4) 緑旗…先に示された合図の解除
 - (5) 3本の黄色縦縞のある赤旗…コース上オイルあり
 - (6) 青旗…追越し車あり、進路をゆずれ
 - (7) 白旗または赤十字旗…コース上に救急車またはサービス車あり、またはコース上にて救急作業がおこなわれている。
 - (8) ライダーのナンバーを付した黒旗…当該ライダー走行停止
 - (9) 白と黒のイチマツ模様（チェッカー・フラッグ）

……レース終了（ゴールイン）

この合図用旗の使用は、役員にのみ許され、他のいかなる合図旗またはそれとまぎらわしいもの使用はいっさい認められない。

4. 停止

- 1) レース中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車輛をコースの脇によせ、他のライダーの邪魔にならないように十分注意しなければならない。
- 2) レース中、車輛をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、大会役員の指示、監督のある場合はこの限りではない。
- 3) 事故、または車輛故障などの理由によってリタイア（中途退場）する場合は、その地点からもっとも近い大会役員（コース審判）に報告し、用意してある用紙によってリタイア届けを提出しなければならない。
- 4) ライダーは、リタイア届けを提出した大会役員に車輛をあずけて退場しなければならない。
- 5) ライダーは停止車輛をそのレースが終了するまで大会役員の管理下におかななければならない。

ただし、そのレースに支障のない地点まで車輛を移動させることをコース審判（大会役員）から指示された場合にはこれに従わなければならない。

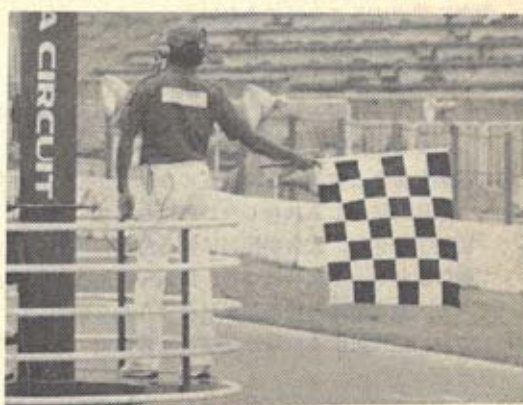
5. レースの終了

レースの終了は、チェッカー・フラッグによりトップ走者がゴールしたのち付則および特別規則に示す時間を経過した時点である。

[17] 優勝者、入賞者および完走者

付則に示す。

●キミは知っているか?! レーシングフラッグの示す意味を



レーシングフラッグについては8頁を見よ。

[18] 入賞車の検査

レース終了後、各クラスの1位から6位までの車輛は暫定結果発表後60分以上保管され必要に応じて検査される。

[19] レース結果および記録の公表

- 1) 大会審査委員会はレース終了直後、暫定結果の公表をおこなう。
- 2) レース正式結果は、レース終了後3時間以内に、大会審査委員会から公表される。
- 3) 参加者、ライダーは公表されたレース正式結果に対して抗議することはできない。

[20] レースの延期、中止および打切り

- 1) レースは特別な理由のない限り、うち切ったり、中止したりされない。
- 2) 大会審査委員会が、特別な理由によってレースのいずれかを延期、または放棄しなければならないと判断したときに限り、レースを延期または中止することができる。
- 3) すべての関係者は大会審査委員会の決定にしたがわなければならない。
- 4) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者がそのレースにきめられた周回数、または時間の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効となる。
- 5) トップ走者がきめられた周回数または時間の3分の2以上を完走した場合でレースを打ち切った時は、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付して発表する。
- 6) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

[21] 抗議

- 1) 参加者、ライダーおよびメカニックのみが抗議申し立てができる。
- 2) 抗議しようとするときは、定められた手続によって大会事務局に申し入れをしなければならない。
抗議手続きは、大会事務局に備え付けの抗議申し立て書に記載し、1項目につき、抗議保証金5,000円をそえて大会事務局に提出しなければならない。
- 3) 暫定結果に対する抗議は発表後30分以内に限り受付られる。
- 4) 正式の手続きをふんで提出された抗議申し立て書だけが受付られ、大会審査委員会において審議される。

- 5) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定をくだすものとする。
- 6) 大会審査委員会が下した裁定に対しては一切抗議することはできない。
- 7) 抗議が成立した場合のみ抗議保証金が返還される。

[22] 損害の補償

1. 車輛の破損

- 1) 車輛が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間をのぞき、車輛およびその附属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。
- 2) 車検長または大会審査委員会は、車輛を保管している期間中に、これらの車輛がなんらかの理由によって破損した場合には、一台当たり10万円を最高限度額としてその所有者に補償する。

2. 損傷の責任

競技会開催期間中、またはその前後に起された損傷は自らが責任を負うものとする。

3. 大会役員の責任

ライダーおよびメカニック等の参加者は大会役員が一切の損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち大会役員はその職務に最善を尽すが、仮りに大会役員の行為によって起きた参加者、ライダー、メカニックおよび車輛等の損傷に対しても、大会役員は一切の補償責任のないことをいう。

[23] 競技規則の違反行為に対する罰則

大会中(競技会)における違反行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技総監督の権限で下記の罰則を課すことができる。

- 1) 注意処分(口頭による注意または注意処分通告書)
- 2) 嚴重戒告(戒告通知を受けたものは始末書提出)
- 3) 罰金(1万円以上5万円以下)
- 4) 競技結果に対する1分以内の加算
- 5) 競技結果に対する1分以上の加算または1周以上の減算
- 6) 失格

違反の判定は、競技総監督の判断を優先するが、罰則の裁量や適用は、大会審査委員会の決定を優先するものとする。

罰則は、大会審査委員会の報告にもとづき、MFJ資格審査委員会によってさらに事後の出場停止、資格停止にまでおよびかどうか、審査、裁定され、30日以内に通告される。

付則
1

ロードレース規則

— ロードレース規則の内容 —

- [1] 適用の範囲……………25
 [2] ロードレースおよび耐久レース……25
 [3] レース出場車輛とライダーの資格…25
 [4] フォーミュラー・ロードレース車輛 30
 [5] プロダクション・ロードレース車輛 30
 [6] ライダーの装備……………32
 [7] 公式予選……………32
 [8] レース……………32
 [9] 優勝者、入賞者、完走者および得点…33

〔1〕 適用の範囲

以下に記す規則は、総則と共にすべてのロードレース競技会に適用される。

〔2〕 ロードレースおよび耐久レース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットでおこなわれるレースであり、総則およびこの付則により管理される。

ただし耐久レースについては、本規則に定められたものの変更、または追加が特別規則によって示される。

〔3〕 レース出場車輛とライダーの資格

出場車輛（以下車輛という）は、下記の改造の限度と仕様をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車輛は出場することができない。

1. 車輛の排気量区分

車輛のクラス区分は原則として次のようにわけられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

1) ロードレース

クラス	最小総排気量	最大総排気量
50cc	—	50cc
80cc	51cc	80cc
125cc	81cc	125cc
250cc	126cc	250cc
350cc	251cc	350cc
500cc	351cc	500cc
750cc	501cc	750cc

2) フォーミュラー・レース

フォーミュラー・レース
 フォーミュラー・クラス (2サイ) 4サイ (2サイ) 4サイ
 最小排気量 最大排気量 ライセンス
 (2サイ) (4サイ) (2サイ) (4サイ) 許可区分

フォーミュラー1=(351cc)601cc~(500cc)1000cc=国際A, B
 フォーミュラー2=(251cc)401cc~(350cc)600cc=国際A, B
 フォーミュラー3=(126cc)251cc~(250cc)400cc=ノービス
 フォーミュラー4=(51cc)51cc~(125cc)250cc= B

3) プロダクション・ロードレース

クラス	最小排気量	最大排気量
125cc	81cc	125cc
250cc	126cc	250cc

2. 改造の限度

1) 国際A級, B級部門の車輛の改造限度

車輛は一般生産型モーターサイクルで、MFJ公認車輛またはFIMフォーミュラー・レース用公認車輛でなければならない。

□ 上記以外の車輛はフォーミュラー・リブレとして取り

付則 1

扱われ、国際格式の競技会および主催者によって特別に許可された競技会にだけ出場することが認められる。

主催者によって特別に許可された場合でも、FIMインターナショナル・ドライバーズ・ライセンス所持者および国際A級部門のライダーだけがフォーミュラーバイクを使用することを認められる。

その銘柄、型式の詳細は公示に示される。

改造をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 下記の諸点について車輛は公認仕様と異なっていない。

ただし、公認車輛の部品および公認部品の組み合わせはこの限りではない。

① エンジン型式

気筒数、ピストンストローク

② シリンダーのボアアップは公認された車輛の排気量区分をオーバーしてはならない。

③ 4ストロークの場合のシリンダーバレルの鋳造および材質

④ 2ストロークの場合のシリンダーバレルの鋳造および材質とポート数

⑤ シリンダーヘッドの鋳造および材質

⑥ クランクケースの鋳造および材質

⑦ ギヤボックスの鋳造および材質

⑧ プライマリードライブ方式

⑨ トランスミッションの変速段数

⑩ 吸気および排気方式

⑪ 気化方式

(2) 燃料タンク容量は最少限6ℓ、最大限32ℓとする。

(3) 半乾燥重量は下記の最低重量をみたしていなければならない。

半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車輛重量をいう。ただし、分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

125cc (単気筒) …… 70kg

125cc (2気筒) …… 75kg

250cc …… 90kg

350cc …… 95kg

500cc …… 100kg

750cc …… 110kg

なお、上記重量をみたすために、ダミーウエイトを装着してはならない。

(4) 騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

① 車輛には、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。

② 騒音はFIM方式による測定方法で、4ストロー

ク車の場合=110+5db(A)、2ストローク車の場合=110db(A)以下でなければならない。

③ FIM方式とは排気管後方0.5m、45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転しているときの騒音を測定する方法をいう。

(5) 下記の部品および構造にチタニウムを使用してはならない。

フレーム、フロントフォーク、フロントフォーク・ブラケット、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、ハンドルバー、ホイールスピンドル、ステアリング、シャフト

2) ノービス部門の車輛の改造限度

車輛は一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。

その銘柄、型式の詳細は公示される。

機械加工または仕上げによる修正、調整、軽量化もしくは形状の変更をおこなう場合は、下記各項に限定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 機械的の伸長、他の物質の添加または分子構造や金属面に変更をもたらすような処理（焼き入れ等）および材質の変更をしてはならない。

(2) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならない。

ただし、250cc以下の車輛はこの限りではない。

なお、補強等はおこなってもよい。

(3) 異なった機種エンジンとフレームの組合せをしてはならない。

ただし、250cc以下の車輛はこの限りではない。

(4) クランクケース本体やクランクシャフト・アッセンブリーは公認型式のものでなければならない。

① クランクウェブのバランス穴の充填は認められる

② ユニット・コンストラクション（単体構造エンジン）の場合のクランクケース本体とは変速機部分も含まれる。

(5) 変速機の段階は6段を限度とする。

ただし、変速ギヤはクランクケースおよびミッションケース外に増設してはならない。

(6) 冷却方式の変更は公認されたものでなければならない。

(7) 弁形式を変更してはならない。

(8) 燃料吸入方式を変更（フェューエルインジェクターの取り付け等）してはならない。

(9) 気化器の個数は気筒あたり1個を限度とする。

（ダブルベンチュリーの場合は2個とみなす）

00 半乾燥重量は下記最低重量をみたしていなければならない。

① 半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車輻重量をいう。ただし、分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

② 車輻最低重量は次の通りである。

80cc (1気筒) …………… 65kg

125cc (1気筒) …………… 70kg

125cc (2気筒以上) …… 75kg

250cc (1気筒) …………… 90kg

250cc (2気筒以上) ……105kg

350cc (1気筒) …………… 95kg

350cc (2気筒以上) ……110kg

③ 最低重量より軽い場合には、ダミーウエイトを取付けなければならない。ただし、ダミーウエイトは5kgを越えてはならない。

④ ダミーウエイトは、ボルトまたは溶接によりフレームに完全に固着したもので、転倒などの際に危険でないものとし、車輻検査において封印を受けなければならない。

01 騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

① 有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。

② 騒音はFIM方式による測定方法で、4ストローク車の場合=110+5db(A)、2ストローク車の場合=110db(A)以下でなければならない。

③ FIM方式とは排気管後方0.5m、45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均のスピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転しているときの騒音を測定する方法をいう。

02 構成部品

① 下記部品はMFJが公認したものでなければならない。(MFJ公認部品)

ミッション、シリンダー、シリンダーヘッド

② 下記部品はMFJに市販届出申請を行ない承認されたものでなければならない。(MFJ承認部品)
フロント・クッション、リア・クッション

③ チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

3. 仕様

車輻は、安全のために下記各項のすべてをみたしていなければならない。

1) 過給

過給機を取りついたり、また過給したりしてはならない。

2) ブレーキ

車輻は前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えなければならない。

3) リムとタイヤ

車輻は下記に示す呼称寸法以上のリムおよびタイヤを装着しなければならない。

■前輪

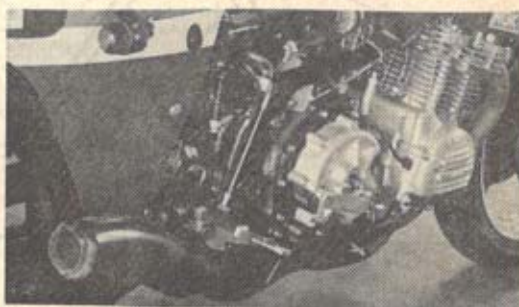
クラス	リム	タイヤ
	最小寸法	最小寸法
	インチ	インチ
50cc		2.00
80cc		
125cc	1.60	2.50
250cc	1.85	2.50
350cc	1.85	2.75
500cc	2.15	3.00
1000cc	2.15	3.25

■後輪

クラス	リム	タイヤ
	最小寸法	最小寸法
	インチ	インチ
50cc		2.00
80cc		
125cc	1.60	2.50
250cc	1.85	2.75
350cc	2.15	3.00
500cc	2.50	3.25
1000cc	2.50	3.50

注：タイヤのビードは、ワイヤ入りビードでなければならない。

●レーサーといえども騒音には注意



音をコロしてパワーを生もう

付則1

4) ハンドル・バー

(1) ハンドルの端から端までの幅は500mm以上でなければならない。

ただし、80ccクラス以下に限り450mm以上であればよい。

(2) 中心線または中央位置の両側に対するハンドルの回転角度は20度以上でなければならない。

5) ハンドル・バーのクリアランス

(1) ハンドル・バーのいかなる位置においても、またいかなるその付属品をも含めて、ハンドル・バーの先端部と流線形覆い（カウリング）とのクリアランスは50mm以上でなければならない。

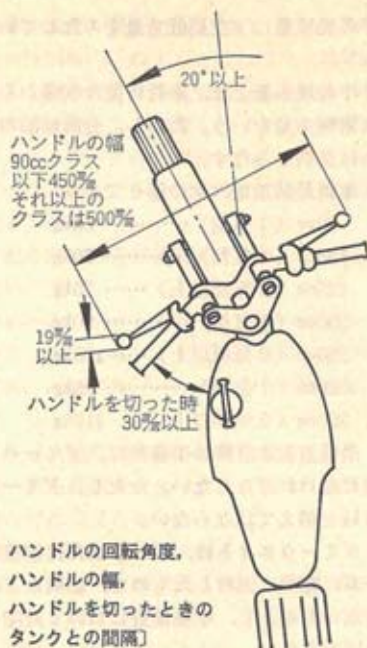
(2) ハンドルの回転角度を左右いっばいに切ったときライダークの指をはさまないように、ハンドル・バーと燃料タンクとの間に最低30mmの間隔を確保するために、止め具か他の装置を必ず取り付けなければならない。〔第1図〕

6) クラッチおよびブレーキ・レバー

ハンドルに取りつけられるクラッチ・レバーおよびブレーキ・レバーは、その末端が球状に作られ、その球（レバーエンドボール）は直径19mm以上で容易に取れたり外れたりするものであってはならない。

7) フートレストおよびペダル

(1) フートレストは、前後車輪の中心を通過する線の50mm上方より下側に、そして後輪の中心を通過する重線の前側になるように取付けられ、どのコントロ



〔第1図 ハンドルの回転角度、ハンドルの幅、ハンドルを切ったときのタンクとの間隔〕

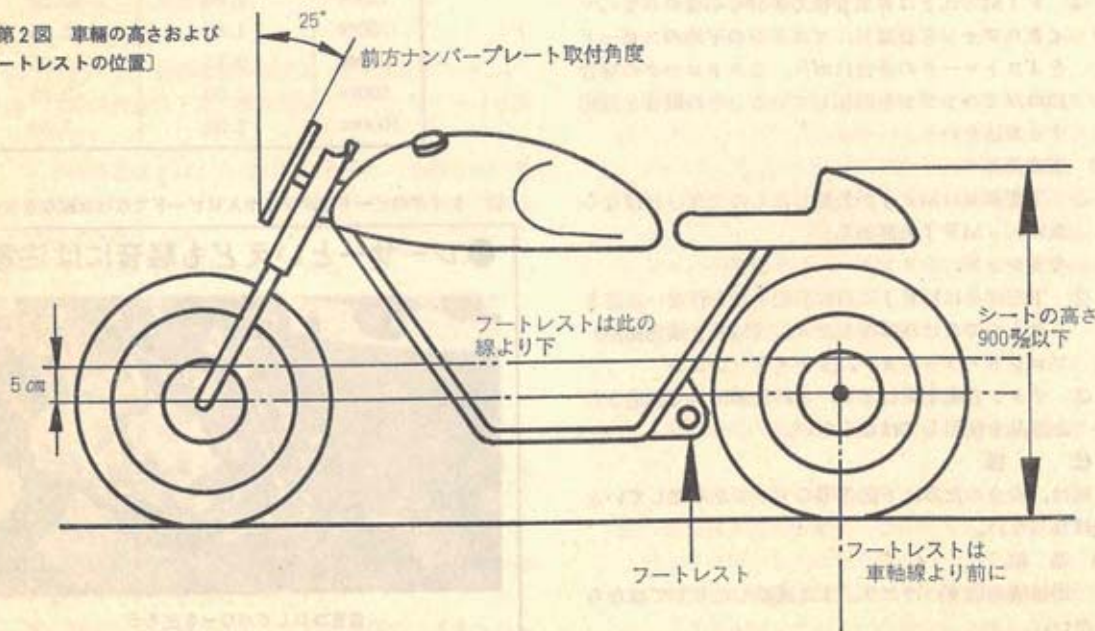
ール・ペダルも容易に操作出来る位置になければならない。

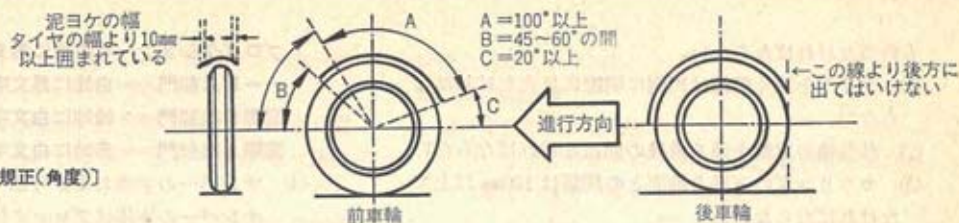
(2) フートレストおよびペダル類の先端の角は安全上丸められ、とがっていない。

8) 車輻の高さ

車輻が無負荷の場合、シートあるいはこの後方の部

〔第2図 車輻の高さおよびフートレストの位置〕





〔第3図 フェンダーの規正(角度)〕

分が地上 900mm 以上の高さであってはならない。

〔第2図参照〕

9) 排気管

すべての排気は側方に開口のない管により後方に行なわれねばならない。その排気管は車輻の進行方向になるべく平行でなければならない。また後輪最後端垂線より突出してはならない。排気管はほこりを立てるように排出されたり、いかなる状態でも後続車のライダーに迷惑を与えるように排出されてはならない。

余剰オイルの排出装置は、排気ガス流の内に出たり後続ライダーに迷惑を与えたりしないように作られていなければならない。

10) 車輻の傾斜角

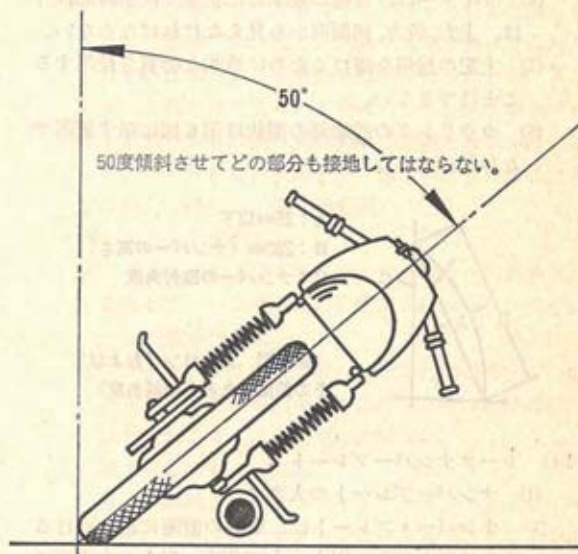
無負荷の場合、車輻はタイヤを除き、どの部分も接地することなく垂線に対して 50° 傾斜させることが可能でなければならない。〔第4図〕

11) フェンダー

フェンダーは、前後とも取りのぞいてもかまわない。取りつける場合は第3図に示すとおり確実に装備しなければならない。

12) 取りはずさなければならないもの

ライト類、バックミラー、スタンド類、荷台、チェ



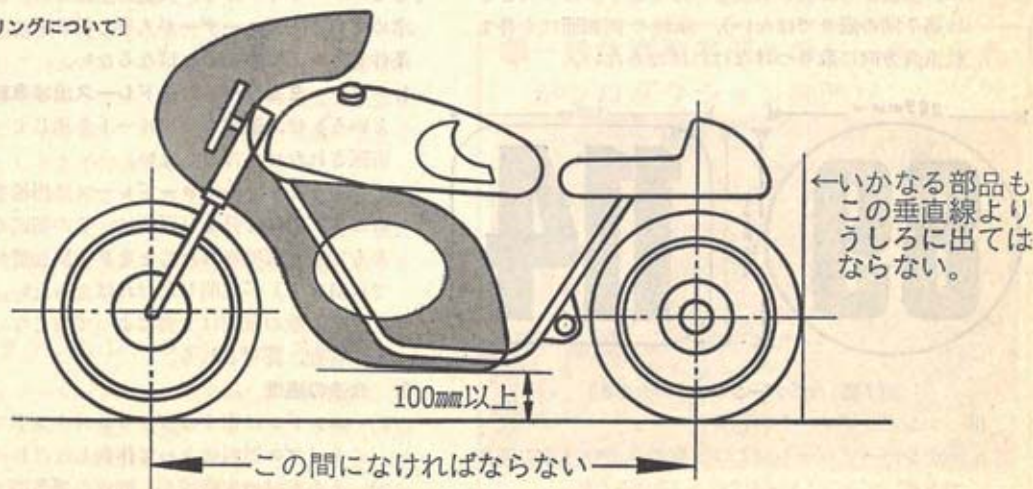
〔第4図 車輻の傾斜角度〕

ーンケース、およびキックアームは取りはずさなければならない。

13) カウリング

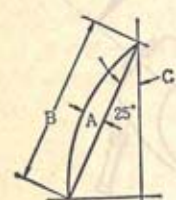
カウリングを使用する場合は以下の条件をそなえた

〔第5図 カウリングについて〕



ものでなければならない。

- (1) タイヤを除く前輪は両側に明瞭に見えなければならない。
- (2) 前後輪の車輪を通る垂線の間になければならない。
- (3) カウリングの下端と地面との間隔は100mm以上でなければならない。
- (4) ライダーは、普通に乗車した状態で両前膊部以外は、上方、後方、両側面から見えなければならない。
- (5) 上記の適用を避けるために透明な物質を使用することはできない。
- (6) カウリングの前端部の形状は第6図に示す範囲でなければならない。



A: 25mm以下
B: 230mm (ナンバーの高さ)
C: ナンバーの取付角度

〔第6図 カウリングおよびその前面の丸みと傾斜角度〕

14) レースナンバープレート

(1) ナンバープレートの大きさ

ナンバープレートは、車輻の前面に取りつけるものは左右285mm以上、上下235mm以上の大きさの楕円形のもので、第7図左に示されているものでなければならない。車輻の左右に取りつけるのは、第7図右に示されてあるように左右300mm以上、上下250mmの方形のものでなければならない。

(2) 取り付け方法

ナンバープレートは1枚は車輻の前面に、前向きに、垂直から25度の角度をつけて取り付け（大きさは第7図の限りではない）、車輻の両側面にも各1枚垂直方向に取りつけなければならない。



〔第7図 ナンバープレートの大きさ〕

(3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは次の通りである。

プロダクション——白地に黒文字

ノービス部門——白地に黒文字

国際B級部門——緑地に白文字

国際A級部門——赤地に白文字

(4) ナンバーの字体および寸法

ナンバーの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。

ナンバーの文字寸法は、高さ200mm、幅は25mmと

例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

する。誤読されないよう書体には注意

わるい書体の例 7 6 陰つきの花文字なども不可 5

15) 後輪の可視範囲

後輪のリムは後輪の垂直線の後部円周180度にわたって明瞭に見えなければならない。

16) 部品の最後端

いかなる部品も後輪最後端垂線よりうしろに突出してはならない。

17) エンジンのドレーンボルト類はかならずワイヤーロックを施さなければならない。

18) 他のライダーに危険および迷惑をおよぼすような構造をしてはならない。

〔4〕 フォーミュラー・ロードレース車輛

フォーミュラーモーターサイクルは、現在生産されているモーターサイクルで、大量に生産され、高性能マシンを求めている一般ユーザーが入手し得るものであり、下記の条件をみたしていなければならない。

1. フォーミュラー・ロードレース出場車輛（以下、車輛という）は、通常の販売ルートを通じて一般ユーザーに市販されなければならない。

フォーミュラー・ロードレースに出場を認められるためには、毎年3月1日以前に、その型式の車輛が少なくとも1000台販売されたことをFIM加盟代表機関（日本ではMFJ）が証明しなければならない。

生産台数の証明は文書によっておこない、FIMによって審査、認可される。

2. 改造の限度

- 1) エンジンは市中のガソリンスタンドで得られる通常のタイプの燃料によって作動しなければならない。
- 2) その車輛の生産国が、協定の署名国でない場合であ

っても、車輻はすべての点において1949年ジュネーブ協定に適合していなければならない。

- 3) すべての車輻は本来的に、正常に作動する完全な電気装置を備えていなければならない。追加の電気装置も認められる。
- 4) すべての車輻は、スタート装置と正常作動の発電機を備えていなければならない。(最低出力100W)
- 5) すべての車輻は、総則および付則1に示されているロードレースについてのすべての条件に全面的に適合していなければならない。
- 6) 下記のものについて、認可型式に変更を加えることは禁止される。
 - (1) エンジンの型
 - (2) シリンダーの数
 - (3) ピストンストローク
 - (4) シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケースおよびギアボックスの材質およびカースティング
 - (5) パルプの数、また2エンジンの場合のポートの数を含む吸排気装置(キャブレターの数、型式、そしてエンジンと結合しているところのチョークの部分のサイズ)
 - (6) 安全と騒音コントロールのために、排気管とマフラーの改造が認められる。
 - (7) 6速に限定されるギアの数はその範囲内、ギアボックス・シェルに変更を加えない限り変えることができる。
 - (8) 燃料タンクの最大容量は下記に制限される。
 - フォーミュラー1=24リッター
 - フォーミュラー2=20リッター
 - フォーミュラー3=18リッター
 - フォーミュラー4=15リッター
- 7) 下記の制限内で改造をおこなうことができる。
 - (1) シリンダーのパターンを変更することなくボアを拡大することができる。ただし、この拡大が当該車輻本来の出場を認められるクラスの排気量の限度を超えないことを条件とする。
 - (2) 安全上の理由により、ヘッドライト、電装品、ホーン、ナンバー・プレート、スピードメーターおよび競技規則にうたわれているその他の部品を取り外すことが認められる。

〔5〕 プロダクション・ロードレース車輻

プロダクション・ロードレースの車輻(以下車輻という)は市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。なお、車輻のクラス区分は〔3〕1.に示す通りとし、開催種目および運用

は特別規則に示される。

1. 改造の限度

- 1) 変更してもよい部品
 - (1) キャブレターのジェット類。ただしキャブレター本体の改造、変更は出来ない。
 - (2) ハンドル。ハンドル幅は500mm以上とし、グリップおよび取り付け位置はトップブリッジより上とする。分割型であったり、危険な構造であってはならない。なおハンドルをいっばいに切ったとき、ライダーの指をはさまないようにハンドルおよびレバーと燃料タンクの間最低30mmの間隔を確保するために、止め具か他の装置を必ず取り付けなければならない。(28ページ第1図参照)
 - (3) スパークプラグ
 - (4) ドライブおよびドリブン・スプロケットの歯数。ただしチェーンサイズの変更およびレーシングチェーンの装着は出来ない。
 - (5) タイヤ。タイヤは市販の公道走行用のタイヤに限り変更することが出来る。ただし、その車輻の諸元を示されるサイズの変更は出来ない。
- 2) 取り外してもよい部品

ライト類およびヘッドライトケース、ヘッドライトステー、キャリア、チェーンケース上下、ビリオンステッパー、キックペダル、ナンバープレートおよび支持ステー、メーター類。なおライト類を取り外さない場合はテープを貼るなど、レンズ類の飛散防止処置を施さなければならない。
- 3) 外さなければならない部分

バックミラー、スタンド類。
- 4) 取り付けなければならない部品

レースナンバープレート(ナンバープレートに関する

●一般生産型モデルのレース。それがプロダクション部門だ



勝手に改造したのではレースに出られない

る規定は〔3〕3.14)に示す通りとする)。エンジンのドレンボルトのワイヤーロック。

- 5) 上記(1)~(4)の各項に示された部品以外は、いっさい変更、改造をおこなってはならない。

〔6〕 ライダーの装備

1. ヘルメット

ヘルメットは、日本工業規格 J I S T 8133 の 2 種、U S A, S. I. STANDARD-Z 90-1-1970, 米国スネル規格 1975 によって示された検査に合格したか、またはそれ以上の性能を有するフルフェイス型のもので、MF J が公認したものでなければならない。

競技会においてはこの検査がおこなわれ、検査に合格しなかったヘルメットは、MF J の公認したヘルメットでもライダー本人の安全上使用を禁止される。MF J の公認したヘルメットには認証マークが貼付されている。



この認証マークがないとレースには出場できない

2. ゴoggles

ゴogglesにはガラスが使用されてはならず、また枠は柔軟なものでなければならない。

3. ライダーの服装

- 1) ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、操縦を妨げるものであってはならない。
- 2) 皮製のレーシングスーツ、皮製の手袋、あみあげ用金具製止め具（外部に突出しているフック等）のないピッタリしたレザーブーツ（あるいは着脱容易な膝までおおわれた革製脚絆）を着用しなければならない。
- 3) ライダーは競技会中合成繊維（ナイロン、テトロン等）製の肌着を着用してはならない。皮製のレーシングスーツの裏地は、耐熱および耐火処理をほどこした難燃性の布製のものでなければならない。

〔7〕 公式予選（オフィシャル・プラクティス）

1. 公式予選の日程

- 1) 公式予選は原則として各クラス別におこなわれる。
- 2) 公式予選の日程および時間は特別規則に示される。

2. 公式予選の内容

- 1) レースに出場するすべてのライダーは、かならず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
- 2) 公式予選においては、競技役員による車輛の安全上

のチェックがなされた後、一台ごとにスタートし、与えられた時間を任意に走行することができる。与えられた時間内であれば走行を中断し、または再スタートすることができる。

- 3) 公式予選では、走行中のライダーは常にラップタイムが測定されており、ベスト・ラップタイムがはなはだしくおとるものは、たとえ定員以内であっても出場資格を与えられない場合がある。
- 4) 公式予選において測定された各ライダーの最高ラップタイムにより、特別規則に示されるレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。最高ラップタイムが同じ場合は次のラップタイムによる。
- 5) 各クラスの公式予選義務周回数は3周以上とする。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- 6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。

〔8〕 レース

1. スタート位置

- 1) 各クラスともレースのスタート位置は、各ライダーに与えられている車番とは関係なく最高ラップタイムによって決定される。
- 2) レースにおけるスタート位置の発表は、公式予選の終了後、審査委員会がおこなう。

2. チーム

チーム参加の場合のチーム編成、チーム競技の成立等は特別規則に示す。

3. スタートまでの行動

- 1) スタートまでの行動は原則として次の時間割によるスタート 約60分前 給油およびレース前車輛チェック開始、終了後ただちに待機区域に入る。待機区域コースへ誘導。

スタート	15分前	ウォーミングアップ開始
"	5分前	スタート位置整列
"	3分前	エンジン停止
"	2分前	表示 メカニック離れる
"	1分前	表示
"	30秒前	表示
"	10秒前	表示
スタート		緑色シグナルまたは国旗にて表示

- 2) 決められた時間以外にエンジンを始動させてはならない。

4. スタート

- 1) スタートは、原則として、押しがけによる同時スタートとする。

- 2) スタート位置は、すべて正規のスタートラインからなされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。
- 3) スタートの合図は原則としてシグナル・ランプによっておこなわれる。ただし特別の理由により旗によっておこなわれることがある。

5. ピット

ピットとは車輛の修理・調整、部品交換、燃料補給などの作業をおこなう目的のためにライダーに与えられた区域のことである。

6. ピットイン

- 1) ピットインする時は、ピット前のコース上に区画された減速地帯、即ちイエローラインとホワイトラインの間を減速走行し、他の車が走行できる通行余地を残して車輛をピットに近づけて停車し、エンジンを必ず停止しなければならない。
- 2) 審判員の指示または危険回避以外の目的でイエローラインをカットして走ってはならない。
- 3) 自分のピットを通り越した時はエンジンを停止した後、ピット審判員の承認を得た上で戻ることができる。

7. ピットアウト

ピットアウトする際は、必ず審判員の合図を確認し、車輛を自力で押しがけしてスタートさせ、減速地帯を走行し、コースの内側を走行しながら次のコーナーを通過しなければならない。

8. ピット作業

- 1) レース中における車輛の修理、調整、部品交換は、ピットに準備してある部品と工具によって行ない、必ずエンジンは停止しておこななければならない。
- 2) ピットに準備してある部品、工具による作業は、正規にピットインした車輛に対してのみおこなうことができる。
- 3) エンジンアッセンブリーおよびフレームアッセンブリーを交換してはならない。また当該アッセンブリーをピットに持込んではいない。
- 4) ピット区画内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、ただちにきれいに掃除しておかなければならない。

9. ピット作業人員

- 1) ライダーはその車輛のメカニックを2名まで持つことができる。
- 2) レース中にピットインし、エンジンを停止した車輛に対しての作業は、2名のメカニックと、その車輛のライダー、計3名だけに限られる。
- 3) ライダーに対するピット要員（メカニック、ヘルパ

一等）のレース中の合図は、大会役員の使用する合図用旗にまぎらわしいものであってはならず、また「ピット区画」のみで合図を送ることができる。

- 4) ピット作業をおこなう者はすべて登録し、参加の申請がなされた者で、ピット保険に加入した者でなければならない。年齢は、16歳以上であること。
- 5) メカニックは開催期間中を通じてどの大会役員の指示にもしたがわなければならない。
- 6) メカニックが守らなければならないことに違反した時は、そのメカニックの担当のライダーが責任を問われ、ペナルティが課せられる。

10. レースの終了

各レースの終了はチェッカーフラッグによりトップ走者がゴールしたのち特別規則に示す時間を経過した時(注1)であり、チェッカーフラッグ・マーシャルが指定位置より退場したことにより示される。

注1: 原則的にコースの1周を1kmにつき1分として定められる。

[9] 優勝者、入賞者順位、完走者および得点

1. 優勝者

各レースにおける優勝者は、レースの総距離を最短時間で完走したライダー、または定められた時間内に最も長い距離を走破したライダーである。

2. 入賞者および順位の優先順序

- 1) 入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- 2) レース終了時までにゴールラインに達しない走行中の完走者。
- 3) 完走周回数をまっとうしたのち、リタイアした者。
- 4) 上記以外のライダーについては周回数の多い者を優先する。

3. 完走者

- 1) 各クラスのレースとも、優勝者の80%以上の周回数を完了したライダーが完走者である。
- 2) レース途中でリタイア届を提出したライダーでも、完走周回数を完了しているライダーは完走者とみなされる。

4. 得点

- 1) 完走者には総則[8]の2.および3.によって得点が与えられる。
- 2) 特別に競技会に出場することが認められたフォーミュラー・リブレ車輛によってライダーが上位に入賞しても、そのライダーに対しては得点は与えられない。得点はフォーミュラー・リブレを除いた順位によって与えられる。

ロードレース

'81全日本選手権大会特別規則

全日本選手権ロードレース大会は、日本モータサイクル協会（MFJ）公認のもとに、MFJ国内競技規則にしたがい開催される。本特別規則は、1981年度全日本選手権シリーズのすべての大会に適用される。



特別規則の内容

[1] 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間	35	[19] ライダーの変更	40
[2] 運営実行組織	36	[20] 出場車輛の変更	40
[3] 公式通知、タイムスケジュール	36	[21] 公式予選	40
[4] 開催種目	36	[22] 決勝レース出場台数	41
[5] 競技内容	37	[23] スタート	41
[6] 参加定員	37	[24] スタートにおける反則	41
[7] 参加資格	37	[25] レース	42
[8] 出場申込み	38	[26] レース中の合図	42
[9] 出場料、保険料および選手共済費	38	[27] 停車指示	42
[10] 参加受理	39	[28] 棄権（リタイア）と停止	42
[11] 賞および得点	39	[29] レース終了	42
[12] レース出場車輛	39	[30] 優勝者、入賞者、完走者および順位	42
[13] 競技者番号（ナンバー）	39	[31] レース終了後の車輛の保管と再検査	42
[14] ライダーの装備	40	[32] レースおよび大会の延期中止等	42
[15] ガソリンおよびオイル	40	[33] 抗議	42
[16] ピット割当て	40	[34] 違反に対する罰則	42
[17] 出場受付	40	[35] 本規則の解釈	42
[18] 車輛検査	40	[36] 本規則の施行	42

[1] 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

日 程	大 会 名 称	主 催 (出場申込み先)	開催場所	出場申込み期間
2月22日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦 筑波ロードレース大会	日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門2-6-7 ☎105 和孝第10ビル8階3号 ☎ 03(591)6056	筑 波	1月9日(金) ? 1月22日(木) 消印有効
3月7日(土) 8日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦 鈴鹿2&4	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎513 鶴ホンダワールド内 ☎ 0593(78)1455	鈴 鹿	1月27日(火) ? 2月7日(土) 消印有効
3月15日(日)	同 上 P125, N125, 250, 国B125, 250, 350, 国A125, 250, 350	同 上	鈴 鹿 西コース	同 上
3月29日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦 筑波ロードレース大会	日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門2-6-7 ☎105 和孝第10ビル8階3号 ☎ 03(591)6056	筑 波	2月18日(水) ? 2月28日(土) 消印有効
4月18日(土) 19日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦 第18回日本グランプリ ロードレース大会	日本モーターサイクル協会(MFJ) 東京都中央区銀座1-9-12 ☎104 西山興業東銀座ビル ☎ 03(561)8566	鈴 鹿	2月24日(火) ? 3月9日(月) 消印有効
5月2日(土) 3日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦 SUGOロードレース大会	SUGOスポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎989-14 スポーツランド菅生内 ☎ 022483-3111	菅 生	3月21日(土) ? 4月3日(金) 消印有効
6月13日(土) 14日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦 鈴鹿ロードレース大会 鈴鹿200キロレース大会	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎513 鶴ホンダワールド内 ☎ 0593(78)1455	鈴 鹿	5月1日(金) ? 5月14日(木) 消印有効
8月9日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦 筑波ロードレース大会	日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門2-6-7 ☎105 和孝第10ビル8階3号 ☎ 03(591)6056	筑 波	6月29日(月) ? 7月9日(木) 消印有効
8月22日(土) 23日(日)	全日本選手権シリーズ第8戦 SUGOロードレース大会	SUGOスポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎989-14 スポーツランド菅生内 ☎ 022483-3111	菅 生	7月11日(土) ? 7月24日(金) 消印有効
9月12日(土) 13日(日)	全日本選手権シリーズ第9戦 鈴鹿ロードレース大会	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎513 鶴ホンダワールド内 ☎ 0593(78)1455	鈴 鹿	8月1日(土) ? 8月11日(火) 消印有効

〔2〕 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

〔3〕 公式通知、タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切後に発送される。

〔4〕 開催種目

1. 全日本選手権シリーズの競技部門、クラス区分は下記の通りである。

部門 クラス	ノービス (N)	国際B級	国際A級
125cc	○	○	○
250cc	○	○	○
350cc	—	○	○
500cc	—	○	○

- 1) なお国際B級に昇格し、500ccに出場を希望する場合、全日本選手権シリーズ大会350ccクラスに2回以上出場し、または講習会に参加したのち、その成績をそえて、MFJ資格審査委員会の認可を受けなければならない。

- 2) レースは特別なものを除き排気量クラス別におこなわれる。

各ライセンス部門別の参加申し込み台数が、開催場所の最大決勝出場台数(41頁参照)に満たない場合は原則として同一排気量クラス別に異ったライセンス部門との合同レースとなる場合がある。

注1: 合同レースとなる場合の例としては国際A、B級合同250ccクラスレース、国際A、B級合同500ccクラスレースなどがある。

注2: 合同レースとなった場合、賞は公式通知に示され、ライセンス部門の区別なく、入賞順にライダーに与えられ、全日本選手権得点は、総則〔8〕3.(16頁参照)にもとづいて、ライセンス部門別に与えられる。

- 3) 全日本選手権シリーズ・ロードレース大会に次のレースが併催される。

(1) プロダクション・レース

第1戦、第2戦、第3戦、第4戦、第7戦、第9戦

(2) フォーミュラー・レース

フォーミュラー1 第2戦、第4戦、第6戦、第9戦

フォーミュラー3 第6戦、

ただし(1)、(2)のレースは全日本選手権の対象とならない。

- (3) 全日本選手権ロードレース大会および主要ロードレース大会、耐久レース(世界選手権)の開催種目および併催レース種目は下表の通りである。

全日本選手権ロードレースおよび主要大会部門・クラス別開催種目

月 日	大 会	プロダクション		ノービス			国際 B 級					国際 A 級					格 式
		125	250	125	250	F-3	125	250	350	500	F-1	125	250	350	500	F-1	
2月22日	全日本第1戦(筑波)	△	△	○	○		○	○				○	○				国内
3月8日	" 第2戦(鈴鹿)								○	△				○	△		"
3月15日		△		○	○		○	○				○	○				"
3月29日	" 第3戦(筑波)	△	△	○	○		○	○			○	○					"
4月18-19日	" 第4戦GP(鈴鹿)	△	△	○	○		※	※	※	※	△	※	※	※	※	△	国際
5月3日	" 第5戦(菅生)						○	○	○		○	○	○	○			国内
6月13-14日	" 第6戦(鈴鹿)			○	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	△		"
7月24-26日	世界選手権 鈴鹿8時間耐久			△	△	△	△			◎					◎		国際
8月9日	全日本第7戦(筑波)	△	△	○	○		○	○			○	○					国内
8月23日	" 第8戦(菅生)			○	○		○	○	○		○	○	○				"
9月12-13日	" 第9戦(鈴鹿)		△	○	○		○	○	○	△	○	○	○	○	△		"
10月4日	ビッグロード(菅生)								☆					☆			国際

注: ○印は全日本選手権対象。△印は対象外。◎印は世界選手権対象。※印は全日本選手権対象の国際格式。☆印は対象外の国際格式。

〔5〕 競技内容

1. レース区分は下記の通りである。ただし、参加台数、天候などの都合により変更される場合がある。
2. 全日本選手権シリーズ第4戦日本GPロードレース大会の国際A、B級部門は、国際格式によって開催され、車輛規則はFIM規則に準じる。ただし、全日本選手権得点は公認車輛によって出場した選手にのみ与えられる。

〔6〕 参加定員

参加定員は定めない。

〔7〕 参加資格

1. 参加者およびライダーは、1981年度版MFJ国内競技規則・総則〔4〕(16頁)に合致していなければならない。
2. プロダクションレース出場者はBライセンス(ロードレース)を所持していればよい。

<第1戦、第3戦、第7戦：筑波サーキット>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	ノ ー ビ ス	125cc	15周	12周
②	ノ ー ビ ス	250cc	15周	12周
③	国際A、B級	125cc	18周	15周
④	国際A、B級	350cc	18周	15周
⑤	プロダク ション	125cc 250cc	10周	8周

<第2戦：鈴鹿サーキット>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
① 8月3日 開7催?	国際A、B級	500cc	17周	14周
	国際A、B級	フォー ミュラ ー1	15周	12周
② 3月 で開15 催日 西コ ー	ノ ー ビ ス	125cc	10周	8周
		250cc	12周	10周
	国際A、B級	125cc	12周	10周
		250cc 350cc	15周 15周	12周 12周
プロダクション	125cc	10周	8周	

<第4戦日本GP：鈴鹿サーキット>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	ノ ー ビ ス	125cc	10周	8周
②	ノ ー ビ ス	250cc	13周	11周
③	国際A、B級	125cc	12周	10周
④	国際A、B級	250cc	15周	12周
⑤	国際A、B級	350cc	15周	12周
⑥	国際A、B級	500cc	17周	14周
⑦	国際A、B級	フォー ミュラ ー1	15周	12周
⑧	プロダク ション	125cc 250cc	8周	7周

<第6戦=200kmレース：鈴鹿サーキット>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	ノ ー ビ ス	125cc	15周	12周
②	ノ ー ビ ス	250cc	15周	12周
③	ノ ー ビ ス	フォー ミュラ ー3	12周	10周
④	国際A、B級	125cc	12周	10周
⑤	国際A、B級	250cc	34周	28周
⑥	国際A、B級	350cc	34周	28周
⑦	国際A、B級	500cc	34周	28周
⑧	国際A、B級	フォー ミュラ ー1	34周	28周

<第9戦：鈴鹿サーキット>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	ノ ー ビ ス	125cc	10周	8周
②	ノ ー ビ ス	250cc	13周	11周
③	国際A、B級	125cc	12周	10周
④	国際A、B級	250cc	15周	12周
⑤	国際A、B級	350cc	15周	12周
⑥	国際A、B級	500cc	17周	14周
⑦	国際A、B級	フォー ミュラ ー1	15周	12周
⑧	プロダク ション	250cc	8周	7周

<第5戦：スポーツランド菅生>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	国際A, B級	125cc	20周	16周
②	国際A, B級	250cc	30周	24周
③	国際A, B級	350cc	30周	24周
④	国際A, B級	500cc	30周 (2ヒート)	24周

<第8戦：スポーツランド菅生>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	ノービス	250cc	30周	24周
②	ノービス	125cc	20周	16周
③	国際A, B級	125cc	30周	24周
④	国際A, B級	250cc	30周	24周
⑤	国際A, B級	350cc	30周	24周
⑥	国際A, B級	500cc	30周	24周

[8] 出場申込み

- 申込み場所 申込み場所は各主催者の住所とする。
- 出場申込み
 - 各部門とも所定の申込み書に必要事項をすべて記入し、出場料および保険料を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - 2クラス以上に出場を申込み場合は別々に申込み書を作成しなければならない。
 - 郵送の場合は現金書留とし、締切日当日の消印のある者までが有効となる。
 - 電話による申込みおよび締切日以後の申込みは一切受けない。

[9] 出場料および保険料

1. 出場料およびライダー保険料

1) 第1戦～第9戦

出場料 1クラス 6,000円
MFJ選手共済費および
保険料 1人1口 3,000円(保険金額350万円)
ただし2口以上10口までは1口 1,350円
(保険金額1口 50万円)

2) フォーミュラーおよびプロダクション・レース

出場料 1クラス 6,000円

MFJ選手共済費および

保険料 1人1口 1,500円(保険金額300万円)

- 3) ビット要員(メカニック, サインマン, ヘルパー等)
保険料 1人 300円(保険金額300万円)

[10] 参加受理

- 必要事項を記入した出場申込み書, 必要金額を大会事務局が受理した時点で, 参加受理書が送られる。
- いったん受理された出場料, 保険料はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかったものも同様である。
- 大会が中止された場合, 参加が拒否された場合(申込み者が必要な手続きを怠った場合はこれにあてはまらない)にのみ出場料, 保険料が返還される。

[11] 賞および得点

1. 賞

- 賞の詳細については公式通知に示される。
- 国際A級, B級部門の合同レースの場合でも, 公式通知に示された賞が入賞順に与えられる。

2. 全日本選手権ランキングの特点

- 得点は総則[8]の2., 3.によって与えられる。
- 日本GPロードレース大会については, 上記の得点に, さらに3点が加算される。
- 全日本選手権ランキングの順位は上記によって与えられた得点の総合計によって決定される。その詳細は全日本選手権ランキング順位決定方法(86頁参照)に示される。
- 異ったライセンス部門との合同レースの場合でも, 全日本選手権ポイントは各ライセンス部門別に与えられる。

3. 賞および得点制限

- 賞および得点の制限は, 総則[8]3. (21頁参照)による。

[12] レース出場車輛

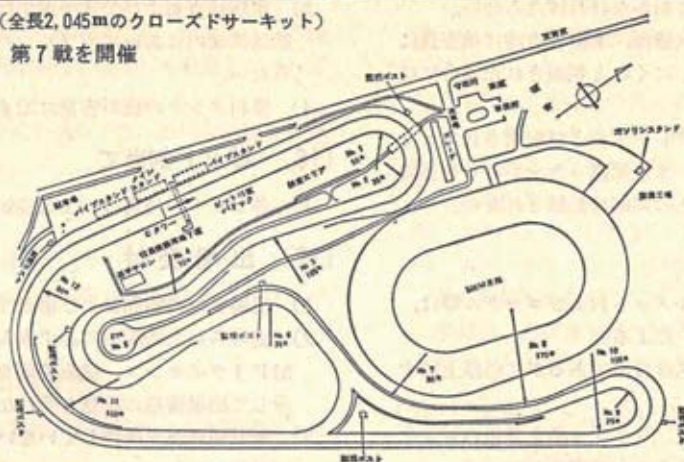
車輛は, 付則1[3] (25頁参照)を遵守しなければならない。

[13] 競技者番号(ナンバー)

- 国際A級部門のライダーには, 付録に示す通り年間指定ナンバーが割当てられる。
- 他部門のライダーには, 主催者によってナンバーが割当てられ, 参加受理書に記入して通知される。
- レース・ナンバーは, 車輛検査までに, 規定の書体

筑波サーキット (全長2,045mのクローズドサーキット)

第1戦, 第3戦, 第7戦を開催



鈴鹿サーキット (全長6,004mのクローズドサーキット)

第2戦, 第4戦(日本GP), 第6戦, 第9戦を開催

- COURSE (SURFACE PAVED) コース (舗装路)
- SAFETY ZONE (GRASS) 安全地帯 (芝生)
- MAIN OBSERVATION POST (WITH TELEPHONE) 主要監視ポスト (電話付)
- ALIBUSHY OBSERVATION POSTS 補助監視ポスト
- TO REACH THE PUBLIC SEATS 自由席への歩道



スポーツランド菅生 (全長2,655mのクローズドサーキット)

第5戦, 第8戦を開催



および色分けで記入しておかなければならない。

- レース・ナンバーの状態は、車輛検査時に検査員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- レース中、ナンバープレートおよび配布されたゼッケンを装着せずに走行、また間違ったナンバーを装着して走行した場合は、その周回は記録されない。

[14] ライダーの装備

- ライダーの服装、ヘルメットおよびゴーグル等は、付則1[6](32頁参照)による。
- レーシングスーツの色は自由であるが3色以上にすることが望ましい。
- レーシングスーツには、ライダー名を背後のゼッケンナンバーの上に記入することが望ましい。

[15] ガソリンおよびオイル

- ガソリンおよびオイルは 総則[12](22頁参照)による。
- ガソリンの銘柄およびその詳細は公式通知に示される。

- 車輛検査および公式予選中は、パドック内の所定の給油区域内においてガソリンの供給を受けなければならない。
- 燃料タンクの燃料容量は32ℓ以下とする。

[16] ビット割当て

- 各ビットの使用は、公式通知による。

[17] 出場受付

- 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。
- 定められた時間内に必ず本人が出頭し、運転免許証、MF Jライセンス、健康管理カード、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 運転免許証を所持していないものは、原則として出場が認められない。
- MF Jライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金(2,000円)を支払い、更にその場でMF J登録料、ライセンス料を支払い仮登録しなければならない。
なお、後日MF J事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は本人宛返還される。

[18] 車輛検査

- 車輛検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、パドック内の車輛検査区域においておこなわれる。
- タイムスケジュールに示された時間内に、かならずライダー本人が車輛を持参し車輛検査を受けなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- 車輛検査受付において、ライダーは、装備品一式および改造申告書を提出しなければならない。
- 車輛検査持込み台数はノービスおよび国際B級部門は出場1レースにつき1台に限定、国際A級部門は2台までとする。
- 車輛検査において、規則または安全上出場が不適当と判断された車輛は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車輛検査をおこなうことがある。

[19] ライダーの変更

ライダーの変更は、総則[14](22頁参照)による。

[20] 出場車輛の変更

●ライダーの装備は怠りなく



時間は厳守、ルールを守ろう

- 1) 車輛の変更は総則[14] (22頁参照) による。
- 2) ただし、車輛変更の申請は同部門、同クラスの車輛に限定され、手数料5,000円を添付して申請しなければならない。
- 3) 車輛の変更は、公式予選終了後、如何なる理由があっても認められない。

[21] 公式予選

- 1) 公式予選の内容は付則1[7] (32頁参照) による。
- 2) 公式予選の日程および時間は公式通知またはプログラムに示される。

[22] 決勝レース出場台数

- 1) 決勝レース出場台数は、開催場所により原則として次の台数以下とする。
 - (1) 鈴鹿サーキット・44台
 - (2) 筑波サーキット・30台
 - (3) スポーツランド菅生・30台

[23] スタート

- 1) スタート前のウォーミングアップは、役員員の指示にしたがい慎重に安全を確認して所定の区域内を、所定の巡回方向で走行しなければならない。
- 2) パドック内においてはウォーミングアップ走行する

ことは禁じられる。

- 3) スタートまでの行動は、付則1[8]3.(32頁参照) による。
- 4) スタート2分前の表示が出されたあと、ただちにメカニック、ヘルパーは、所定のスタート区域からコース外へ退去しなければならない。違反したものは罰則が適用される。
- 5) スタートは、付則1[7]4.(32頁参照) による。
- 6) スタートでエンジンが始動しないライダーは、審判員の指示にしたがってピットにレーサーを押し入れ、整備後、再び審判員の指示にしたがって、ピットから再スタートすることができる。

[24] スタートにおける反則

- 1) スタートラインについての車輛およびライダーは、スタート用意からスタート合図がされてスタートが終るまで出発合図の統制下にあり、スタート合図がおこなわれる前に所定の位置から前進したり、あるいはピット要員がスタートの規制にしたがわなかった場合には、スタート審判員によって反則とみなされる。
- 2) スタートにおいて反則を行なった場合、当該ライダーはレース結果に1分を加算するか、1周の減算か、または失格の罰則が適用される。この場合できるだけ速やかに、ライダーのピットに通告されるが、判定に

●晴れの舞台が雨。でもくじけるな、最善をつくそう



安全第一、そのうえにたってテクニックを競う。それがレースなのだ

に対する抗議は受けられない。

[25] レース

- 1) 走行中の遵守事項は総則[15] (22頁参照)による。
- 2) コースは右回りの所定の走路とし、如何なる場合でも逆方向、あるいは、規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は失格とする。
- 3) レースまたは予選中、グランドスタンド前直線部分では、前車を追越すために、あるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは許されない。この範囲(区間)はイエローラインが設けられたコース直線部分とする。

[26] レース中の合図

- 1) レース中の合図は、総則[16]3. (23頁参照)による。
- 2) 赤旗の使用は、コントロールライン上において、競技総監督、または競技総監督の命を受けた代理役員のみに限られる。

[27] 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車輛について、競技総監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じ、あるいはレースから除外することができる。この決定に対する抗議は受けられない。
- 2) 天災、大事故等不慮の事態が発生した場合は、競技総監督は、赤旗によって全車に対し、その場に停車を指示することができる。

[28] 棄権(リタイア)と停止

- 1) リタイアと停止は、総則[16]4. (23頁参照)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイア届を提出できないときは、審判員の判定により、リタイアと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイアする場合、ライダーは車輛をレース(または予選)終了までコース審判員の管理下におかななければならない。ただし、審判員から車輛移動を指示された場合は、これに従わなければならない。
- 4) 車輛を押してピットに帰る場合は必ずコース両サイドのいずれか片側のグリーンを歩くこと。
- 5) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。

[29] レース終了

各レースの終了は、チェッカー・フラッグによりトップのライダーがゴールインしたのち次の時間を経過したとき

である。

鈴鹿サーキット	4分間
筑波サーキット, スポーツランド菅生	2分間

[30] 優勝者, 入賞者, 完走者および順位

優勝者, 入賞者, 完走者および順位は付則1[9] (33頁参照)による。

[31] レース終了後の車輛の保管と再検査

- 1) チェッカーフラッグを振られた車輛は、所定の位置より役員の誘導にしたがって車輛保管区域へ入らなければならない。
- 2) 上位入賞車輛は騒音測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査をおこなうことがある。
- 3) 上位入賞車輛は暫定結果発表後30分以上保管される

[32] レースおよび大会の延期中止等

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が中止された場合、参加者が、支払った出場料、保険料は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

[33] 抗議

- 1) 抗議は、総則[21] (24頁参照)による。
- 2) 車輛の分解検査に要した費用はその抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車輛の分解等に要した費用は車検長が算定するものとする。

[34] 違反に対する罰則

競技規則の違反行為に対する罰則は、総則[23] (24頁参照)による。

[35] 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は、事務局あて質疑申立てができる。なおこの解答は大会審査委員会の解釈、決定を最終的なものとして示される。

[36] 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込み受け日より有効となる。なお本規則に示されていない事項はMF J国内競技規則による。

昭和56年1月1日

大会事務局長

付則
2

モトクロス規則

モトクロス規則の内容

[1] 適用の範囲	43
[2] モトクロス	43
[3] 出場車輛	43
[4] ライダーの装備	53
[5] 公式予選	54
[6] レース	54
[7] 優勝者、入賞者順位 完走者および得点	54

〔1〕 適用の範囲

以下に記す規則は、総則と共にすべての国内モトクロス競技会に適用される。

〔2〕 モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走行方向が急変化する等の地形のところで行なわれるクロスカントリー・レースであり、総則およびこの付則により管理される。

〔3〕 出場車輛

車輛は下記の改造の限度と仕様をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車輛は出場することはできない。

1. クラス区分

車輛のクラス区分は原則として次のようにわけられ、開催種目および運用は、特別規則に示される。

クラス	最小総排気量	最大総排気量
50cc	—	50cc
80cc	51cc	~ 80cc
125cc	81cc	~ 125cc
250cc	126cc	~ 250cc
500cc	251cc	~ 500cc

2. 改造の限度

1) 国際A級部門の車輛改造の限度

車輛の銘柄型式は制限しない。

改造をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 半乾燥重量は下記の最低重量を満していなければならない。半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料をぬいた車輛重量をいう。ただし、分離給油式の場合のオイルは燃料とみなす。

① 車輛最低重量は次の通りである。

125cc=80kg 250cc=88kg 500cc=95kg

② ダミーウェイトを装着してはならない。

(2) 騒音は下記の条件を満していなければならない。

① 車輛には、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。

② 騒音はFIM方式による測定方法で110db(A)以下でなければならない。

③ FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均速度を4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転させていると

きの騒音を測定する方法をいう。

- (3) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

2) 国際B級、ジュニア、ノービス部門の車輛改造限度

車輛は、一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。

その銘柄、型式の詳細は公示に示される。機械加工または仕上げによる修正、調整、軽量化、もしくは形状の変更をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

- (1) 機械的伸長、他の物質の添加または分子構造や金属面に変更をもたらすような処理（焼き入れ等）および材質の変更をしてはならない。

- (2) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならないが、補強等はおこなってもよい。

- (3) 異った機種エンジンの、フレームの組合わせは公認車輛同士に限りおこなうことができる。ただし、小排気量車のフレームと大排気量車のエンジンを組合わせることはできない。

- (4) クランクケース本体やクランクシャフト・アッセンブリーは公認型式のものでなければならない。

- ① クランクウェブのバランス穴の充填は認められる
② ユニット・コントラクション(単体構造)エンジンの場合のクランクケース本体とは変速機部分を含むものとする。

- (5) 変速機の段数は6段を限度とする。
ただし、クランクケースおよびミッションケース外に変速装置をつけ加えてはならない。

- (6) 冷却方式を変更してはならない。

- (7) 弁形式を変更してはならない。

- (8) 燃料吸入方式を変更（フェューエルインジェクターの取り付け等）してはならない。

- (9) 気化器の個数は気筒あたり1個を限度とする。（ダブルベンチェリーの場合は2個とみなす）

- 10) 半乾燥重量は下記の最低重量をみたしていなければならない。

- ① 半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料をぬいた車輛重量をいう。ただし、分離給油式の場合のオイルは燃料とみなす。

- ② 車輛最低重量は次の通りである。
80cc=73kg 125cc=80kg 250cc=88kg

- ③ ダミーウェイトを装着してはならない。

- 11) 騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

- ① 車輛は、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていないなければならない。

- ② 騒音はFIM方式による測定方法で、110db(A)

以下でなければならない。

- ③ FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転させているときの騒音を測定する方法をいう。

14) 構成部品

- ① 下記部品はMFJが公認したものでなければならない。

ミッション、シリンダー、シリンダーヘッド

- ② 下記部品はMFJに市販届出申請を行ない承認されたものでなければならない。

フロントクッション、リアクッション

- ③ チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

3. Bライセンス部門の車輛改造限度

- (1) 車輛は市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。
その銘柄、型式の詳細は公示に示される。

- (2) 変更してもよい部品。

- ① ハンドルおよびその附属品
② コントロール・ケーブルワイヤー類
③ タイヤ
④ フートレスト
⑤ フェンダー
⑥ シート
⑦ 消音器の内部
⑧ エアクリナー
⑨ 点火プラグ
⑩ メインスイッチ
⑪ ベダル類
⑫ スプロケット
⑬ チェーンケース

- (3) 取りはずさなければならない部品。

- ① スタンド類
② キャリア類
③ タンデム・フートレスト
④ 車輛番号標板（ブラケットごと）
⑤ バックミラー
⑥ ライト類およびガラス類（ただし、レンズおよびライト類の飛散防止を施せばよい）

- (4) とりつけなければならない部品。

- ① レースナンバープレート
② ハンドルレバーエンド

- (5) 騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

- ① 車輛は、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていないなければならない。

- ② 騒音はFIM方式による測定方法で、110db(A)以下でなければならない。

- ③ FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの



大地を、読みきる。

勝つための、8つのモトクロス専用タイヤ。
ブリヂストンのラインナップが充実。

M21
フロント専用



M23
フロント専用



M27
フロント専用



M31
フロント専用



新製品
特に硬質路面に強い、
オールラウンドタイプの
フロント専用タイヤ

新製品
優れた操縦安定性、
軟質ダートに強い
フロント専用タイヤ。

M18
リヤ専用



M20
リヤ専用



M22
リヤ専用



M24
リヤ専用



新製品
軟質ダートに
威力を発揮する
リヤ専用タイヤ。

	発売サイズ	備考
フロント	M21 3.00-21	125cc、250cc専用
	M23 3.00-21	125cc、250cc専用
	M27 3.00-21	125cc、250cc専用
	M31 3.00-21	125cc、250cc専用
リヤ	M18 4.00-18	125cc用
	M18 5.10-18	250cc用

	発売サイズ	備考	
リヤ	M20 5.10-18	250cc用	
	M22	4.00-18	125cc用
		4.10-18	125cc用
		5.10-18	250cc用
	M24	4.00-18	125cc用
		5.10-18	250cc用

MOTOCROSS
BRIDGESTONE

●モトクロス専用タイヤです。モトクロス場以外の一般道路では使用できません。



モトクロスGPの最高峰
500ccクラスで、Hondaは'79/
'80二年連続メーカーチャンピオンを獲
得。アンドレ・マラーベ選手もワールドチ
ャンピオンに決定。また、'80耐久ロードレース世
界選手権シリーズでも、昨年までのヨーロッパ選
手権耐久ロードレース4年連続制覇に引き続き、
世界選手権に昇格後の初代メーカーチャンピ
オンの栄誉に輝いた。さらに、マーク・フォンタン、

エルー・モアノー両選手
も初代ワールドチャンピオン
の座を獲得。オンロード、オフロードの世
界に冠たる二大レースで、Hondaはメー
カー、ライダーともに制覇する偉業を見事に成し
とげた。この快挙こそ、Hondaがモーターサイ
クルのために絶えざる努力と研磨を重ねてきた
テクノロジーが、いかに斬新でスーパーなもの
であるかを世界に証明した、価値ある勝利だ。

常勝Honda 二大栄冠を制覇!

モトクロス世界選手権500cc '79'80二年連続。'80耐久ロードレース世界選手権。
ともにメーカー&ライダーチャンピオン獲得!!

*1980 WORLD ENDURANCE
ROAD RACE
MAKER & RIDER
CHAMPION*

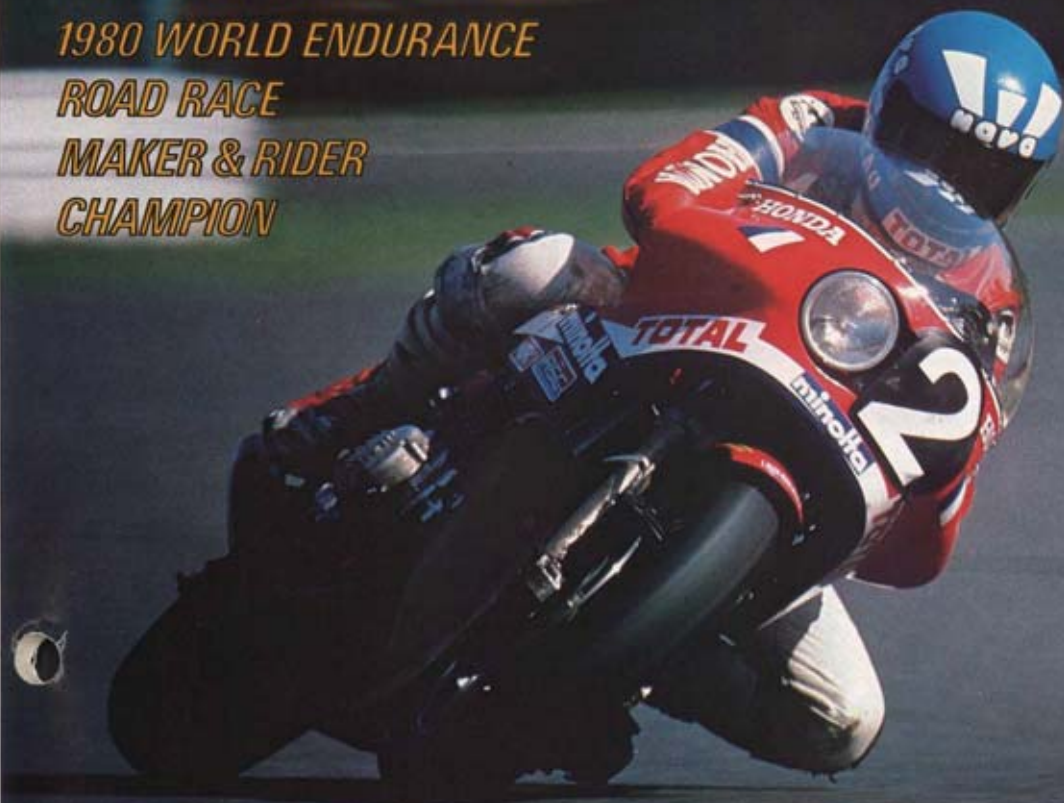


PHOTO: HERVE MOINEAU + HONDA RS1000

*1980 MOTOCROSS 500GP
MAKER & RIDER
CHAMPION*

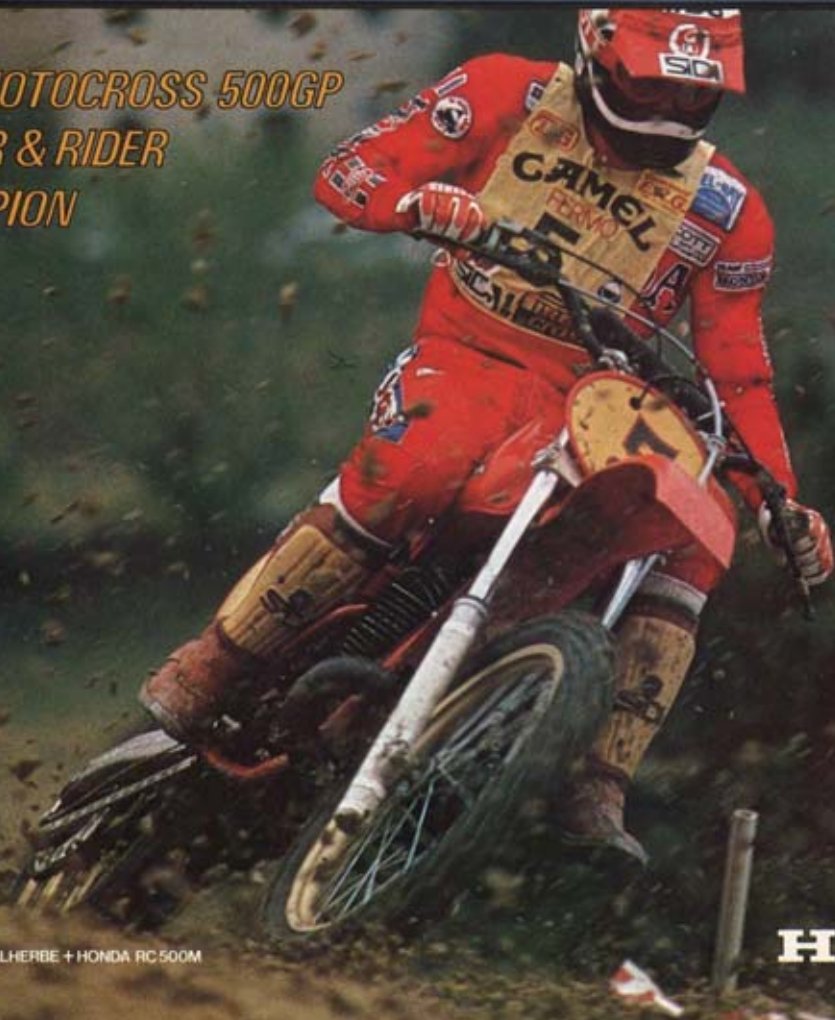
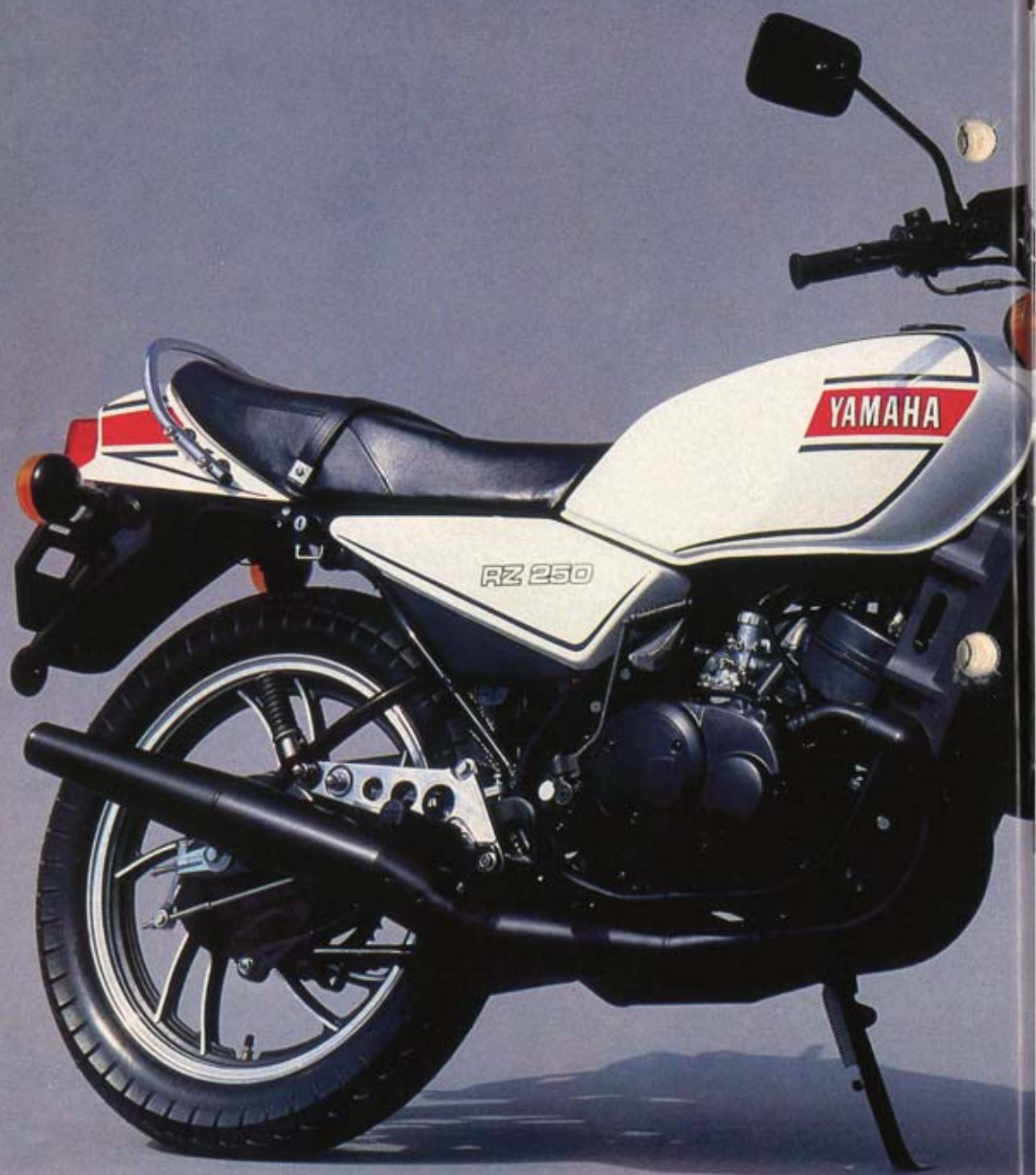


PHOTO: ANDRE MALHERBE + HONDA RC500M

HONDA

BIG MAN, BI

走るために、生まれてきたんだ。



G MACHINE.



“キング”の愛称で知られるケニー・ロバーツ。世界GP500ccクラスで3年間トップを走る彼は、実にすかすかしい顔をしていた。常に極限の走りに挑戦する姿勢が彼という人間をここまで磨いてきたのだろう。ヤマハのRZ250もまた同じように、走りの追求から生まれた。人間とマシンという違いはあっても、この両者には走ることに賭ける情熱が隠されている。それは、RZ250に乗って風を受けたとき、あなた自身の体が感じとってくれるだろう。

●2サイクル・水冷・7ポートクインクッション・247cc ●C.D.I.点火方式
●最高出力35PS/8,500rpm ●最大トルク3.0kg-m/8,000rpm ●リターン式6段 ●フルダブルクレードルフレーム ●モノクロスサスペンション ●画期的なオーソゴナルエンジンマウント方式 ●16.5ℓの大容量燃料タンク
●790mmの低シート高 ●ハロゲン球60/50Wのヘッドランプ ●イタリックタイプのアルミ・キャストホイール ●チューブレスタイヤ ●ボディカラー/ニューパールホワイト、ニューヤマハブラック ●標準現金価格¥354,000

(ザ・エクストラ・2ストローク)

YAMAHA RZ250

ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL05383(2)1111

●ヘルメットを必ず着用しよう。 ●定期点検を受けよう。 ●バイクの改造はやめよう。
●カタログご希望の方は機種名を明記の上、郵便切手150円を添えてお送りください。

OFF ROAD MACHINE SHOP



Yamamoto Racing Service

各機種林道マシン製作

- ” トライアルマシン販売
- ” モトクロス ”
- ” スペシャルパーツ販売
- ” 外車販売

●通信販売
●ローン販売
●下取り販売
} のいずれでも
販売OK!!
※TL・TYの下取り歓迎します。



代表者 山本 隆

山本レーシング

〒675 兵庫県加古川市野口町良野261-3 ☎0794(23)2335

FOR PROFESSIONAL



スーパーMX
アウトサイド



セフティスロットル

852

1

チェスト・
ショルダーベンチ

- シニサロMXアパレル…ベンチチェストショルダー ¥16,800 チェストベンチ ¥14,000 GPパンツスーパーMXアウトサイド ¥8,800
(フィンランド) チェスト ¥12,000 フェイスガード ¥2,500 ¥35,000 * インサイド ¥8,500
* インサイド ¥7,800
メッシュアウトサイド ¥7,500
* インサイド ¥7,500
- ハルバルゾン……………GPパンツ ¥45,000
- アルバインスター……………852スーパースタークロス ¥45,000 1 シュライパースーパートライアル ¥45,000
(イタリア) 874ラスメルトライアル ¥45,000
- セフティスロットル……………ワイヤー付 ¥8,000
(スウェーデン)
- プレストンベティ……………フロントフェンダー白・赤・黄 ¥6,500
(U・S・A)

MFJ指定店



ライダーズスポットタイチ

〒574 大阪府大東市中垣内7-700-1 TEL(0720)74-3268

クオリティに限界はない。



ROAD RACE & MOTOCROSS

トップライダーの過酷な要求に応える
ダンロップモーターサイクル用タイヤ

サーキットをフルパワーで走り抜けるロードレース。砂じんをあげカウンタージャンプをくり返すモトクロス。トップライダー達の激しいデッドヒートは、文字どおりマシンもタイヤも極限状態の中で競われます。高度なテクニックとマシンの力を引き出すダンロップモーターサイクル用タイヤ。一戦ごとにトライし、蓄えたノウハウと限りない性能の追求が、トップライダーの要求に見事応えています。



ロードレース用

KR 133

モトクロス用

K 390



SUPER BOOTS FOR SUPER RIDERS

SIDI

シディ(イタリア)

君のブーツは 足の一部になりうるか

あなたはここぞという所で、ギアチェンジミスのために、ライバルに抜かれた経験はありませんか。一瞬のギアチェンジミスが勝敗に直接つながるレースでは、あなたの足にピッタリフィットして、あなたの足の一部のように意のままになるSIDIで、ロスタイムをなくして下さい。

SUPER PROFESSIONAL
(スーパー プロフェッショナル) ¥52,800



新製品



これまでのモトクロスブーツの常識を打ち破ったSIDIよりの新製品。従来のバックル留め金の代りに、マジックテープと編み上げひも機構のコンビネーションにより、よりスピーディーでスムーズなブーツの脱着を可能にしました。



PROFESSIONAL
(プロフェッショナル) ¥49,800



NEW MASTER
(ニューマスター) ¥45,700



MASTER
(マスター) ¥45,700



JOEL ROBERT
(ロベール) ¥47,500



SUPER TRIAL
(スーパートライアル) ¥49,800



AVUS
(アバス) ¥42,300



RACING
(レーシング) ¥36,500



TOURING
(ツーリング) ¥34,800



CECOTTO
(セコット) ¥32,600



ASSEN
(アッセン) ¥35,500

SIMPSON HELMET

MADE IN U.S.A.



MODEL 50
¥42,500



MODEL 61
¥42,500



MODEL 30
¥76,000

場合13m/s でエンジンを回転させているときの騒音を測定する方法をいう。

- (6) 上記、(2)(3)(4)の各項に記された部品以外は一切変更改造をおこなってはならない。

3. 仕様

1) 排気管および消音器

- (1) 規定の騒音規制値を満足していなければならない
(2) その長さは後輪後端を通る垂直線より突出してはならない。

2) タイヤ

タイヤにチェーン、スパイク等を加工装備してはならない。

3) 過給

過給器を取付けたり過給したりしてはならない。

4) クラッチとブレーキレバーおよびペダル

(1) クラッチレバーおよびブレーキレバーはその末端が直径19mm以上の球状に作られ、容易にとれるものであってはならない。

(2) ブレーキペダルおよびギアシフトレバーの位置は自由である。ただしその先端は安全上丸められていなければならない。

5) ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキをそなえていなければならない。

6) フェンダー

前後車輪には有効なフェンダーが装備されていなければならない。

特に後輪はその後部上四半分の上側から 35° 以上覆われていることが望ましい。〔第1図参照〕

ただし、前輪フェンダーについては、主催者が認めればとりはずしてもよい。

7) 取りはずさなければならない部品。

ライト類、バックミラー、スタンド類、荷台およびチェーンケース（プロダクションのみチェーンケースはこの限りではない）は取り外さなければならない。

8) レースナンバープレート

(1) ナンバープレートの大きさ

ナンバープレートは、第2図に示す大きさ以上のものでなければならない。

(2) 取り付け方法

ナンバープレートは、車輻の前面に1枚を前向きに、車輻の両側面に各1枚を垂直方向に取り付けなければならない。

(3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは次の通りである。

Bライセンス部門——白地に黒文字

ノービス部門——白地に黒文字

ジュニア部門——黄地に黒文字

国際B級部門——緑地に白文字


国際A級部門125ccクラス——赤地に白文字

国際A級部門250ccクラス——赤字に黄文字

(4) ナンバーの字体

ナンバーの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。

例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

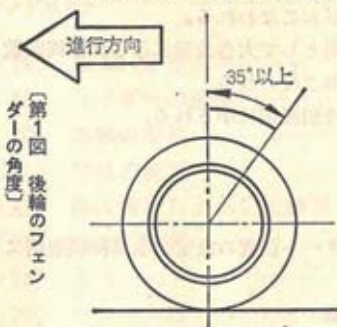
わるい書体例  陰つきの花文字など不可

- 9) 他のライダーに危険および迷惑をおよぼすような構造であってはならない。

〔4〕ライダーの装備

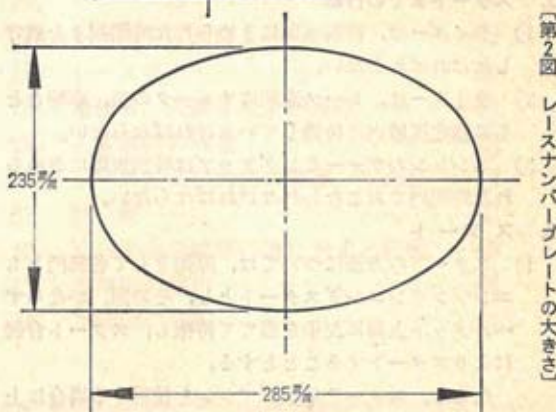
1. ヘルメット

ヘルメットは、日本工業規格 J I S T 8133 の 2 種、U S A S . I . S T A N D A R D - Z 9 0 - 1 - 1 9 7 0、米国スネル規格 1975 によって示された検査に合格したか、またはそれ以上の性能を有するジェット型かフルフェイス型のもので、M F J が公認したものでなければならない。



競技会においてこの検査がおこなわれ検査に合格しなかったヘルメットは、M F J の公認したヘルメットでも、ライダー本人の安全上その使用を禁止される。

M F J の公認した



ヘルメットには認証マークが貼付されている。

2. ゴoggles

ガラスを用いたゴogglesの使用はいっさい禁止される。枠は柔軟なもの、または転倒等による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなければならない。

3. ライダーの服装

- 1) 服装はレース中ライダーの身体の安全を確保し、操縦技術を妨げるものであってはならない。
- 2) 下半身は皮製または革と同等以上の耐摩耗性、耐熱性を有する材質のズボンを着用しなければならない。
- 3) 上衣は特に規制しないが、安全で自由な動作をさまたげず、丈夫なものを着用しなければならない。
- 4) 突出部品のない革、または革と同等以上の性能をもつ手袋および靴を着用しなければならない。
- 5) ライダーは競技会中、合成繊維（ナイロン、テロン等）製の肌着を着用してはならない。

[5] 公式予選

1. 公式予選の日程

- 1) 公式予選は原則として各クラス別におこなわれる。
- 2) 公式予選の日程は特別規則に示される。

2. 公式予選の内容

- 1) そのクラスの出場申込み台数が、規定の同時出走最多台数（30台）を大きく越えた場合、決勝進出者決定のための公式予選がおこなわれる。
- 2) 公式予選は、原則として大会公示に示される周回数のレースによっておこなわれる。
- 3) 決勝進出台数は特別規則に示される。

[6] レース

1. スタート位置

レースにおけるスタート位置の決定方法は特別規則に示される。

2. スタートまでの行動

- 1) ライダーは、特別規則に定められた時間割りを厳守しなければならない。
- 2) ライダーは、レース直前のチェックの後、車輻とともに指定区域内に待機していなければならない。
- 3) エンジンのウォーミングアップは特別規則に定められた時間内でおこなわれなければならない。

3. スタート

- 1) スタートの方法については、原則として各部門ともエンジンランニングスタートとし、その際、かならずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
ただし、スターティングマシンを使用する場合は上

記の待機姿勢をとらなくてもよい。

- 2) スタート位置は、すべて正規のスタートラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。
- 3) スターティングマシンが使用される場合は、車輻の位置は原則としてスターティングマシンの後方の区画内とする。
- 4) スタートの合図は、スタート係が国旗を振ることによって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合はこの限りではない。
- 5) スタート合図以前にスタート・ラインを出たものがあつた場合、すなわちフライングのあつた場合は、スタート・ライン前方において赤旗が振られ、スタートをやりなおす。

4. コースアウト

ライダーは走行中やむをえず、定められたコースを外れ出た場合、再びコースにもどるには同じ地点よりなされなければならない。

5. レース終了

レースの終了は優勝者の完走後、チェッカーフラッグマーシャルが定位置をはなれること、または大会役員車がコースを一巡することによって示される。

[7] 優勝者、入賞者順位、完走者および得点

1. 優勝者

優勝者は、規定のレース時間および周回数を最短時間で完走したライダーである。

2. 入賞者および順位の優先順序

- 1) 入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走車の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- 2) レース終了時までにゴールラインに達しない走行中の完走者。
- 3) 完走周回数をまっとうしたのち、リタイアした者。
- 4) 上記以外の者については周回数の多い者を優先する

3. 完走者

各レースにおいて、優勝者の80%以上の周回数を完了してチェッカーを受けたライダーが完走者である。

4. 得点

- 1) 完走者には総則[8]の2., 3. (16, 21頁参照) によって得点が与えられる。
- 2) 選手権シリーズで大会（県、地方、全日本等）の得点は原則として、上記 1) によって与えられる。
- 3) レースが2ヒートでおこなわれる場合は、この得点は各ヒート毎に与えられる。

モトクロス

'81全日本選手権大会特別規則

全日本選手権モトクロス大会は、日本モーターサイクル協会（MFJ）公認のもとに、MFJ国内競技規則にしたがい開催される。本特別規則は、1981年度全日本選手権シリーズのすべての大会に適用される。



特別規則の内容

[1] 開催競技会の日程、名称、主催、 開催場所、出場申込み期間.....56	[18] 車輛検査.....59
[2] 運営実行組織.....57	[19] ライダーの変更.....59
[3] 公式通知・タイムスケジュール.....57	[20] 車輛の変更.....59
[4] 開催種目.....57	[21] 部品の変更.....59
[5] 競技内容.....57	[22] 自由練習および公式練習.....59
[6] 参加定員.....57	[23] 公式予選.....59
[7] 参加資格.....57	[24] スタート.....59
[8] 出場申込み.....57	[25] レース.....60
[9] 出場料、保険料および選手共済費.....57	[26] レース中の合図.....60
[10] 参加受理.....57	[27] レース終了.....60
[11] 賞および得点.....57	[28] 優勝者、入賞者および得点.....60
[12] 出場車輛.....58	[29] 入賞車輛の検査.....60
[13] 競技者番号（ナンバー）.....58	[30] レースおよび大会の延期、中止等.....60
[14] ライダーの装備.....58	[31] 抗議.....60
[15] ガソリンおよびオイル.....58	[32] レース中の違反行為に対する罰則.....60
[16] ビットエリア.....58	[33] 本規則の解釈.....60
[17] 出場受付.....58	[34] 本規則の施行.....60

モトクロス

[1] 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

日 程	大 会 名 称	主 催 (出場申込み先)	開催場所	出場申込み期間
3月21日(土) 22日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦 関東モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	関東信越モーターサイクル協会 ☎108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎ 03(472)6241	埼玉県 川島町 セーフティ パーク埼玉	2月20日(金) ? 3月2日(月) 消印有効
4月4日(土) 5日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦 西日本モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ西日本スポーツ委員会 ☎730 広島県広島市南区松川町3-19 鶴広島英油内 ☎ 0822(61)8386	山口県 美弥市 西日本サー キット	3月5日(木) ? 3月15日(日) 消印有効
4月25日(土) 26日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦 東北モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ東北スポーツ委員会 ☎980 宮城県仙台市北根1-19-41 ☎ 0222(73)0475	宮城県 村田町 スポーツラ ンド SUGO	3月27日(金) ? 4月6日(月) 消印有効
5月9日(土) 10日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦 鈴鹿モトクロス大会 (国際A級2ヒート制)	(株)ホンダランド鈴鹿サーキット ☎510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎ 0593(78)1111	三重県 鈴鹿市 鈴鹿サーキ ット	4月10日(金) ? 4月20日(月) 消印有効
5月23日(土) 24日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦 四国モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ四国地方本部 ☎790 愛媛県松山市三番町7-13-11 ☎ 0899(32)6151	愛媛県 松山市 五明オート テック	4月24日(金) ? 5月4日(月) 消印有効
6月14日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦 九州モトクロス大会	MFJ九州地方本部 ☎812 福岡県福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16 福岡県軽自動車協会内 ☎ 092(641)0431	熊本県菊地 郡大津町 セーフティ パーク熊本	5月4日(金) ? 5月15日(月) 消印有効
6月28日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦 関東モトクロス大会 (N地方大会併催)	関東信越モーターサイクル協会 ☎108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎ 03(472)6241	新潟県 川西町 千手モトク ロス場	5月28日(木) ? 6月8日(月) 消印有効
7月11日(土) 12日(日)	全日本選手権シリーズ第8戦 札幌モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	北海道モーターサイクル協会 ☎065 北海道札幌市東区東雁来町52 札幌地区軽自動車協会内 ☎ 011(782)1492	北海道 留寿都村 大和ルスツ スキー場 特設コース	6月12日(金) ? 6月22日(月) 消印有効
9月5日(土) 6日(日)	全日本選手権シリーズ第9戦 東北モトクロス大会 (国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)	MFJ東北スポーツ委員会 ☎980 宮城県仙台市北根1-19-41 ☎ 0222(73)0475	岩手県 岩手町 アクト牧場 特設コース	8月7日(金) ? 8月17日(月) 消印有効
9月20日(日)	全日本選手権シリーズ第10戦 九州モトクロス大会	MFJ九州地方本部 ☎812 福岡県福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16 福岡県軽自動車協会内 ☎ 092(641)0431	福岡県八女 郡星野村 トレールラ ンド 星野	8月21日(金) ? 8月31日(月) 消印有効
10月17日(土) 18日(日)	全日本選手権シリーズ第11戦 第18回モトクロス 日本グランプリ大会 (国際A級2ヒート制)	日本モーターサイクル協会(MFJ) ☎104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル ☎ 03(561)8566	宮城県 村田町 スポーツラ ンド SUGO	8月24日(月) ? 9月7日(月) 必着

〔2〕 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

〔3〕 公式通知・タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切後に発送される。

〔4〕 開催種目

- 1) 全日本選手権シリーズの競技部門、クラス区分は下記のとおりである。

部 門	ジュニア	国際B級	国際A級
クラス	125cc	125cc	125cc
	250cc	250cc	250cc

- 2) 大会によりノービス部門の競技が併催されるが、ノービス部門は全日本選手権の対象とはならない。
3) 日本GP大会には、ブロック対抗ノービス選抜レース(125cc)がおこなわれる。

〔5〕 競技内容

ノービス	10分+2周
ジュニア	15分+2周
国際B級	30分+2周
国際A級	40分+2周

注：上記競技内容は天候等の都合により、大会審査委員会の決定によって変更される場合がある。

〔6〕 参加定員

定員は定めない。

〔7〕 参加資格

1. 参加者およびライダー

- 1) 参加者およびライダーは、MF J国内競技規則、総則〔4〕(16項)に合致していなければならない。
2) 国際A級部門のライダーは、昭和56年1月1日末までにMF Jに登録したクラスにのみ出場することが認められる。

2. 日本GP大会の参加資格

- 1) ノービス部門。ブロック対抗ノービス選抜レース(125cc)出場者は、各地方スポーツ委員会により各ブロック毎に4名が推薦される。

- 2) ジュニア部門。8月31日までの全日本選手権シリーズ大会および地方選手権シリーズ大会の得点合計で各ブロックより125cc、250ccの各クラス上位7名。
3) 国際B級部門。8月31日までの全日本選手権シリーズ大会において各クラスともランキング上位30名+2名のライダー。

〔8〕 出場申込み

- 1) 申込み場所 申込み場所は各主催者住所とする。
2) 出場申込み
(1) 各部門とも所定の申込み書に必要事項をすべて記入の上、出場料およびMF J選手共済組合費(通称MF J保険)を添えて提出しなければならない。
(2) 2クラス以上に出場を申込み場合でも、申込み書は1枚でよい。ただし2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。
(3) 郵送の場合は現金書留とし、締切当日の消印のあるものまでが有効となる。
(4) 締切日以後の申込みおよび電話による申込みは一切受け付けない。

〔9〕 出場料およびMF J選手共済組合費

国際B級	} 出場料(保険料込み) (2クラス目より)	5,000円
国際A級		4,000円
併催ノービス地方大会	} 出場料(保険料込み) (2クラス目より)	5,000円
ス地方大会		4,000円
日本グランプリ大会	} 出場料(保険料込み) (2クラス目より)	6,000円
ブリ大会		5,000円

(MF J選手共済組合費=通称MF J保険料600円を含む)

〔10〕 参加受理

1. 必要事項のすべてが明記された出場申込み書、必要金額が大会事務局に受理されたのちに、参加受理書が発送される。
2. いったん受理された出場料、共済費はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
3. 大会が中止された場合、参加が拒否された場合(申込み者が必要な手続を怠った場合はこれにはあてはまらない)にのみ出場料、共済費が返還される。

〔11〕 賞および得点

1. 賞および得点

- 1) 高松宮杯
日本GP大会における最優秀ブロックに与えられる
2) その他の賞の詳細は公式通知に示される。

3) 全日本選手権ランキングの得点

- (1) 得点は総則〔8〕2. 3. (16, 21頁参照) によって与えられる。
- (2) モトクロスGP大会については、上記の得点にさらに3点が加算される。
- (3) レースが2ヒートで行なわれた場合は、それぞれのヒート毎に上記の得点が与えられる。
- (4) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
- (5) その詳細は全日本選手権ランキング順位決定方法(86頁参照)に示される。

4) 賞および得点の制限

賞および得点の制限は、総則〔8〕3. (21頁参照)による。

2. 日本GP大会における賞の規定

- 1) 最優秀クラブ賞は、MFJ公認クラブで、そのクラブの全入賞者の得点を合計し、最多得点を獲得したクラブに授与される。
- 2) 最優秀クラブ賞、最優秀ブロック賞およびノービスブロック対抗賞の得点集計は、1位15点、2位12点、3位10点、4位8点、5位6点、6位5点、7位4点、8位3点、9位2点、10位1点により行なわれる。

〔12〕 出場車輛

車輛は付則2〔3〕(43頁参照)を遵守しなければならない。

〔13〕 競技者番号(ナンバー)

- 1) 国際A級および国際B級の一部(20番まで)のライダーには、付録に示すとおり年間指定ナンバーが割当てられる。
- 2) 他のライダーには、主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 3) ナンバーは、車輛検査までに、規定の書体および色で記入しなければならない。
- 4) 年間指定ナンバーを与えられているライダーは、ヘルメットの両側にナンバーを記入しなければならない。
- 5) ナンバーの状態は、車輛検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 6) レース中、ナンバープレート、配布されたゼッケンおよびヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合、また、間違ったナンバーを装着して走行した場合はその周回は記録されない。
- 7) 雨天の場合、すべてのライダーはヘルメットの両側

面にナンバーを記さなければならない。

〔14〕 ライダーの装備

- 1) ライダーの服装等は、付則2〔4〕3. (54頁参照)による。
- 2) MFJ認証マークが貼付されていない公認ヘルメット



ヘルメットの側面に貼られたナンバー

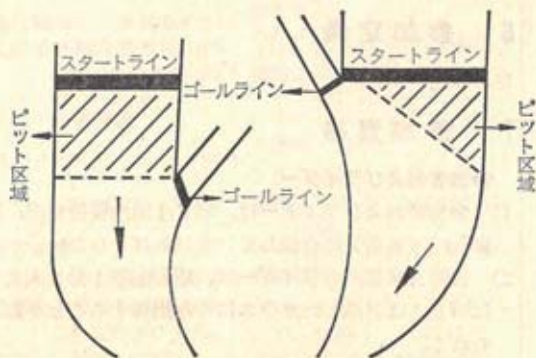
トを使用しているものについては、ペナルティ料金(100円)を支払わなければならない。

〔15〕 ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは、総則〔12〕(22頁参照)による。
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主催者から指定された時は、当該ガソリンを使用しなければならない。

〔16〕 ピットエリア

ピットエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のピットエリアはスタートラインからゴールラインまでの周回走行にさしつかえないコース上である。(第3図参照)



〔第3図〕ピットエリア(区域)

〔17〕 出場受付

- 1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。

- 2) 定められた時間内に、かならずライダー本人が出頭し運転免許証、MF Jライセンス、健康保険証、参加受理書を提示して、出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) 運転免許証を所持していない者は、原則として出場を認められない。
- 4) MF Jライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金(2,000円)を支払い、さらにその場でMF J登録料、ライセンス料を支払い仮登録しなければならない。なお、後日MF J事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は本人宛返還される。

[18] 車輛検査

- 1) 車輛検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、パドック内の車輛検査区域においておこなわれる。
- 2) タイムスケジュールに示された時間内に、かならずライダー本人が車輛を持参し車輛検査を受けなければならない。規定時間後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- 3) 車輛検査持込み台数は1クラスにつきノービス(地方大会)、ジュニアおよび国際B級部門は1台に限定、国際A級部門のライダーは制限を設けない。
- 4) 車輛検査において、規則または安全上出場が不適当と判定された車輛は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 5) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時検査をおこなうことができる。

[19] ライダーの変更

- 1) ライダーの変更は総則[14](22頁参照)による。

[20] 車輛の変更

- 1) 車輛の変更は総則[14](22頁参照)による。
- 2) ただし車輛変更申請は、同部門、同クラスの車輛に限定され、手数料5,000円を添付しなければならない。
- 3) 車輛の変更は、公式予選終了後は如何なる理由があっても認められない。
- 4) 2ヒート・システムの場合、第1ヒート目と第2ヒート目の車輛の変更は認められない。

[21] 部品の変更

- 1) エンジン・アッセンブリーの変更は認められない。
- 2) 2ヒートの場合、第1ヒート終了後すべての出走車

輛は封印される。なお、封印された部品以外のものの交換は許される。

[22] 自由練習および公式練習

- 1) 競技前日の走行練習は禁止される。
- 2) ライダーは安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加し、走行しなければならない。

[23] 公式予選

- 1) 公式予選の内容は付則2[5](54頁参照)による。
- 2) 公式予選の有無、周回数、決勝進出台数、その他の詳細は公式通知またはプログラム等に示される。
- 3) 公式予選の組分けは公式練習終了以前に発表される。

[24] スタート

- 1) スタートの方法については原則として各部門ともスターティングマシンを使用する。ただしスターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- 2) 同時出走最多台数は、原則として30台とする。
- 3) 決勝スタート位置は予選および予選のないクラスは抽選によるものとし、予選のあるクラスは予選順位により上位を優先して自由選択するものとする。
- 4) 2ヒート制の場合は、第1ヒートのスタート位置は予選レース、タイムトライアルまたは抽せんにより決定し、第2ヒート目のスタート位置はタイムトライアル、予選レースまたは第1ヒート目の順位を優先してスタート位置を自由選択とする。
- 5) エンジンのウォーミングアップは主催者の指示する

●はやる心を押えてゆとりをもつ



スタートの1秒はゴールの1秒につながる

時間内に限られる。

- 6) ウォーミングアップ以後、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても、スタート係はこれを考慮しない。

[25] レース

- 1) レース中の遵守事項は総則[15]（22頁参照）による。
- 2) ピットエリア内で車輛の整備などを行なえるメカニックは1名に限られ、他のメカニックは如何なる場所においても如何なる直接的援助をおこなうことはできない。
- 3) レース中、消音器またはエキスパンションチャンバーがはずれた場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗が示され、ピットインし、修理の後、審判長の許可を得た上で再出走が認められる。

[26] レース中の合図

- 1) レース中の合図は総則[16]3.（23頁参照）による。
- 2) 競技内容に示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴール地点に現われた時点から、残り周回数を示す合図が出される。

[27] レース終了

レースの終了は付則2[6]5.（54頁参照）による。

[28] 優勝者、入賞者および得点

1. 各レースにおける優勝者、入賞者、完走者および順位は、付則2[7]（54頁）による。
2. 2ヒートシステムの総合順位決定方法。
 - 1) 各ヒートごとに次の得点が与えられる。1位15点、2位12点、3位10点、4位8点、5位6点、6位5点、7位4点、8位3点、9位2点、10位1点。
 - 2) 総合順位決定は、①合計得点の多いもの、②合計周回数の多いもの、③着順上位のあるもの、④2ヒート目の成績にしたがっておこなわれる。

[29] 入賞車輛の検査

- 1) レース終了後、入賞となった車輛は、直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車輛は車輛重量および騒音が測定され、規定をみたしていない車輛は失格となる。

[30] レースおよび大会の延期、中止等

- 1) 大会は、本規則に発表した日程を変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、共済費は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

[31] 抗議

- 1) 抗議は、総則[21]（24頁参照）による。
- 2) 車輛の分解検査に要した費用はその抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車輛の分解等に要した費用は車検長が算定するものとする。
- 3) 車輛の分解検査に立合う者は、車検長および抗議を受けた当事者のみとする。

[32] レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、その軽重によって競技總監ならびに大会審査委員会の権限において、下記の罰則を課せられることがある。

- 1) 故意に走路を妨害した場合、失格とする。
- 2) レース中に他の援助を受けた場合、失格とする。
- 3) コース上で逆走した場合、失格とする。
- 4) コース審判により示された信号旗にしたがわなかった場合失格とする。
- 5) 1度コース外に出て他の所より再びレースに復帰した場合、1周減算または失格とする。
- 6) ウォーミングアップ中止後、役員の手許なくエンジンを始動させた場合、1周減算とする。
- 7) フライングスタートが確認された場合、黒旗をもってその旨ライダー本人に通告される。黒旗で合図されたライダーは、その場で1分間停止し、競技役員の手指示によって再スタートする。
- 8) 同じライダーによってフライングが2度繰返された場合は失格とする。

[33] 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申立てができる。なお、この解答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

[34] 本規則の施行

本規則は出場申込み受付日より有効となる。
なお、本規則に示されていない事項は、MF J国内競技規則による。

昭和56年1月1日

大会事務局長

トライアル規則

— トライアル規則の内容 —

[1] トライアル……	[2] 適用の範囲……	61
[3] 賞……	[4] 出場車輛……	61
[5] ライダーの装備……		62
[6] コース……	[7] セクション……	63
[8] タイムキーピング……		63
[9] 競技の進行……	[10] ペナルティ……	64
[11] ペナルティの定義……		65
[12] 競技結果……		65
[13] 同点者の判定……		65
★トライアルタイヤ公認規格……		64

〔1〕 トライアル

(オブザベーショントライアル)

オブザベーション・トライアルとは、自然の地形に設計された条件(セクション、コース)に、多数のライダーが規定された1日または2日以上の大会期間中に挑み、操縦の確実性とタイムキーピングにより結果が表わされる競技である。

〔2〕 適用の範囲

以下に記す規則は総則と共にすべてのトライアル競技会に適用される。

〔3〕 賞

原則として次の通り賞を定める。

- 1) 優勝=ベストパフォーマンス (BP)
出場者中最も減点の少ない者
 - 2) 2位=ランナーアップ (RU)
二番目に減点の少ない者
 - 3) ファーストクラス 優勝, 2位を含む上位20%の者
 - 4) セCONDクラス 次の上位10%の者
- 注: セCONDクラスとは全出場者の上位のうち、1), 2), 3)を除いた者。

〔4〕 出場車輛

出場車輛(以下車輛という)は下記の改造の限度と仕様をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。なお、改造されて型式(モデル)が判明できないような車輛は出場することができない。

1. 競技が一般公道を使用する場合の車輛の改造限度

出場車輛は、運輸省認定車で、車輛保安基準に合致し、一般公道を走れる状態のもので、次の保安部品を装着していなければならない。

登録番号プレート、ライト、スピードメーター、クラクション、フラッシャーランプ、バックミラー、ブレーキランプ、消音器等。

なおガラス類には飛散防止策を施さなければならない。

2. 競技が一般公道を使用しない場合の車輛の改造限度
出場車輛の銘柄、型式は規定しない

1) 国際A級部門

改造の仕上げ、調整をする場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

- (1) 騒音はMF J方式による測定方法で、80db(A)以下でなければならない。

MF J方式とは、排気管後方15m、地上1.2mの位置にマイクロフォンを設置し、排気量別に下記の

付則 3

回転数でエンジンを回転させているときの静止騒音を測定する方法をいう。

— ~ 80cc	6,000rpm
81cc ~ 125cc	5,500rpm
126cc ~ 250cc	5,000rpm
251cc ~ 500cc	4,500rpm
501cc ~ —	4,000rpm

(2) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

2) ジュニア、ノービス部門

出場車輛は工場レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。その銘柄、型式の詳細は公示に示される。改造の仕上げ、調整をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 騒音はMFJ方式による測定方法で80db(A)以下でなければならない。

MFJ方式とは、排気管後方15m、地上1.2mの位置にマイクロフォンを設置し、排気量別に下記の回転数でエンジンを回転させているときの静止騒音を測定する方法をいう。

— ~ 80cc	6,000rpm
81cc ~ 125cc	5,500rpm
126cc ~ 250cc	5,000rpm
251cc ~ 500cc	4,500rpm
501cc ~ —	4,000rpm

(2) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

3. 仕様

1) 排気管および消音器

排気管および消音器は規定の騒音規制値を満足していなければならない。

2) タイヤ

(1) タイヤはMFJに公認申請をおこない、承認されたものでなければならない。

ただし、国際A級部門は、MFJ公認規格に合致していれば、この限りではない。

(2) タイヤに改造を加えてはならない。

(3) タイヤにチェーン、スパイク等を加工装備してはならない。

3) クラッチおよびブレーキレバー、ペダル

(1) クラッチレバーおよびブレーキレバーはその末端が直径19mm以上の球状に作られ、容易にとれるものであってはならない。

(2) ブレーキペダルおよびギアシフトレバーの位置は自由である。ただし、その先端は安全上丸められて

いなければならない。

4) ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えていなければならない。

5) フェンダー

前後輪には有効なフェンダーが装備されていなければならない。

4. 競技用ナンバープレート

競技が一般公道を使用しない場合、競技用ナンバープレートを装着しなければならない。

1) ナンバープレートの寸法

ナンバープレートは第1図に示す大きさのものでなければならない。

2) 取り付け方法

ナンバープレートは1枚を車輛の前面に見えやすいように前向きに取り付けなければならない。

3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは次のとおりである。

ノービス部門＝白地に黒文字

ジュニア部門＝黄地に黒文字

国際A級部門＝黒地に黄文字

〔第1図 ナンバープレート〕



4) ナンバープレートの字体

ナンバープレートの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。

例 1234567890

なお、国際A級については第1図に示すようにプレート下部に記名しなければならない。

5) 他のライダーに迷惑をおよぼすような構造をしてはならない。

〔5〕ライダーの装備

1. ヘルメット

ヘルメットは、日本工業規格JIS1種以上のもので、MFJ公認のものであること。MFJの公認したヘルメットには、MFJ認証マークが貼付されている。

2. ライダーの服装

- 1) 下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。
- 2) 手袋および足首以上を保護する突出部のない皮靴またはゴム靴を着用しなければならない。

[6] コース

- 1) コースには次のコースマークが設定される。
 - (1) 右折(ターンライト) 赤いカードに“R”の黒字
 - (2) 左折(ターンレフト) 青いカードに“L”の黒字
 - (3) 直進(ストレート・オン) 白いカードに“S O”の黒字
 - (4) 一般公道を使用する場合は、上記カードの他に、交差点の手前50mに進行方向を予告するカードが設定される。

[7] セクション

- 1) セクションの表示
セクションは次のセクションカードおよびテープで表示される。
 - (1) 入口 右側 赤地にセクションナンバー
左側 青地に“Section Begins”または“IN”
 - (2) 途中 右側 赤いカード
左側 青いカード
 - (3) 出口 右側 赤地にセクションナンバー

左側 青地に“Section Ends”または“OUT”

- 2) セクションの幅
 - (1) セクションの横幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、カードによって制限する場合は1.2m以上なければならない。
 - (2) 同じ側のカードとカードの間を迂回することはできない。
 - (3) 採点区間
セクションにおける採点は、前輪のスピンダル(車軸)がセクション入口のカードを過ぎた時点から開始され、前輪のスピンダルがセクション出口のカードを過ぎた時点で終了する。

[8] タイムキーピング

- 1) ライダーは、あらかじめ抽選で決められた順序により、1分間隔でスタートする。
決められたスタート時刻に遅れたライダーに対してはペナルティが課せられ、20分以上遅れた場合は失格となり、スタートすることができなくなる。
- 2) コース走行時の平均速度は原則として20km/h以下とする。
- 3) ライダーには全コースを走破するための時間が与えられ、これに遅れてゴールしたライダーに対してはペナルティが課せられる。

● 静と動、バランスの妙味こそトライアルの真ずい



トライ一番。ライディングの原点ここにあり

付則 3

- 4) 全コースを走り終えたライダーはゴール地点でチェッカーを受け、タイムチェックを受けなければならない。決められた持ち時間をオーバーしてゴールしたライダーに対してはペナルティが課せられ、特別規則に示された規定時間までにゴールしないライダーはすべてリタイアとみなされる。

〔9〕 競技の進行

- 1) スタートの合図を受け、初めてエンジンを始動させることができる。
- 2) タイムキーピングを採用した場合、各セクションへのライダーの進入順序は自由であるが、オブザーバーによって指示された場合はこれにしたがわなければならない。
- 3) セクション間の移動はコースマークにしたがっておこなわなければならない。
- 4) ライダーはセクションに入る準備ができ次第、手を上げてオブザーバーに合図しなければならない。
- 5) オブザーバーの指示により、速かにセクションに入らなければならない。
- 6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を受けたライダーは、速かにセクション外へ車輛を移動させなければならない。
- 7) セクション内でライダーは一切の援助を受けてはならない。ただし、フルペナルティを受けたライダーは

この限りではない。

- 8) 競技中、車輛の整備はライダー自身でおこなわなければならない。これに違反した場合は失格となる。

競技中、事故を起した場合や車輛の故障等の理由で競技続行が不可能な場合は、速かに役員に申し出なければならない。

〔10〕 ペナルティ

- 1) セクションにおける減点は 0-1-2-3-5-10 とする。

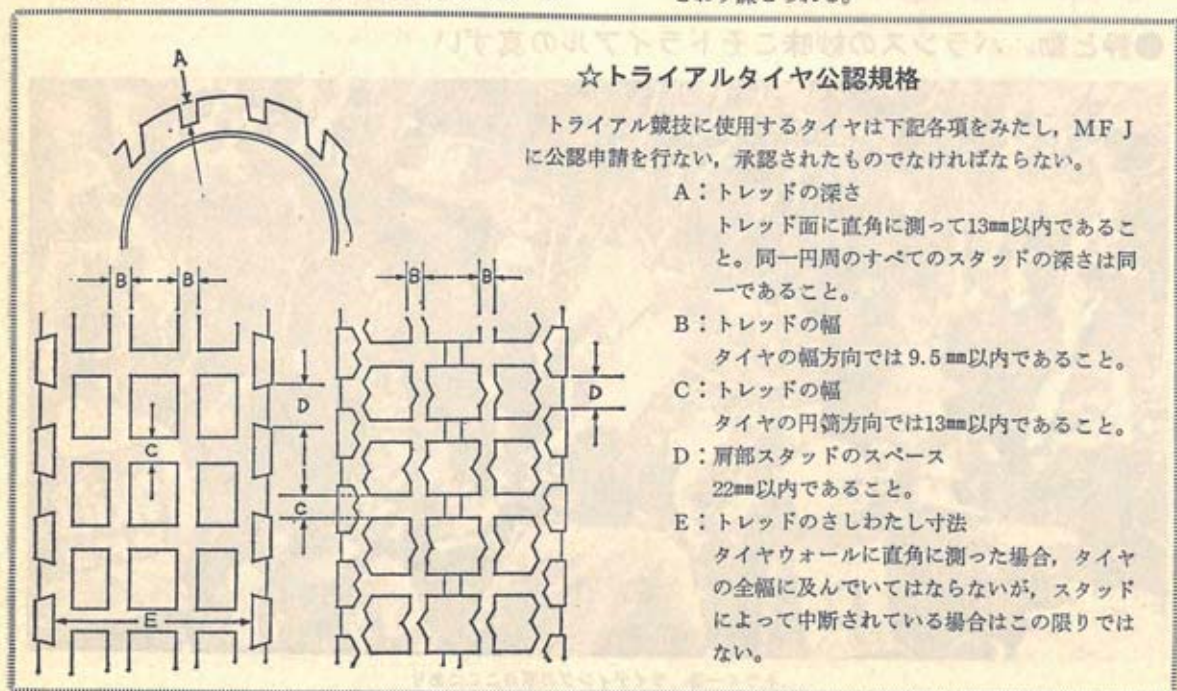
(1) クリーン	0点
(2) 足つき1回	1点減点
(3) 足つき2回	2点減点
(4) 足つき3回以上	3点減点
(5) 失敗	5点減点
(6) 放棄	10点減点
- 2) タイムキーピングによるペナルティは次のとおり課せられる。

(1) スタートの遅れ1分につき	1点減点
(2) 予定されたスタート時間に 20分以上遅れた場合	失格
(3) 最終タイムチェックの遅れ 1分につき	1点減点
- 3) ライダーの不適切な行為に対するペナルティは次のとおり課せられる。

☆トライアルタイヤ公認規格

トライアル競技に使用するタイヤは下記各項をみだし、MF J に公認申請を行ない、承認されたものでなければならない。

- A: トレッドの深さ
トレッド面に直角に測って13mm以内であること。同一円周のすべてのスタッドの深さは同一であること。
- B: トレッドの幅
タイヤの幅方向では9.5mm以内であること。
- C: トレッドの幅
タイヤの円筒方向では13mm以内であること。
- D: 肩部スタッドのスペース
22mm以内であること。
- E: トレッドのさしわたし寸法
タイヤウォールに直角に測った場合、タイヤの全幅に及んでいてはならないが、スタッドによって中断されている場合はこの限りではない。



- (1) 役員に対する不適当な態度 100点減点
- (2) セクションにおいて役員の指示に従わなかった場合 10点減点
- (3) 定められたコースを不適当にカットした場合 50点減点

[11] ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は次のとおりとする。

1) 足つき

- (1) ライダーの身体のどの部分でも地面に着地した場合
- (2) 車輻およびライダーのどの部分でも、立木、岩または土の壁面等の障害物にもたれかかった場合。

2) 失敗

- (1) 停止=前輪が前進を止めた場合。(足をつかなかつた場合は停止としない。ただし、ライダーが支えなくても、それ以上車輻が姿勢を変えない状態になった場合は停止とする。)
- (2) 降車=ライダーが車輻から離れる状態になった場合
- (3) クロス=ライダー自身の車輻のわだちに再び触れたり、これを踏みつけたり、越えたりした場合。
- (4) マーカー移動=セクションを表示するものを車輻で破損または移動させた場合。
- (5) セクション・アウト=車輻の前輪・後輪のいずれか一方でもセクションを表示するものの外側を通過した場合。および迂回した場合。
- (6) 援助=第三者の援助を受けた場合。

3) 放棄

- (1) セクションを走行しなかった場合。

[12] 競技結果

- 1) 総減点数の少ないものから順位を定める。
- 2) ワンディトライアルの場合は、原則として当日の競技結果の発表を公式とする。
- 3) 2日以上にわたって競技が行なわれる場合は、競技終了日より一週間以内に公式結果が発表される。

[13] 同点者の判定

- 1) 同点者の判定は、次の判定順序に従っておこなう。
 - (1) クリーンの数の多い者を上位とする。
 - (2) 1点減点の多い者を上位とする。
 - (3) 2点減点の多い者を上位とする。
 - (4) 3点減点の多い者を上位とする。
 - (5) 以上によって決定できない場合は同位とする。
- 2) 主催者の権限によりスペシャルテスト等で判定する場合もある。

● トライアルの減点は

0-1-2-3-5-10

トライを放棄すれば減点10、 それ、 ゴー



減点ゼロ
おみごと / クリーンです



減点1
残念、足つき1回



減点2
無念なり、足つき2回



減点3
足バタバタ3回以上



減点5
ミスりました。失敗です

時間厳守とフェアプレーの精神で

トライアル

'81全日本選手権大会特別規則

全日本選手権トライアル大会は、日本モーターサイクル協会(MFJ)公認のもとに、MFJ国内競技規則にしたがい開催される。本特別規則は、1981年度全日本選手権シリーズのすべての大会に適用される。



特別規則の内容

- | | |
|--|------------------------------|
| [1] 開催競技会の日程、名称、主催、
開催場所、出場申込み期間.....67 | [13] 出場受付.....68 |
| [2] 公式通知、タイムスケジュール.....67 | [14] 車輛検査.....69 |
| [3] 開催種目.....67 | [15] ライダー.....69 |
| [4] 運営実行組織.....67 | [16] 練習.....69 |
| [5] 参加者およびライダー.....67 | [17] スタート.....69 |
| [6] 出場申込み.....68 | [18] ゴール.....69 |
| [7] 出場料およびMFJ選手共済組合費.....68 | [19] 車輛保管.....69 |
| [8] 賞および得点.....68 | [20] 競技会の延期、中止およびうち切り.....69 |
| [9] 出場車輛.....68 | [21] 抗議.....69 |
| [10] 競技者番号(ナンバー).....68 | [22] 参加者の遵守事項.....69 |
| [11] ライダーの装備.....68 | [23] 本規則の違反、裁定.....69 |
| [12] ガソリンおよびオイル.....68 | [24] 本規則の解釈.....69 |
| | [25] 本規則の施行.....69 |

'81全日本選手権大会特別規則

[1] 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

日 程	大 会 名 称	主 催 (出場申込み先)	開催場所	出場申込み期間
2月8日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦 関西トライアル大会	MFJ 関西トライアル委員会 〒675 兵庫県加古川市野口町良野 261-3 ☎ 0794(23)2335	奈良県 バイアルス パーク生駒	1月8日(木) ? 1月19日(月) 消印有効
3月1日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦 中部トライアル大会	MFJ 中部トライアル委員会 〒470-01 愛知県愛知郡東郷町諸輪 宇東路59-99 鈴木唯一気付 ☎ 05613(8)0736	三重県 名阪久我1 C横 久我トライ アル場	1月31日(土) ? 2月10日(火) 消印有効
3月22日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦 九州トライアル大会	MFJ 九州トライアル委員会 〒834 福岡県八女市大字吉田1328 内野徳助気付 ☎ 09432(4)3629	福岡県久留 米市山本町 碎石場跡	2月20日(金) ? 3月2日(月) 消印有効
4月12日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦 四国トライアル大会	MFJ 四国地方本部 〒779-02 徳島県徳島市西新町4-7 富浪商店内 MJF 四国トライアル 委員会 ☎ 0886(22)5545	徳島県美馬 郡美馬町吉 野川	3月13日(金) ? 3月23日(月) 消印有効
6月7日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦 第9回日本グランプリ トライアル大会	日本モーターサイクル協会(MFJ) 〒104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル ☎ 03(561)8566	栃木県 鶏頂山スキ ー場	4月13日(月) ? 4月27日(月) 必着
7月19日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦 北陸トライアル大会	MFJ 北陸トライアルスポーツ委員 会 〒930 富山県富山市藤木521-1 富山県軽自動車協会内 ☎ 0764(24)6420	富山県極楽 坂スキー場	6月19日(金) ? 6月30日(火) 消印有効
9月20日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦 東北トライアル大会	MFJ 東北トライアル委員会 〒982 宮城県仙台市長町3-3-9 ホンダ宮城販売社内 大友克人氣付 ☎ 0222(47)0123	福島県 郡山市深田 ダム	8月21日(金) ? 8月31日(月) 消印有効
10月4日(日)	全日本選手権シリーズ第8戦 関東トライアル大会	MFJ 関東信越トライアル委員会 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎ 03(472)6241	栃木県 鶏頂山スキ ー場	9月4日(金) ? 9月14日(月) 消印有効

[2] 公式通知、タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切り後に発送される。

[3] 開催種目

1. オブザベーション・トライアル

付則3 [1] (61頁)参照。

- 1) 全日本選手権の対象部門は国際A級部門とする。ただし、大会当日ジュニア部門の地方大会が併催されることもある。
- 2) セクション数およびタイムキーピングの方法について

ては、公式通知に示される。

- 3) 日本GP大会はジュニア選抜競技がおこなわれる。

[4] 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

[5] 参加者およびライダー

1. 参加資格

- 1) 1981年版MFJ国内競技規則、総則[4] (16頁)に合致していなければならない。
- 2) 日本GP大会以外の大会では国際A級部門のみとす

る。ただし地方大会として併催されるジュニア部門はこの限りではない。

3) 日本GP大会

(1) 国際A級部門

- ① 昨年度全日本選手権有得点者
- ② '81 全日本選手権大会に1回以上出場した者
- ③ '81 地方選手権大会 ランキング上位の者で、
下記に示すジュニア部門と同数

(2) ジュニア部門 各地方選手権ランキング上位の者 で次に示す人数。

- 北海道=4名 東北=5名 関東=10名
- 中部=10名 北陸=3名 関西=10名
- 中国=5名 四国=3名 九州=3名

注：地方選手権シリーズには、大会ごとに総則[8] (16頁参照)に示された得点が与えられ「全日本選手権ランキングの決定の方法」(86頁参照)に準じて地方選手権ランキングが決定される。ただし、他ブロックに所属する者には得点は与えられず、そのブロックの者を繰り上げて得点を与える。

[6] 出場申込み

1. 全日本選手権シリーズ大会出場申込み書(ジュニア部門の地方大会併催、日本GP各地方選抜者用も含む)に必要な事項を記入の上、出場料およびMFJ選手共済組合費を添えて提出しなければならない。

2. 参加定員

- 1) 特に定めないが、併催ジュニア部門については主催者の判定により制限される場合がある。
- 2) 日本GP大会については参加資格に示された選抜規定による。

[7] 出場料およびMFJ選手共済組合費

出場料 5,000円
(MFJ選手共済組合費 200円を含む)

[8] 賞および得点

1. 賞

- 1) 付則3. トライアル規則[3] (61頁参照)にもとづいて授与される。
その他の賞の詳細は公式通知に示される。
- 2) 国際A級部門全日本ランキングの得点
 - (1) 得点は総則[8]の1., 2. (16頁参照)によって与えられる。
 - (2) 日本GPトライアル大会については、上記の得点にさらに3点が加算される。
 - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点

によって決定される。

- (4) その詳細は全日本選手権ランキング順位決定方法(86頁参照)に示される。

3) ジュニア部門

ジュニア部門は日本GP大会の成績によって決定される。

[9] 出場車輛

車輛は、付則3[4] 2. および3. (61, 62頁参照)を遵守しなければならない。

[10] 競技者番号(ナンバー)

- 1) 国際A級部門のライダーには、付録に示す通り年間指定ナンバーが割当てられる。
- 2) 併催する他部門のライダーには主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 3) 主催者から特に指示がない場合は、車輛検査までに規定の書体および色分けでナンバーを記入しなければならない。
- 4) ナンバーの状態は、車輛検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 5) 競技中、ナンバープレートおよび配布されたゼッケンを装着せず、また間違ったゼッケンを装着して走行した場合は、そのトライは記録されない。

[11] ライダーの装備

ライダーの服装、ヘルメットは、付則3[5] (62頁参照)による。

[12] ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは総則[12] (22頁参照)による
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主催者から指定された場合は、当該ガソリンを使用しなければならない。

[13] 出場受付

- 1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。
- 2) 出場受付は、定められた時間内に、かならずライダー本人が出頭し、運転免許証、MFJライセンス、健康保険証、参加受理書を提示して、当日の出場資格を確認しなければならない。
- 3) 運転免許証を所持していない者は原則として出場が認められない。
- 4) MFJライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金(2,000円)を支払い、更にそ

の場でMF J登録料、ライセンス料を支払い、仮登録しなければならない。

なお、後日MF J事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は本人宛返還される。

[14] 車輛検査

- 1) 車輛検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、競技開始前にパドック内の車輛検査区域においておこなわれる。
- 2) タイムスケジュールに示された時間内に、かならずライダー本人が車輛を持参し車輛検査を受けなければならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- 3) 車輛検査への持込み台数は1台に制限される。
- 4) 車輛検査において、規則または安全上出場が不適当と判定された車輛は、一切の走行を拒否される。
- 5) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車輛の検査をおこなうことがある。

[15] ライダー

- 1) ライダーおよび出場車輛の変更は原則として認められないが、総則[14] (22頁)に該当する場合は出場受付終了以前に手数料5,000円を添えて申請しなければならない。

[16] 練習

大会当日コースおよびセクションのいかなる場所においても練習は禁止される。これに違反した選手は失格とする。

[17] スタート

原則としてスタート順位は抽選によって決められる。

[18] ゴール

予定されたゴール時間に20分以上遅れた場合は失格とする。

[19] 車輛保管

- 1) 車輛検査後スタートまで、およびゴール後主催者から保管解除の通知があるまでは車輛は指定された区域に保管されなければならない。
- 2) 入賞車は、暫定結果発表後原則として30分間以上保管され、必要に応じて検査される。

[20] 競技会の延期、中止およびうち切り

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更

または延期されることはない。

- 2) 大会審査委員会が、特別な理由によって競技の延期または放棄しなければならないと判断したときに限り競技を延期または中止することができる。
- 3) 大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、保険料は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

[21] 抗議

競技結果に対するいかなる抗議も受付られない。

[22] 参加者の遵守事項

監督、ライダー、メカニック、ヘルパーなど参加者は次の事項を守らなければならない。

- 1) 本競技会中は、MF J国内競技規則ののっとり行動し、参加者はすべての行動に対して責任をとらなければならない。
- 2) 参加者はすべて本競技会特別規則ののっとり行動すること。従ってすべての違反者は5,000円の罰金か、または失格、さらに退場に至る罰則が課せられる。
- 3) 国内競技規則、本規則および競技管理上のあらゆる規定や競技役員の指示にしたがい、かつ公道上では交通法規を守るものとする。
- 4) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動しなければならない。
- 5) 競技期間中は飲酒あるいは薬品によって精神状態をつくるってはならない。
- 6) 競技が一般公道の走行を含む場合、ライダーは運転免許証、ライセンスを必ず携帯しなければならない。

[23] 本規則の違反、裁定

本規則に対する違反は大会審査委員会が決定し、罰則が適用される。裁定後はいかなる理由といえどもこれにしたがわなければならない。

[24] 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、事務局あて質疑申立てができる。なお、この解答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

[25] 本規則の施行

本規則は出場申込み受付日より有効となる。

なお、本規則に示されていない事項は、MF J国内競技規則による。

昭和56年1月1日

大会事務局長

ミニバイク競技会

指導要綱 (総則)

日本モーターサイクル協会(MFJ)は、本競技会の国内管理体制と、モータースポーツ管理の必要に鑑み本指導要綱を定める。すなわち、健全な競技会を育成して、各競技の適切な規則を作成し、公平な競技プログラムと、競技に際しての安全性を促進することである。

この規則は、すべての人が安全性に関心を持つようにするため制定するものであるが、この規則にしたがうのは主催者の義務である。さらに、競技への参加者は、規則および安全性を適切に評価したうえで競技に参加しなければならない。

[1] 適用の範囲

本ミニバイク競技規則は、ミニバイク競技会に適用されるが、この規則に関連する全般の解釈は、MFJ国内競技規則にもとづき競技会主催者の判定および解釈を最終のものとする。

[2] ミニバイク競技の規則

1. ミニバイク競技車輛

ミニバイクとは、17インチ以下のホイール(リム)を装着した、エンジン排気量80cc以下の車輛をいう。このミニバイクには一般市販の通常型とスポーツ専用型がある。

2. クラスの区分

クラス区分は50ccと80ccの2クラスとする。

クラス	最小排気量	最大排気量
50cc	—	50ccまで
80cc	51cc	80ccまで

3. 参加資格

ミニバイク競技会に参加し、出場するライダーの資格は16歳以上のMFJ会員Bライセンスを所持している者とする。ただし、20歳未満の者については親権者、もしくは保護者の同意承諾書を提出しなければならない。

4. 参加受理

参加申込み書および参加料(保険料を含む)の受領をもって参加を受理する。また、いったん受領した参加料はいかなる理由があっても返却しない。

5. 男女の同一性

ミニバイク競技、または行事の参加について“性による差別”はつけられない。すべての参加者は、同一のルールのもとに、規則に定められた適切なクラスで競技しなければならない。

[3] 出場者の区分およびレース区分

出場者の区分は初心者(ビギナー)、中級技量をもったノービス、上級技量を備えるエキスパートの3段階に分け、ビギナーおよびノービスはBライセンス所持者とする。ただし、ビギナー部門の参加は優勝経験者を除く。またエキスパート部門はノービス、ジュニア、国際Aまたは国際Bのライセンスを所持するものに限られる。(右ページの表参照)

[4] 改造の限度

車輛は、すべてMFJ公認のものでなければならない。

1. ビギナーおよびノービス

各クラスの排気量に合致し、リムサイズ17インチ以下の一般市販モデル(スポーツ専用型も含む)車で、改造はいっさい認められない。

2. エキスパート

各クラスの排気量に合致し、リムサイズ17インチ以下の市販されている車輛であること。

- 1) エンジン公認されたものでなければならないが、改造は、冷却方式の変更を含んですべて自由とする。
- 2) 車体の改造については、ミニバイクの限度を超えてはならない。

〔5〕騒音規制

1. 騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

- 1) 車輻には、有効かつ外見ですぐにマフラーと分かる消音器が装着されていなければならない。
- 2) ビギナーおよびノービス部門については、マフラーの改造はいっさい認められず、騒音も車輻の公認された状態のままでなければならない。

3) 騒音はFIM（国際モーターサイクリスト連盟）方式による測定方式で、110db(A)以下でなければならない。

4) FIM方式とは、排気出口の後方0.5m、45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークエンジンで11m/s、2ストロークエンジンで13m/sに達するエンジン回転のときの騒音測定方法である。

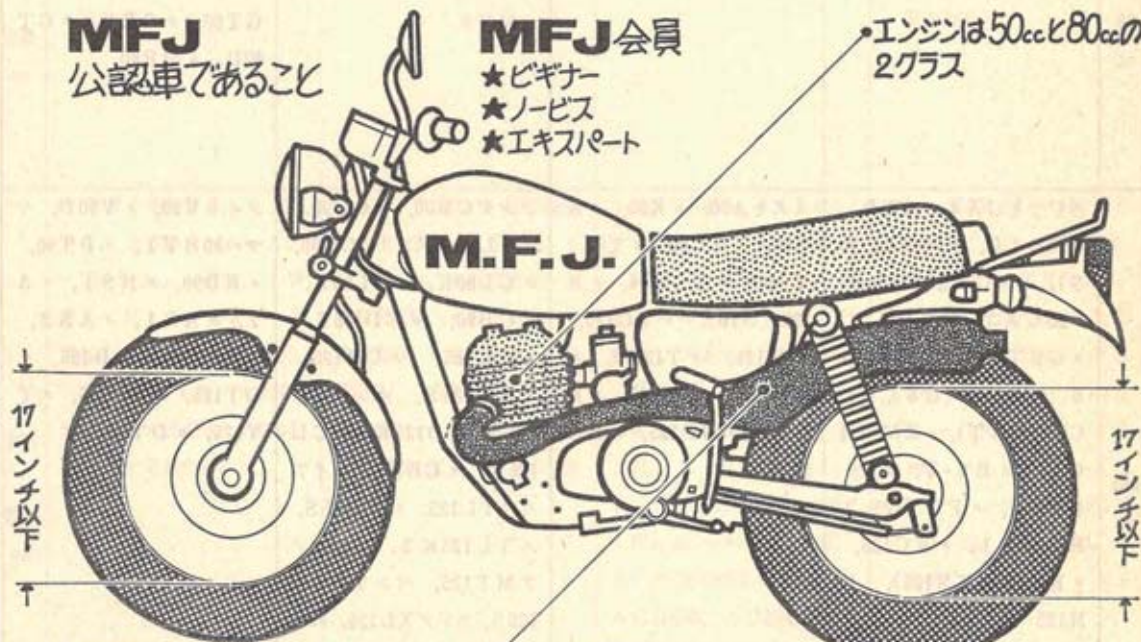
資格	クラス	条件	ライセンス
ビギナー (初心者)	50cc 80cc	16歳以上の初心者を対象とする（優勝経験者は参加出来ない）	Bライセンス所持者
ノービス (中級者)	50cc 80cc	上記よりの移行者、及び主催者が出場を認めた者を対象とする	Bライセンス所持者
エキスパート (上級者)	50cc 80cc	上記よりの移行者、及びノービス以上のライセンス所持者	ノービス ジュニア 国際A、B } ライセンス所持者

●これがミニバイクの規定だ

MFJ
公認車であること

MFJ会員
★ビギナー
★ノービス
★エキスパート

●エンジンは50ccと80ccの
2クラス



リム径17インチ以下で、車体の改造は、いわゆるミニバイクの限度を越えてはならない

●一見してマフラーはわかるもの
★ビギナーおよびノービス部門はマフラーの改造は不可

今年度からホイール径は17吋となった

M F J 公 認 車 輛

●一般市販車

cc	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
50 cc		スズキ AC50, # AS50, # TS50, # GA50, # CM50, # RG50, # OR50, # ミニタン50, # PV50, # OR50E-2, # RG50E-4,	ベンリイ SS50, # CL50, # CD50, # CB50 JX-1 (CB50 J), グックスホンダ ST50, ホンダ XE50, # XE50-II, パイアルス TL50, ホンダ モンキー, ホンダ ゴリラ, ホンダ MB50, # MT50, # XL50 S	ヤマハ FS-1, # 50F5 D, # FT50, # MR50, # FX50, # RD50, # TY50, ミニ G50, # GR50, ミニトレ G T50 II, ヤマハ MR50 II, # RD50 S, # RD50 SP, # RX50 スペシャル, # QB50, # QA50
80 cc		スズ CM75,	ホンダ CL65, グックスホンダ ST70, ホンダ XE75, # XE75-II, # XL80 S, # MB 8	ヤマハ ミニ JT60, メイト V70 S, (D, ES, ED) ヤマハ TY80, ヤマハ ミニ GT80, # GR80, # GT80 II, # MR80
125 cc	カワサキ GA 4 (90 TR), # 90 G 1 L, # 90 GA 1 (90 S), # 90 GA 2 (90 S S), # 90 GA 3 (90 S S S), # G 8 T, # G 8 S, # G 6, # KE90 (G 6), # KC90 (G 8 T), # KM (M C 1), # B 1-T, # 120 C 2 S S, # F 6 (125-T R), # B 1, # KC125, # KE125 (KS125), K H125	スズキ A90, # K90, # AS90, # AC90, # T90, TS90, # TS90-4, # K125 (S10), # TC120, # T125, # T125-2, # TS125, # GT125, # RG125, # GP125, # RG125 E	ホンダ CS90, # CD90, # SL90, ベンリイ CL90, # CL90 K, # SL90 K, # CB90, # CD125 S, # CL125, # CB125, # CB125 S, ホンダ CD125, # CD125 K, # CL125 K, # CB125, パイアルス TL125, # TL125 S, # TL125 K 2, エルシノア MT125, ベンリイ SL125 S, ホンダ XL125, # XL125 S, # CB125 J X, # CB125 T 1, # CB125 J X	メイト V90, # V90 D, ヤマハ 90 HT 1, # DT90, # RD90, # HS 1, # A 7, # AS 1, # AS 2, # AT 1, # RD125, # DT125, # AX125, # TY125, # DT125

●一般市販車

cc	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
250 cc	カワサキ175 B11 L, # B 11 T L, # A1, # F8, # F11, # 250 S S, # K H250, # KL250 A, # Z 250 F T	スズキT200, # TC200, # T250(T20), TC250, # TS250, # GT250, # ト ライアルRL250, # GT 185, # RG185, # RG250, RG250 E, G S X250-E	ホンダCL175, # SL175, # CB175, # CL250, # CB250, # エルシノア MT250, ホンダTL250, # XL250, # CB250 T, # XL250 S, # CB250 R S, スーパーホーク,	ヤマハDT1, # DT250, # DT250-R, # DS6, # DX250 (DS7), # D X250 PRO, # RD250, # トライアルTY250 J, # TY175, # GX250, # GX250 S P, S R250, # X S 250スペシャル, # R Z250, # X T250
350 cc	カワサキ350 A7, # 350 S S, # F5 (350-TR), # S2 T	スズキGT380 (T350)	ホンダCL350, # SL350, # CB350	ヤマハ350 R1, # R3, # RX350, # RX350 PRO # RD350
351 750 cc	カワサキ500 S S, # 650 W1, # 650スペシャル, # 750 S S, # Z2, # W 3, # H1, # S3, # K Z400, # Z400, # KH400, # Z750 TWIN, # 750 FOUR, # Z650, Z400 L TD, # Z400 F X	スズキTS400, # GT380, # GT380 B, # T500, # GT550 B, # GT750, # GT750 B, # GS400, # GS750, # GS550, # S P370, # GL400, # GS X400 E, # G S X750 E, # GN400 E, # G S X400 L	ホンダCB450, # CL450, # CB450 K1, # CB500, # F2, # CB750, # F 2, # C J360 T, # CB 400 F, # F I, # F II, # CB500 T, # CB500 F, # K3, # C750 K7, # F II, ホークCB400 T, ホンダGL400, ホークII, # III, スーパーホークIII, ホンダCB750 K, # 750 F, # CB650, # CM400 T, # X L500 S	ヤマハ360 R1, # 650 X S 1, # DT360, # TX500, # TX650, # TX750, # DT400, エンデューロXT 500, ヤマハRD400, # G X500, # GX750, # GX 400, # GX400 S P, # S R400, # S R500, # X S 650スペシャル, # X S750 スペシャル, # X J400, # X S400スペシャル, # X J 650スペシャル

付録

●ロードレーサー

cc	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
125 cc			ホンダMT125R (325) ホンダMT125R-II ホンダMT125R-III ホンダ・アール・エス・シー RS125R-W, RS125R	ヤマハTA125 ヤマハTZ125
250 cc			ホンダRS250R	ヤマハTD3 (DS7) ヤマハTZ250 (430) ヤマハTZ250-II (430) ヤマハTZ250-III ヤマハTZ250W
350 cc ↓ 500 cc		スズキRG500		ヤマハTR3 (R5) ヤマハTZ350 (430) ヤマハTZ350-II (383) ヤマハTZ350-III ヤマハTZ350W ヤマハTZ500

●モトクロス(※=トライアラー)

50 ↓ 80 cc	カワサキKX80, KX80D	スズキRM50 スズキRM50-II, III, IV スズキTM75 スズキRM80 スズキRM80-II, III, IV	ホンダXR80 ホンダCR80R	ヤマハYZ50 ヤマハYZ80
125 cc	カワサキKX125 カワサキKX125A	スズキTM125 スズキRM125 スズキRM125-II スズキRM125-III スズキRM125-IV スズキRM125-V スズキRM125-VI スズキRM125-VII	エルシノアCR125M エルシノアCR125M1 ホンダCR125M2 ホンダCR125M3 ホンダCR125R	ヤマハMX90 ヤマハMX125 ヤマハYZ125 (453) ヤマハYZ125 (537) ヤマハYZ125MII (1J8) ヤマハYZ125III, IV ヤマハYZ125 (2Y5, 3N8) ヤマハYZ125
250 cc	カワサキF21M カワサキKX250 カワサキKX250A	スズキTM250 スズキRH250 スズキRH250-II スズキRM250 スズキRM250-II スズキRM250-III スズキRM250-IV スズキRM250-V スズキRM250-VI スズキRM250-VII	エルシノアCR250M エルシノアCR250M1 ホンダCR250R	ヤマハMX250 ヤマハYZ250 (431) ヤマハYZ250 (483) ヤマハYZ250-II (509) ヤマハYZ250M-II (509) ヤマハYZ250III ヤマハYZ250IV ヤマハYZ250
500 cc		スズキTM400	※ ホンダRSCRS200TS	

●トライアラー () 内は一般市販車

cc	川崎重工業(株)	鈴木自動車工業(株)	本田技研工業(株)	ヤマハ発動機(株)
50 ↓ 250 cc	カワサキKT250	スズキRL250L (スズキトライアルRL250)	(バイアルSTL125)	(ヤマハTY50)
			(バイアルSTL125K2)	(ヤマハTY80)
			(バイアルSTL125S)	(ヤマハTY125)
			ホンダTL250	(ヤマハTY250J)
			(バイアルSTL50)	(ヤマハTY250-II)
ホンダTL200R	(ヤマハTY175)			
ホンダTL200R-II	(ヤマハTY50-II)			

MFJ公認輸入車輛

cc	スウェーデン	チェコ	イタリア
125 cc	ハスクバーナ125CR		モリビデリMBA145 (怡モリワキエンジニアリング) マランカ125E2C (日新通商株)
250 cc	ハスクバーナ250CR	ヤワCZ250 (仮公認)	ベネリ250QUATTRO (株成川商会)

FIM公認車輛 (フォーミュラ750レース用)

銘柄	年式	車名	排気量cc	銘柄	年式	車名	排気量cc
B.M.W.	61	R69S	590	Moto-Guzzi	70	Ambassador mba	750
	70	R75/5	745	M.V.Agusta	70	M.V4C7	743
	73	R75/6	745	Norton	62	Atlas	750
B.S.A	62	A65 Royal Star	650		64	Scrambler	750
	64	A65-1T Thunderbolt	650		67	P-11	750
	64	A65-2L Lightning	650		71	Commando "S"	745
	64	A65-2SPH Hornet	650		76	Challenge	747.58
	69	A75 Rocket3	749	Suzuki		Export	750
	71	A75V	740	Norton		Commando	750
	71	A70L	750		Commando Racer	750	
Ducati				Suzuki	71	GT550J	544
Dunstall					71	GT750J	738
Goegebeur & Vigoni	74	GILA/Kawasaki	750		72	GT550B	543
					74	GT750 LeMans Sport	739
H・D	52	KR	750	Triumph	63	TR6C/TR6R	650
	52	KRTT	750		69	Trident T150	750
	70	XR	748		70	T120/RT	750
	71	XR750	749		71	T150V	740
Honda	70	CB750	736			Bonneville	650
Kawasaki	68	W2SS	624	Yamaha	70	XS650	654
	71	H2	748		71	XS650	744
	73	Z2	746		71	XS-2/GXS-1	654
	74	KR750	740.8		72	TX750	743
Konig	76	VDM	680		73	TZ750	694
Laverda		SF	750		74	TZ750R	747

M F J 公 認 部 品

●川崎重工業(株)

CA, C2SS, F6, F8キットパーツ
 F11キットパーツ(ミッションを含む)
 A1レーシングパーツ(ブレーキ)
 KA1レーシングパーツ(ブレーキ)
 KA2レーシングパーツ
 H2レーシングパーツ
 Z2用オイルクーラーアッセンブリー
 Z2用前輪右ディスクブレーキ

●鈴木自動車工業(株)

T S50, T S90, T S125, T S250Ⅲキットパーツ
 T S125用, T500用5速ミッション
 T S904オプションパーツ(含むミッション)
 R L250キットパーツ
 R M125-II, R M250オプションキットパーツ(含む
 リヤクッション)

●ヤマハ発動機(株)

A X125, D X250, R X350オプションパーツ
 M X250用ボディシリンダー
 M X90オプションパーツ
 M X125用シリンダー
 A X(TA)125(A S3)用6速ミッション
 T Z125ミッションキット

●(株)ホンダRSC

C B90, C B250, C B350, C B750キットパーツ
 C B125 S用6速ミッション
 C B125用フロントおよびリヤブレーキ
 C R125 M用オプションパーツ
 C B350用6速ミッション
 C B250 M I オプションパーツ

●荏場工業(株)

フロントフォーク125, 250MXF
 リヤクッションユニット125, 250MXF
 エアサスペンション2510D-EE
 ニューマチックフロントフォーク, 同リヤクッション
 ニューマチックリヤクッション変形(ブーツ付)
 ニューマチックリヤクッション変形(ブーツなし)
 ガス封入式リヤクッション別タンク付
 ガス封入式リヤクッションユニット C36080SD-EE,
 C36085SD-EE, C36090SD-EE, C36095SD-EE
 E, C36100SD-EE, C36105SD-EE
 リヤサスペンションユニットFシリーズ(エス封入,
 調整式), 同Mシリーズ(別タンク付ガス封入式)

●ライダーズスポットタイチ

フォクスエアショックス(MX用)
 オーリングガスショックス(MX用)

●(株)極東

コニーリヤクッションアブソーバ(油圧式KONIスペシャルD)

●(有)極東精機製作所

クリーニングキャップ(160×60, 125×60, 115×60)

M T125 R 水冷エンジンキットパーツ

●(有)モリワキエンジンアリング

水冷シリンダーキット, ホンダJX125用MRE,
 ホンダMT125用水冷キットパーツ(New100-01)

●(株)ヨシモト

シリンダーヘッド, MT125R用YWH125

●野口モーターズ(株)

YZ125用水冷シリンダーキットMX用NSW-1, R R
 用NSW-2

●(株)ヨシモト

シリンダーヘッド, MT125R用YWH125

●(株)無限

250cc用ME250シリンダーヘッド12200-381-MEA,
 リードバルブ式シリンダー-12100-400-MEA
 125cc用ME125シリンダーヘッド12200-400-MEA,
 リードバルブ式シリンダー-12100-381-MEA
 CR125R用エンジンパワーアップキットME125RZ
 CR125R用エンジンパワーアップキット(シリンダー)
 ムゲンME125A1 スーパープロキット
 ムゲンME250A1 スーパープロキット
 ムゲンワークスME125W水冷キット

●テクニコムミスターヒロ

カワサキKH125用水冷キットパーツ
 カワサキKH125用トランスミッションセット

●岩道モーターズ

カワサキKX125用水冷キットパーツKX125AW

M F J 承 認 部 品

●カワサキオートバイ販売(株)

250cc用フロントフォークアッセンブリー-539911-019-R(右), 539911-019-L(左)
 250cc用リヤクッションアッセンブリー-539911-020, 53911-039
 125cc用リヤクッションアッセンブリー-779911-500

●(株)ホンダRSC

チツソガス封入式リヤクッションユニットGX3-00-000
 フロントフォークアッセンブリー-GX3-00-100, 51400-381-811(右), 51500-381-811(左), 125cc用51400-400-00(右), 51500-400-00(左)
 250cc用51400-381-00(右), 51500-381-00(左)
 ガス封入式リヤクッションアッセンブリー-GX5
 125cc用52400-400-40, 250cc用52400-400-40

●(株)無限

リヤクッションアッセンブリー-52400-381-MEA
 CR125R用フロントフォークアッセンブリーセット
 CR125R用リヤクッションアッセンブリー
 CR250R用フロントフォークアッセンブリーセット
 CR250R用リヤクッションアッセンブリー

決めるのは君達自身!!



エンジン性能を100%駆動力に
強烈なトラクションを持つ
GS-45Z。
いま、衝撃の始動。



Z1	フロント用	2.50-16	2.50-17	2.75-17		
	リア用	3.60-14	4.10-18	5.10-17	5.10-18	5.60-17
Z2	フロント用	3.00-21				
	リア用	3.60-14	4.10-14	110/90-14	4.10-18	5.10-18
Z3	リア用	4.00-18	4.10-18	5.10-18		

モトクロス
GS-45Z

井上ゴム工業株式会社

タイヤ事業部 名古屋市熱田区千年1丁目16番30号 456
東京支店 東京都品川区大崎2丁目9番12号 141

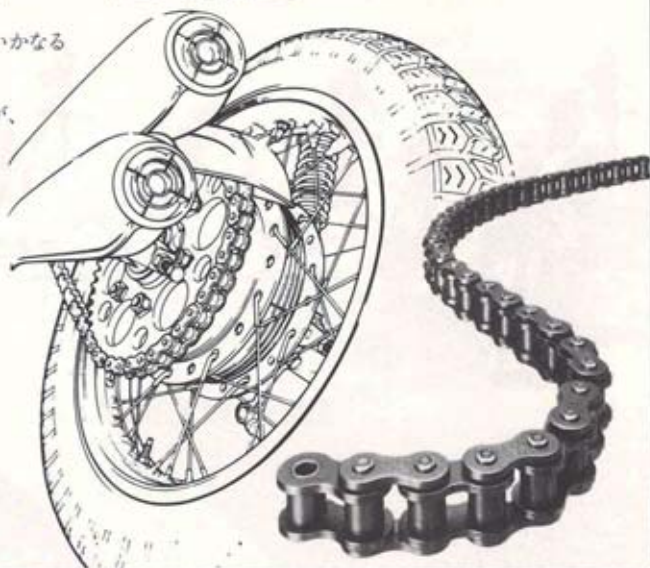
☎052-652-6121
☎03-491-6041

世界のライダーが選ぶ 国際ブランド—D.I.D

ライダーの意志に敏感にリスボンするチェーン。いかなる
苛酷な走行にも耐えるリム、スポーク……

伝動効率の極限を追求するこれらD.I.D製品が、
世界中のライダーから選ばれる理由が
ここにあります。

半世紀にわたる経験と、技術開発に
裏付けられたD.I.Dは、いまや、
世界中のモーターサイクル市場への最大の
サプライヤーとして「国際ブランド」の
名声を誇っております。



DAIDO エンジニアリングクリエイター
D.I.D 大同工業


本社：石川県加賀市機取町197 〒922
☎(07617)2-1234(大代)
テレックス 5126601 DIDKAG
営業所：東京・大阪
出張所：名古屋・福岡


思いきって走りこめる——
モトクロス用リヤショックアブソーバ「F」タイプ



エア調整機構つき 125・250ccクラス

1980年度
デミング賞実業賞受賞

発売元  **カヤバ エンジニアリング サービス 株式会社**
〒104 東京都港区芝2-1-25 ☎(03)456-1691

製造元  **萱場工業株式会社**
〒105 東京都港区浜松町2-4-1 (世界貿易センタービル)

送料サービス 代金のみでOK(全国)

TL200R II もOK

軽量シャフト早見表

外品名	シャフト径	水筒長さ	TL200R	TY250	TL125	TY125	MT125R	CR125	XE XR	モンキー	CB90125JX	KT250	RL250	価格
B.1	15	230	R		R	R	R				R	R		2,500円
B.2	12	200	F		F,S			F	R	R				2,500円
B.3	12	215	S	F		F,S	S	S				F	F	2,800円
B.4	15	248		R										2,800円
B.5	12	225		S							S	S	S	2,800円
B.6	12	187					F		F	F	F			2,500円
B.7	15			TY250改造フォーク、YZボトムケース又は、OW専用										3,500円

※F=フロント・アクスルシャフト S=シングルアーム R=リヤ・アクスルシャフト、※外径、シャフト長の単位はmm

※注文は送料の関係上2本以上

●黒丸印のみ2ヶ又は2品注文して下さい。

速報 200R II も送料サービス
 当店では81年より全国へ無料で納車致します。
 君がいるのは車両代金だけです
全国どこの方でも 450,000円
 (引き取りに来られる方はビレリータイヤをサービス)



CDI,6速
 新発売
 200R 総販売台数84台
 ホンダTL200R II
 11項目以上を改良しました。
 改良型 ¥ 485,000
 ノーマル ¥ 450,000

※全国ローン販売 オールローン36回OKです。

※トライアル用品

- ニーガード ¥ 3,500
- ソックス ¥ 1,800
- クシタニウエストバンド ¥ 6,000
- ポン付空気入れ ¥ 2,400
- エバローク乗馬用ヘルメット ¥ 14,000
- 他、BELL、AGV、NAVA
- サミミラーブーツ各サイズ ¥ 14,000
- アルバインスターTRブーツ ¥ 41,000
- クシタニプロスターTRブーツ ¥ 36,000
- クシタニプロタイプTRブーツ ¥ 29,000
- 安くても良いブーツです
- GAERNE TRブーツ ¥ 35,000
- AGVTRヘルメット ¥ 6,800
- HONDA XL ウェストBag ¥ 2,500
- TR用低圧用エアゲージ ¥ 2,500
- エルボーガード ¥ 2,500
- トライアルグローブ(クシタニ) 各 ¥ 6,000 (HONDA)
- トライアルパンツ(クシタニ) ¥ 23,000

※トライアルパーツ

- TL125 200R F. フェンダー ¥ 3,200
- R. フェンダー ¥ 3,900
- TY125 250 F. フェンダー ¥ 3,100
- 125 R. フェンダー ¥ 3,100
- 250 R. フェンダー ¥ 2,900
- TY用1.40×21 F 軽量リム ¥ 10,700 (ビードストッパー付き)
- TL200Rリヤホイール ¥ 23,000
- フロントホイール ¥ 20,000 (タイヤ別)
- TL200R.Fスタビライザー
- TL125 ¥ 5,000
- TY125.250 ¥ 5,000
- OKT250 ¥ 5,000
- ORL250 ¥ 5,000
- TY-TLスプロケット10.11丁 12.13丁 ¥ 1,800
- TL用スプロケット ¥ 1,500
- 取付セットリング 4ヶ ¥ 180
- RSプロケット(アルミ)
- TL125 49.51.53.55丁 ¥ 4,300
- TL200R 49.51.53.55丁 ¥ 3,800
- TY用 45.47.49丁 ¥ 3,700
- 51.53丁 ¥ 4,900
- KT用 52丁 ¥ 5,200
- RL用 54.58.61丁 ¥ 6,800
- DIDチェン428H120L
- KT.TY.TL OK ¥ 2,200
- 各メーカーキーレバー 10本 ¥ 5,000
- クラッチレバー 4本 ¥ 2,200

○TL125用D.チェンテンションナ

- 少し溶接いる
- TY125.250 ポイント ¥ 3,500
- TY用フライホイール外し工具 ¥ 850
- TL125.200R用ポイント ¥ 2,500
- TL用フライホイール外し工具 ¥ 700
- スズキRL Rサス一式 ¥ 1,800
- カワサキKT ¥ 17,400
- TL125RSC製 ¥ 14,000
- TL200R ¥ 20,000
- TY250 ¥ 30,000
- レンサルハンドル 5.0 5.5 6.0 ¥ 17,000
- カラー各サイズ ¥ 6,000
- TL125.200R用
- 新型TRスロットルASSY ¥ 3,500
- TL125.200R用
- エルボースロットルワイヤー ¥ 750
- TL125.200R用 Fフォーク
- ブーツセット ¥ 2,800
- F.フォークプロテクター ¥ 1,200
- グリップラバー 1セット
- TY用 ¥ 650
- TL用カラー赤黒有り ¥ 650
- ホンダ CR用 TR用にOK ¥ 800
- TY125・175YZタイプ
- R クラックカバー Pa共 ¥ 5,200
- STD. Lカバー Pa共 ¥ 3,600
- ビレリーTRタイヤ F. ¥ 9,900
- R. ¥ 13,900
- メンツラTRタイヤ・R ¥ 12,000
- チューブ F. R共 各 ¥ 1,800
- TL200Rブレーキシュー1セット ¥ 800
- TY125・250 R 1セット ¥ 1,300
- F 1セット ¥ 950
- TY250Lクラックカバー ¥ 7,200
- R ¥ 11,700
- TL200RF フォーク
- オイルシール 1ヶ ¥ 400
- TL200R F フォーク内圧
- 減圧バルブ ¥ 2,500
- TL160パワーチャンバー
- EXパイプ ¥ 8,000
- RSO製TL160ccKIT ¥ 39,350
- ヘッド、シリンダー含む
- TL145-160スペシャルフライ
- ホイールキット ¥ 24,700
- TL145ccKIT ¥ 19,000
- (シリンダーとヘッドを送って下さい)
- TY125→175ccKIT一式 ¥ 35,500

- ヤマハTYバアーレバー (ショート1セット) ¥ 2,200

※トライアルパーツ

- オプションパーツR II用
- 強化プラスチックエンジンガード ¥ 12,000
- プラスチックガード200R I型 ¥ 2,900
- 取付パーツ 1セット 改造少し
- 典型スイングアーム ¥ 22,000
- 22%キャブセッティングパーツ付 ¥ 7,500
- ポイント点火KIT全パーツ1セット ¥ 39,000
- 強化リヤスプリング ¥ 5,000
- アルミステムパイプ ¥ 7,500
- 200R純正Dチェーン ¥ 5,600
- チバプロダクトスイングアーム ¥ 43,000
- 22%キャブ用
- スロージェット#40.42.45.48.50 ¥ 380
- メインジェット#100.105.110.115.120 ¥ 250
- TY. TL125. 200R
- RL250 XR200. 250
- 純正パーツ発送致します。
- ガムテープ ¥ 600
- ワンタッチローブ ¥ 3,500
- フォークオイル ¥ 1,300
- スーパM ¥ 1,600
- ベルレイ・MC-1 ¥ 1,600
- BS.ダンロップ・タイヤ
- NGKスパークプラグ
- D 5 E S ¥ 500 BP5E ¥ 360
- D 6 E S ¥ 360 BP6E ¥ 900
- 各Vタイプ ¥ 900

- ※XR用パーツ
- HライトASSY ¥ 6,500
- Sメーター ¥ 9,800
- トップメーター ¥ 8,500 大 ¥ 1,800
- テールライト ¥ 4,600 中 ¥ 1,500
- Rブレーキペダル可動式 小 ¥ 1,000
- 125用 ¥ 2,500
- 250用 ¥ 2,000
- ロベルト Fフェンダーカラー赤白 ¥ 5,000
- アルミ修理セメダイン
- スーパースリーロイ
- 20回位修理OK ¥ 4,500
- 播込先 百五銀行多気支店 当座No.6523
- どこの銀行からでもOK

三谷モータースポーツ

〒519-21 三重県多気郡多気町324 ☎ 05983-8-2222

風になりたかった。

大地を疾走していた。

大空を翔けていた。

だれよりも速く、そして何よりも自由だった。

モーターサイクルに出逢った。

モータースポーツに昇華した。

時間は、風になることを教えてくれた。



モトクロス風の風——SUPER DIGGER SERIES



Y-902



Y-907

M F J 公認 トライアルタイヤ

●(株)日本ダンロップ

TRIALS UNIVERSAL

2.71-21, 3.00-21, 3.50-18, 4.00-18

●横浜ゴム(株)

トレールスポーツ

2.50-18, 2.75-18, 2.75-19, 2.75-21, 3.00-18,
3.00-19, 3.00-21, 3.25-18, 3.25-19, 3.50-18,
4.00-18各4 PRY620

●井上タイヤ(株)

井上トリアルタイヤ

2.75-19, 2.75-21, 3.00-18, 3.00-21, 3.25-18,
3.50-18, 4.00-18

●輸入タイヤ

ビレリ・モト・トリアル2.75-21, 4.00-18

(物)モータースポーツクシタニ)

メッツラー・トリアル3.00-21, 4.00-18

(物)アオイトレーディングカンパニー)

M F J 公認 ヘルメット

JIS T8133-2種以上 (ロードレース、モトクロス用)

(株)新井広武	クノー工業(株)	(株)コミネオートセンター	昭栄化工(株)	日栄プラスチック(株)	マルシン工業(株)
R-5	KH-25	J S-1	H-1	CX-300	M-38, 52, 56
R-6 (R 6 M)	KH-35	BD-201	S H F	CX-300P	M-450, 480, 500
R-7	KH-39	RT-201	SR-X 7	CX-320	DX _M -750, 850
R-7 G	KH-56	RT-200	SR-Z	CX-500	DX-D, D6
RX-7 (X 7)	KH-100	F U J I-500	new-G V	DX-700	DX-DV
Z-1	KH-808	F U J I-600	D V	FF-100	インディー500
RS-8	Uvex-	F U J I-800	S T-		ゼネラル
ZX-1	Racing Jet		H 2		MV-1, 1DX
RS-Z	Urex-		RC1, RC2		MV-75
R-70	Monte Carlo		SR-X		MG-MOTO
R, S	Uvex-		ZR, ZG	立花自動車用品	DAYTONA
X-1, X-75	Champion		ZV, ZX	GTX-1	MG-STAR
S-75			Z E		MV-ZDX
M-X, F-X			GR-Z		MZ-X
チャレンジャーS					MV-Z
本田技研工業(株) パーツセンター		(株) 極 東	ユニコ (有)	ライダーズスポットタイテ	
BELL STAR-II		ノランスペースライダー	GPA-G.1	NAVA II	
BELL MAGNUM-II		ノラン N31			

M F J 公認 普及型ヘルメット

JIS T8133-1種

JIS T8133-1種 (トリアル用)

昭栄化工(株)	日栄プラスチック(株)	(株)新井広武	マルシン工業(株)	(株)新井広武	昭栄化工(株)
S V	F S-100	R-2	M-130, 230	T L-1	B L-1
L 5	C S-500, 600	R-10	M-250, 280	T L-3	B L-2
(株) 極 東	メット工業(株)	R-16	M-37, 800	T L-8	
ノランインテグラール	F-1	R S-10	日新通商(株)	クノー工業(株)	
ノランジェット	F-2	T X-10X	JEB'Sジェット	Uvex-Trial	
ノランミニジェット	K-70	T X-7			
立花自動車用品	K-3	T X-8	(株) コミネオートセンター		
GT-200	KX-1		F U J I-100		
カスタムGT-1	K-110				
カスタムF-500					

'81ロードレース国際A級ゼッケンナンバー

No.	ライダー名	クラブ名	No.	ライダー名	クラブ名	No.	ライダー名	クラブ名
1	鈴木 修	ブレイメイトRT	50	松井 正一	チームヤングース	95	草間 郁夫	個人
2	金谷 秀夫	チームカナヤ	51	築地三千盛	鈴鹿RT	96	今井 迫	マックウエスタン
3	高井幾次郎	ブレイメイトRT	52	吉川 文明	チームカナヤ	97	石出 和之	チームIVY
5	毛利 良一	チームカナヤ	53	斉藤 克己	野田ジュニア	98	渡辺富士夫	個人
6	和田 正宏	マックウエスタン	54	榎本 勲	ウエグレースィングT	99	一の瀬憲明	鈴鹿RT
7	河崎 裕之	マウンテンライダース	55	鯉沼慶次郎	ブルーヘルメットMSC	100	井上 誠	長岡テクニカルRC
8	水谷 勝	東海スポーツライダース	56	辻 司	オートルーキーRC	101	大場 義雄	チーム舳斗雲
9	阿部 孝夫	マウンテンライダース	57	藤本 迫	月木レーシングT	102	稲波 治	ビックベン平野R
10	清原 明彦	神戸スーパースポーツRT	58	杉野 順三	浜寺レーシングC	103	赤石 博行	埼玉イナRC
11	(鈴木 修)		59	渡辺 靖夫	明和RC	104	岩瀬 孝明	個人
12	木山 賢悟	チームRSC	60	芳賀 信二	ダブルイーグルC	105	西谷 裕司	個人
15	杉本五十洋	マックウエスタン	61	平井 隆	レーシングチームスウィング	106	山田 正夫	
16	飯島 茂雄	ブルーヘルメットMSC	62	平 忠彦	スポーツライダース	107	青木 辰巳	チームミスターヒロ
17	飯田 浩之	ブルーヘルメットMSC	63	福島 秀彦	チーム舳斗雲	108	早坂 賢二	アラオカレーシング
18	石川 岩男	フライングドルフィン	64	須田 明	埼玉イナRT	109	小阪 弘行	オートルーキーRC
19	角谷 新二	ブルーヘルメットMSC	65	阿部 三吉	磐田レーシングF	110	平井 裕	アカマツレーシング
20	上野 真一	チームレーシングスポーツ	66	酒井 博章	ウエグレースィング	111	有馬 通正	鈴鹿RT
21	外谷 悦男	浜松エスカルゴRT	67	南口 俊彦	チームヤングース	112	柴谷 正昭	木の実レーシング
22	斉藤 三夫	GIMレーシング	68	吉村 忠	うず潮レーシング	113	田中 光男	オートルーキーRC
23	岩崎 勝	浜松チームタイタン	69	松本 文宏	マックウエスタン	114	三上 訓弘	スポーツライダース
24	吉村 辰美	モリワキレーシング	70	吉村 俊宏	ブルーヘルメットMSC	115	馬場 勝巳	スターズ
25	千石 清一	木の実レーシングT	71	山川 守	個人	116	浦 正勝	浜寺レーシング
26	若菜 博	チームフリー	72	浅海 敏夫	ブルーヘルメットMSC	117	保立 秀男	鹿島レーシング
27	糟野 雅治	フライングドルフィン	73	柳川 利明	明和RC	118	下村 勇二	レーシングチームドモン
28	木下 恵司	ブレイメイトRT	74	上田 幸也	鈴鹿RT	119	平塚 庄治	大友レーシングクラブ
29	川上 浩	明和RC	75	張間 利治	プレストレーシング	120	岡本 一	ワンダーラビットRT
30	岸本 悟	マックウエスタン	76	仲川 昇	タマトライアルC	121	堀内 清孝	スターズ
31	高橋 良夫	オートルーキーRC	77	五十木俊光	レーシングチーム小野口	122	斉藤 光雄	チームカナヤ
32	大塚 茂春	チームロードボーイズ	78	東金 育男	浜松エスカルゴRT	123	斉藤 仁	スポーツライダース
33	山名 久	浜松チームタイタン	79	渡辺 勝雅	野田ジュニアRC	124	山本 陽一	鈴鹿レーシングT
34	真田 哲道	チームワークス永楽	80	山本 利幸	チームヤングース	125	畠本 久	テクニカルスポーツ関東
35	佐藤 順造	ブレイメイトRT	81	高橋 清志	小田原キャッスルR	126	小沼賢代子	レーシングチームスウィング
36	根本 健	フライングドルフィン	82	長堀 幸夫	野田ジュニアRC	127	富田 英志	鈴鹿レーシングT
37	森田 泰男		83	石塚 正	スズカササキチーム	128	七五三義文則	テクニカルスポーツ関東
38	江崎 正	チームカナヤ	84	菅野 豊	チームブレイブス	129	木下 淳	鈴鹿レーシングT
39	荘 利光	チーム荘	85	藤本 泰東	チームカナヤ	130	阪本 裕介	
40	岩道 博	岡山ユニオンRT	86	酒井 清孝	個人	131	石井 康夫	ワールドワイドMC
41	井上 哲雄	小田原キャッスルR	87	森田 陸	スズカササキチーム	132	山本 篤美	チームヤングース
43	新田 茂	木の実レーシングT	88	伊藤 巧	TSUレーシングチーム	133	本田 和雄	個人
44	高橋 力也	小田原キャッスルR	89	和歌山利宏	磐田レーシングF	134	池田 英輔	福岡ブルーエンゼル
45	五味潤安彦	チーム荘	90	黒田 寛		135	福井 正	チームスーパーモンキー
46	山田 純	フライングオリバー	91	伊藤 裕之	ブルーヘルメットMSC	136	上原 澄男	個人
47	吉見 卓	マックウエスタン	92	鈴木 隆	ワンダーラビットRT	137	鈴木 恒男	個人
48	山梨 保	ブルーヘルメットMSC	93	徳野 博人	浜寺レーシングクラブ	138	池田 直	プレストMRC
49	徳野 政樹	TEAM38	94	三原 嗣厚	チームハニービー			

'81モトクロス・ゼッケンナンバー

○印は125ccクラス、無印は250ccクラス登録者

国際 A 級 部 門

No.	ライダー名	出身地	クラブ名	No.	ライダー名	出身地	クラブ名	No.	ライダー名	出身地	クラブ名
1	杉尾 良文	兵庫	杉尾レーシングチーム	21	的場 平	大阪	マウンテンライダース	40	神田 利明	静岡	中部SSC
2	東福寺保雄	山梨	トウフクジレーシング	22	秋元 春夫	静岡	浜松ランモアレーシング	41	菅野 俊彦	岩手	東北スーパースポーツ
3	福本 敏夫	徳島	うず潮レーシング	23	小野 明	群馬	スピードファンイン群馬	42	谷川龍太郎	京都	杉尾レーシングチーム
5	藤 秀信	福岡	福岡ブレイメイト	24	白戸 寛	青森	チームホワイトドア	43	庄子 覚	宮城	レーシングメイトof仙台
6	竹沢 正治	栃木	タケザワバイククラブ	25	市川 哲也	茨城	ブルーヘルメットMSC	44	佐藤 浩一	静岡	中部SSC
7	大関 昌典	山口	福岡ブルーエンゼル	26	原口 衛	埼玉	チェッカーズ	45	金徳 春夫	静岡	浜松ランモアレーシング
8	小田桐昭蔵	青森	チームミスターバイク	27	山本 秀人	群馬	秀明道場	46	石神 覚	埼玉	チェッカーズ
9	野宮 修一	愛知	クラブ太閤	28	高田 寛	東京	城北ライダース	47	手島 寅夫	熊本	福岡ブレイメイト
10	立脇三樹夫	鳥取	米子レーシングクラブ	29	川崎 利広	静岡	浜松スクランブル	48	佐藤 敏和	兵庫	杉尾レーシングチーム
11	唐沢栄三郎	群馬	秀明道場	30	大塚 保	千葉	イシイレーシング	49	瀬尾 勝彦	茨城	個人
12	佐藤 健二	大阪	千里スポーツクラブ	31	谷地 晃実	東京	チームスガヤ	50	佐藤 和夫	宮城	ブルーヘルメットMSC
13	伊田井佐夫	埼玉	東香和レーシングチーム	32	大泉 浩一	宮城	チームスピリッツ	51	河内 賢三	熊本	福岡ブレイメイト
14	鈴木 秀明	東京	秀明道場	33	月岡 尚人	長野	長野ベストライダース	52	岸川 清秀	佐賀	チームシャドウ
16	光安 鉄美	福岡	福岡ブレイメイト	34	佐々木 隆	秋田	大阪チームブルーイーグルス	53	奥村 勝昭	愛知	中部スーパースポーツ
17	鈴木都良夫	東京	秀明道場	35	東永 初弘	佐賀	東永レーシング	54	小田切信雄	青森	小田切レーシングクラブ
18	渡辺 明	栃木	宇都宮レーシング	36	瀬戸 康一	愛知	チームミスターバイク	55	野崎円次郎	青森	三沢SSCクラブ
19	山本 勝司	愛知	中部SSC	37	松本 満男	愛媛	潮川レーシングチーム	56	鈴木 忠男	東京	個人
20	菅原 朋正	千葉	エルムンレーシング	38	青山 金助	北海道	函館カトウレーシング				

国際 B 級 部 門

No.	ライダー名	所属	クラブ名	No.	ライダー名	所属	クラブ名	No.	ライダー名	所属	クラブ名
1	岡部 篤史	中部	中部SSC	8	元木 鉄治	関西	マウンテンライダース	15	工藤 一也	北海道	タートルライダース札幌
2	富森 正夫	関西	千里スポーツクラブ	9	岸本 寛志	関西	京北ライダース	16	佐藤 高志	中部	浜松ランモアレーシング
3	中村 義郎	関東	晋志野レーシング	10	星 紀夫	関東	ブルーヘルメットMSC	17	浅野 政幸	関東	ブルーインパルスRC
5	佐藤 重雄	北海道	タートルライダース札幌	11	林 英樹	中国	ワイルドキャット岩国	18	渡辺 秀孝	東北	チームピットイン
6	野口 忠夫	関東	エンゼルス関東	12	村田 始	中部	天竜レーシング	19	横山 隆夫	関東	横山レーシング
7	前原 保男	四国	チーム高武	14	藤本 三郎	東北	高橋レーシングクラブ	20	源治 篤	北海道	源治組レーシングチーム

栄光のゼッケン1

ロードレース国際A級

鈴木 修選手
(ブレイメイトレーシングチーム)

モトクロス国際A級

杉尾 良文選手
(杉尾レーシングチーム)

モトクロス国際B級

岡部 篤史選手
(中部SSC)

'81トライアル国際A級ゼッケンナンバー

No.	ライダー名	クラブ名	No.	ライダー名	クラブ名	No.	ライダー名	クラブ名
1	丸山 胤保	チームカントリーライダーズ	46	米沢 誠司	盛岡セブティクラブ不來方	91	橋口 重明	倶楽部脱転
2	加藤 文博	TEAM KATO	47	小坂 政弘	チームカントリーライダーズ	92	日高 之夫	チームセクション
3	小谷 重夫	個人	48	川崎 和寛	ブルーヘルメットMSC	93	玉田 幹雄	山本レーシング
4	伊藤 敦志	チームナグラレーシング	49	辻 正義	和歌山トライアルクラブ	94	松藤 研	チームテクニカルイレブン
5	黒山 一郎	チームナグラレーシング	50	内田 昭	続まむしの兄弟MSC	95	万沢 康夫	クリーンライダーズトライアルC
6	畑山 和裕	エルムーンレーシング	51	山田 裕二	TEAM NOM	96	稲田 武	ブルーヘルメットMSC
7	山本 昌也	チームアップダウン	52	堀川 一浩	長野MAIN TRIALS	97	本間 清隆	トライアルライダーズ札幌
8	井上 一彦	トライアルチームKONDO	53	安部 満	トライアルC陸征会	98	佐藤 好和	北トラファクトリー
9	近藤 博志	トライアルチームKONDO	54	中内 茂樹	斉藤レーシングチーム	99	森本 賢次	チームナグラレーシング
10	服部 聖輝	モトスポーツメイト	55	ハツ星 栄	個人	100	武村喜美男	個人
11	木村 治男	トライアルライダーズ	56	馬場 尚雄	個人	101	三浦 新寿	武州トライアルクラブ
12	菅 幸三	個人	57	青木 憲造	チームアップダウン	102	名倉 直	チームナグラレーシング
13	山田 和雄	浜松エスカルゴRT	58	宮下 誠	九州トライアルクラブ	103	田中伸多郎	トライアルTみどりや酒店
14	鈴木 章平	トライアルチームKONDO	59	村井 義治	和歌山トライアルクラブ	104	森下 勝	続まむしの兄弟MSC
15	三谷 正次	続まむしの兄弟MSC	60	田村 春治	ザビッグワントトライアルR	105	斉藤 仁志	酒田トリスターズ
16	遠藤 典夫	東北ライダーズ矢吹	61	成田 省造	ハザードブレイカーズ	106	佐々木政造	盛岡セブティクラブ不來方
17	植田 悟	チームアップダウン	62	近藤 充	トライアルライダーズ	107	大月 信和	エルムーンレーシング
18	山田 民雄	個人	63	吉川富美男	個人	108	上田 久嗣	チームテクニカルイレブン
19	山口 滋	ダウンタウンライダーズ	64	野間 無夫	個人	109	野口 稔	トライアルライダーズ札幌
20	南堅 年明	チームアップダウン	65	杉谷 茂夫	京都トライアルメイツ	110	陣内 英幸	チームカントリーライダーズ
21	町田 晴男	トライアルライダーズ	66	片山 郁男	トライアルライダーズ	111	吉浦 賢治	チーム衛星
22	松井 由明	小出サンフアラワーTC	67	折目 尚三	モリトライアルチーム	112	金井 松栄	名古屋トライアルクラブ
23	土本 立春	個人	68	高橋 正明	福島トライアルチーム	113	向井 友一	トライアルライダーズCナゴヤ
24	中島 宏明	NTR	69	青野 貞吉	浜松エスカルゴRT	114	斉藤 茂憲	斉藤レーシングチーム
25	米沢 満夫	秩父WET	70	飯田 正信	個人	115	森 彦二郎	モリトライアルチーム
26	山田 乙三	斉藤レーシングT	71	橋田 忠博	個人	116	北村 義孝	金沢城北トライアルC
27	飯田 修	個人	72	池田 勝則	トライアルライダーズ	117	今野 久男	個人
28	八星 均	個人	73	児玉 博	京都トライアルメイツ	118	森 至布	モリトライアルチーム
29	中村 勝利	チームもっこす	74	阿部 哲夫	トライアルライダーズ	119	藤本 弘司	チームレインボウ
30	新井 範夫	秩父WET	75	池原 勝則	チームバンディッツ	120	荒川 金雄	佐世保トライアルチーム
31	佐藤 雄一	DOT'S	76	加藤 伸二	チームカントリーライダーズ	121	原田 茂樹	広島ドンガメクラブ
32	菊地 敦一	個人	77	松岡 信明	トヤマスネイクライダーズ	122	井原 修	チームサファリ
33	宇治 章	トライアルチームKONDO	78	土屋 達	東北ライダーズ矢吹	123	上甲 秀邦	チームサファリ
34	尾形 輝彦	トライアルライダーズ	79	小林 裕悦	ダウンタウンライダーズ	124	国常 忠宏	チームカワタケ
35	蓮沢 文雄	名古屋トライアルクラブ	80	藤井 康男	チームカントリーライダーズ	125	川崎 正信	093トライアルクラブ
36	高橋 正則	小出サンフアラワーTC	81	近成 久司	トライアルライダーズ	126	飯藤 一弘	個人
37	引地 徹	個人	82	中村 広二	清水トライアルクラブ	127	朝比奈久男	チームカワタケ
38	佐藤 友一	古川トリアルススポーツ	83	橋ヶ谷昇次	チームキャニオン	128	三木 健嗣	広島ドンガメクラブ
39	来生 忠	TEAM KATO	84	高橋 弘道	トライアルTみどりや酒店	129	伊藤 修	TEAM-PIRATES
40	荒生 和人	酒田トリスターズ	85	青池 武	個人	130	泉 正信	チームサファリ
41	田中 光夫	山本レーシングチーム	86	寺田 邦雄	個人	131	近藤 久生	トライアルCバルビゾン
42	板橋 康行	平野レーシング	87	河野 完次	岡山トライアルメイツ	132	上甲 俊行	チームサファリ
43	大崎 一郎	上州トライアル	88	横井 史佳	個人	133	樋口 宏幸	チームセクション
44	富川 善治	サンデートライアルクラブ	89	河野 静雄	ブルーヘルメットMSC	134	川竹 健二	チームカワタケ
45	金田 耕一	金沢城北トライアルクラブ	90	平野 博	トム&ジェリーMC	135	城前 健二	個人

No.	ライダー名	クラブ名	No.	ライダー名	クラブ名	No.	ライダー名	クラブ名
136	村越 文好	秩父WET	174	大同 修一	チーム阿賀	212	藤田 正好	上州トライアル
137	石橋 正明	トム&ジェリーMC	175	堤 邦幸	個人	213	植田 紀郎	チームランナバウト
138	中山 義国	大村ライダースC	176	屋野 伸洋	福岡スーパートライアル	214	藤波 光明	個人
139	香西 定幸	高松サイドカーC	177	内野 徳助	八女トライアルクラブ	215	大西 幸夫	個人
140	橋口 俊昭	個人	178	築島 一典	八女トライアルクラブ	216	川口 健造	個人
141	白木 英一	チームカワタケ	179	吉富 博司	佐世保トライアルチーム	217	高橋 優治	チームランナバウト
142	大庭 明	チームナグラーシング	180	時森 二郎	個人	218	福岡 正孝	個人
143	西牟田 誠	名古屋トライアルクラブ	181	岩谷 学	TEAM PIRATS	219	中村 敏昭	チーム三嶋トライアル
144	芦尾 一登	広島ドンガメクラブ	182	沖根 吉貴	リンクス&ピエロ	220	亀井 孝	倶楽部転
145	土井長 一	広島かめの子会	183	石井一二三	リンクス&ピエロ	221	松原 和博	酒田トライスターズ
146	深田 強	チームカントリーライダーズ	184	瀬尾 和彦	リンクス&ピエロ	222	佐藤 健治	盛岡セフティクラブ不來方
147	藤岡 利宏	倶楽部転	185	成田 国彦	オートクレージー我満	223	永田 正秀	チームセクション
148	湖田 弘	京都トライアルメイツ	186	安田 孝人	旭川トライアルクラブ	224	豊沢 義秀	チームカワタケ
149	西本 恵啓	広島ドンガメクラブ	187	北郷 務	個人	225	上福浦明男	ブービーズ
150	山口 輝寿	個人	188	阿部 利行	チーム三嶋	226	菊地 直幸	トライアルライダーズ札幌
151	小俣 一義	トライアルCバルビゾン	189	高田 満	レッドアローレーシングチーム	227	前川 一司	宮古トライアルチーム
152	高橋 繁夫	広島かめの子会	190	田中 陸男	河北TRC	228	藤井 敬次	岡山トライアルメイツ
153	吉村 義昭	鈴鹿レーシングチーム	191	今井 雄治	レッドアローレーシングチーム	229	大塚 利男	チームサファリ
154	阿部 義正	今治トライアルクラブ	192	木村 茂	TEAM エスユリアル	230	水口 益雄	チームカワタケ
155	高田 浩和	個人	193	広木 一美	和光イエローウィング	231	長井 篤司	今治トライアルクラブ
156	玉林 孝夫	河村レーシングSS	194	光庵寺 宏	モリトライアルチーム	232	浦辺 利広	BYTT
157	大八木政明	チームテクニカルイレブン	195	斉藤 克巳	平塚H-C	233	高石 博志	個人
158	梅見 陸男	旭川トライアルクラブ	196	中村 雅宣	八女トライアルクラブ	234	長野 卓人	個人
159	堤 晴夫	個人	197	工藤 晴幸	トミナガトトライアルクラブ	235	村田 忠昭	津トライアルクラブ
160	今野 圭一	杉沢トライアルクラブ	198	藤枝 敏幸	明和レーシングクラブ	236	川上 太	富山スネイクライダーズ
161	佐藤 敏彦	セフティクラブ花巻	199	岡田 孝三	個人	237	中島 晃樹	個人
162	佐々木忠彦	個人	200	広田 進	個人	238	大久保秀昭	個人
163	亦野 浩二	個人	201	木戸岡芳則	鈴鹿レーシングクラブ	239	豊原 孝行	旭川トライアルクラブ
164	西川 昌宏	個人	202	内間 義勝	セーフティクラブ関白	240	宮下 永次	個人
165	内野 正也	チームモンタコ	203	野木 博明	個人	241	中村 康男	TOMトライアルクラブ
166	岡山 学	個人	204	大橋 誠司	清水トライアルクラブ	242	上出 泰裕	個人
167	堀川外志男	個人	205	菅原 正明	ブルーヘルメットMSC	243	小出 修	旭川トライアルクラブ
168	中西公二郎	山陰オートテクニカル	206	室谷 正英	モリトライアル	244	保田富良太	名古屋トライアルクラブ
169	上田 光一	個人	207	平田 篤	TEAM PIRATS	245	片岡 和久	FRS千葉
170	佐藤 朝幸	岡山トライアルメイツ	208	西浦 敏彦	モリトライアルチーム	246	山下 郁夫	個人
171	大饗 辰夫	岡山トライアルメイツ	209	戸田 一男	南大阪トライアル	247	興那 康英	トライアルチームホッパー
172	西平 正道	個人	210	橋 郁郎	個人	248	菊池 篤次	個人
173	長野 業久	チームカワタケ	211	増田 龍二	チームキャニオン	249	松村 誠悟	カワサキコックローチ

栄光のゼッケン1

丸山胤保選手
(チームカントリーライダーズ)ひとりでも多く
健全なモータースポーツ仲間を
増やそう

全日本選手権ランキング基準

MFJ ライセンス昇・降格規定

全日本選手権 ランキング 順位づけ決定の方法

全日本選手権ランキングの順位づけは、次の方法により決定される。

- 1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の大なるものから順位を決定する。
ただし、30点未満のものはチャンピオンとはせず、ランキング2位とする。
- 2) 上記1)で同点となった場合、上位入賞回数の多いものが上位となる。
- 3) 上記2)で決定できない場合、前年度のランキング上位のものを上位とする。
- 4) 上記3)で決定できない場合、MFJ資格審査委員会において最終決定する。

ライセンス 昇格規定

MFJライセンス資格は、MFJ公認のもとで開催されるモーターサイクル競技の公正を期するために、前年度の成績により次のような昇格基準にもとづいて決定される。

なお成績対象の期間は前々年度の11月から前年度の10月末日までの12ヵ月間とする。

モトクロス

1. ノービス部門からジュニア部門
 - 1) 地方大会以上のレースにおいて得点20点以上の成績を得たもの。
 - 2) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。
 - 3) そのほか資格審査委員会が認めた者。
2. ジュニア部門から国際B級部門
 - 1) 全日本選手権シリーズ大会において得点20点以上の成績を得た者。
 - 2) 地方大会以上のレースにおいて得点50点以上の成績を得た者。
 - 3) 前年度全日本選手権ランキングでクラス1位～6位までにランクされた者。
 - 4) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。
3. 国際B級部門から国際A級部門
 - 1) 前年度全日本選手権ランキングでクラス1位～5位までにランクされた者。
 - 2) そのほか資格審査委員会が認めた者。

ロードレース

1. ノービス部門から国際B級部門
 - 1) 全日本選手権シリーズ大会において得点10点以上の成績を得た者。
 - 2) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。
 - 3) そのほか資格審査委員会が認めた者。
2. 国際B級部門から国際A級部門
 - 1) 前年度全日本選手権ランキングでクラス1位～3位

- までの者。
2) そのほか資格審査委員会が認めた者。

トライアル

1. ノービス部門からジュニア部門

- 1) 競技会におけるノービス部門での優勝者（ベストパフォーマンス）1名のみ。
- 2) 上記の競技会におけるノービス部門は少なくとも10名以上の参加によって構成されたものとする。

2. ジュニア部門から国際A級部門

- 1) 地方選手権シリーズにおけるジュニア部門の成績により、各地方別に昇格人数を定めるものとする。
- 2) '81年度は次の通り。北海道=4名・東北=5名・関東10名・中部=10名・北陸=3名・関西=10名・中国=5名・四国=3名・九州=3名。

特別昇格申請手続き

1. 特別昇格基準

- 1) すでに述べた昇格基準と同等とみなされるにふさわしい成績を得た者で、昇格を希望する者のみ特別昇格申請の手続きが受けられる。

2. 申請期間

- 1) 前年度の11月からその年の2月末日までを申請期間とする。
- 2) この期間以外の昇格申請はいつい受付けない。

3. 申請方法および申請料

- 1) 所定の申請書に必要事項を記入し、所属する地方スポーツ委員会の承認を得てMF J事務局に申請する。
- 2) 所定の申請書はMF J事務局に用意されており、請求に応じて配布される。
- 3) 申請にあたっては申請料1,000円（切手でも可）を添えて提出すること。なお最終的な決定はMF J資格審査委員会の審査結果による。

ライセンス 降格規定

MF Jライセンス資格の降格を希望する者は、以下の手続きによって申請し、MF J資格審査委員会の審査を経て降格できる。

ライセンスの降格手続き

1. 申請手続き

- 1) 所定の申請書に必要事項を明記のうえ、所属する地方スポーツ委員会の承認を得て、MF J事務局に提出する。
- 2) 申請書用紙はMF J事務局に用意されており、請求に応じて配布される。
- 3) 降格承認後は、MF J審査委員会が定めた日よりそのシーズンの終了まで、再昇格規定が適用される。

2. 申請期間

- 1) 前年度の11月からその年の2月末日までを申請期間とする。
- 2) この期間以外の降格申請はいつい受付けない。

ライセンス 再昇格規定

ライセンスの降格があっても次の規定で再昇格がある。

モトクロス

- 1) 国際B級からジュニア部門に降格した場合は、全日本選手権シリーズ大会で、原則として2回優勝した時点で再昇格するものとする。
- 2) ノービス部門に降格した場合は、MF J公認競技会において、原則として1回優勝した時点で再昇格するものとする。
- 3) その他、地方スポーツ委員会の判断により再昇格するものとする。

ロードレース

- 1) 全日本選手権シリーズ大会において、原則として2回優勝した時点で再昇格するものとする。
- 2) 公式記録によるラップタイム等により再昇格する。

トライアル

- 1) ジュニア部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて、原則として1回優勝（ベストパフォーマンス）した時点で再昇格する。
- 2) ノービス部門に降格した場合は、MF J公認競技会において出場者の上位10%以内に入賞した時点で再昇格する。
- 3) その他、地方スポーツ委員会の判断により再昇格するものとする。

MFJ 選手共済組合・保険制度

種 目	ライダー掛金 (1名1大会)	ピット要員掛金 (1名1大会)	支 払 条 件			共済及び 保険適用
			最高限度額 (死亡, 不具廃疾)	傷害保険支払い額	支 払 い 適 用 期 間	
ロードレース	3,000円 (1口目) (但し10口まで 掛けられる 2口目より 1口 1350円)	300円 (支払い条件は モトクロスと 同じ)	350万円 (1口目) 但し2口以上 10口まで 1口につき 50万円)	①1日 1,250円×全 治日数(1口目) 但し2口以上10口ま で1口につき 500円 ②診断書作成料 5,000円	6ヵ月(180日) 大会当日のレー ス中 (公式練習含む) 公式予選	MFJ指 定保険及 びMFJ 役員・選 手共済組 合併用
	保険金請求に ついての 必要書類事項		① 傷害保険金請求書(指定) ② 全治したときの医師の治療証明書(指定) ③ サーキットの事故証明書			
B ラ イ セ ン ス 対 象 種 目	サーキットにお けるプロダクシ ョンミニバイク レース	1,500円	300万円	①1日 750円×全治 日数 ②診断書作成料 5,000円	6ヵ月(180日) 大会当日のレー ス中 (公式練習含む) 公式予選	MFJ役 員・選手 共済組合
	ミニモトクロス, 雪上車, エンデ ューロード車によ る競技会	300円	300万円			
	モトクロス	600円	300万円			
	トライアル	200円	300万円			
Bライセンス モトクロス トライアル		傷害保障金請求につ いての必要書類		①全治したときの医師の診断書 ②主催者の事故証明書		

- 注：1. ロードレースライダー以外は保険料は1口に限られます。
2. 同一大会で2種目以上出場する場合は保険料の高い種目が適用されます。
3. 上記保険は治療費は支払われませんので各自の健康保険証で治療を受けてください。

<p>1</p> <p>まず診断書が必要</p> <p>ただし負傷が完治してからです。 ケガが治りましたら、治療先から診断書をもらってください。なお、ロードレースで負傷した場合は、MFJ所定の保険会社の診断書が必要になりました。この所定の診断書用紙はMFJ事務局に用意してありますので請求してください。</p>	<p>2</p> <p>大会主催者から 事故証明書をもらう</p> <p>ケガをした大会の主催者から、本人の氏名および住所、生年月日、大会名と開催年月日、出場クラス、ケガの内容を記した大会主催者の認印のある事故証明書をもらってください。</p>	<p>3</p> <p>請求先はMFJ事務局です</p> <p>医師の診断書(ロードレースの場合はMFJ所定の保険会社の診断書)と、大会主催者の事故証明書を入手したら、この両方の書面を添えてMFJ事務局へ保険請求してください。宛先は〒1104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル 日本モーターサイクル協会 保険係 です</p>
--	---	---

M F J 公認ヘルメット



昭栄化工株式会社

〒105 東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル
☎ 03-502-0301

GR-Z

¥45,000



- J.I.S規格2種、スネル規格1975・300G
- カラー/ホワイト・シルバー
- サイズ/S・M・L・XL(4帽体4サイズ)
- カーボンファイバー製
- くもりどめシールド採用

EX-2

¥29,000



- J.I.S規格2種
- カラー/ホワイト・レッド・イエロー
- サイズ/S・M・L・XL

SR-G

¥18,000



- J.I.S規格2種、スネル規格1975・300G
- カラー/ホワイト・シルバー・ブラック
- サイズ/S・M・L・XL(4帽体4サイズ)
- A.P.F製

GR-X

¥32,000



- J.I.S規格2種、スネル規格1975・300G
- カラー/ホワイト・シルバー
- サイズ/S・M・L・XL(4帽体4サイズ)
- カーボンファイバー製

VR

¥17,800



- J.I.S規格2種
- カラー/ホワイト・シルバー・ブラック・レッド
- サイズ/S・M・L・XL

ST-X

¥16,000



- J.I.S規格2種
- カラー/ホワイト・シルバー・ダークブルー
- サイズ/S・M・L

GW

¥17,000



- J.I.S規格2種、アメリカ規格A.N.S.I.Z90.1-1971
- カラー/ホワイト・シルバー・ブラック・レッド
- サイズ/S・M・L・XL
- くもりどめシールド採用

ZE

¥30,000



- J.I.S規格2種、スネル規格1975・300G
- カラー/ホワイト・ブラック・レッド
- サイズ/S・M・L・XL(4帽体4サイズ)
- くもりどめシールド採用
- A.P.F製、ストライプは同梱されています。



M.F.J. 公認ヘルメット

株式会社新井広武 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
☎ 0486-41-3825

《CLC RX-7》

¥40,000



- カラー/白・スーパーシルバー
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm
59cm-60cm 61cm-62cm
- J.I.S 2種 スネル1975 ●M.F.J.公認

《X-75 レーシングタイプ》

¥20,000



- カラー/白・黒ツヤ有り
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm
59cm-60cm 61cm-62cm
- J.I.S 2種 スネル1975 ●M.F.J.公認

《CLC R-7》

¥28,000



- カラー/白・スーパーシルバー
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm
59cm-60cm 61cm-62cm
- J.I.S 2種 スネル1975 ●M.F.J.公認

《M-X》

¥28,000



- カラー/白・黄・赤・ブルー
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm
59cm-60cm 61cm-62cm
- J.I.S 2種 ●M.F.J.公認

《S-75》

¥13,500



- カラー/白・黒ツヤ有り・シルバー
- サイズ/55cm-56cm 57cm-58cm
59cm-60cm 61cm-62cm
- J.I.S 2種 スネル1975 ●M.F.J.公認

《X-1 ヴィンテージ》

¥19,000



- カラー/紺に金線、赤に金線
- サイズ/A・B・C
- J.I.S 2種 ●M.F.J.公認

《X-75》

¥18,000



- カラー/白・黒ツヤ有り・シルバー
- サイズ/A・B・C
- J.I.S 2種 スネル1975 ●M.F.J.公認

M F J 公認ヘルメット



マルシン工業株式会社

〒124 東京都葛飾区四ツ木5-9-6
☎ 03-693-5791

〈MV-1〉 ¥20,000



- カラー/白・黒・シルバー
- サイズ/S・M・L
- ARシールド装置(キズが付きにくい超硬度)
- スネル1975年規格認定
- JIS規格2種
- M.F.J公認

〈MV-1DX〉 ¥28,000



- カラー/白・シルバー
- サイズ/S・M・L
- AR・BODONシールド装置(キズが付きにくい超硬度+くもりどめ)
- アゴヒモ本皮
- JIS規格2種
- スネル1975年規格認定
- M.F.J公認

〈MV-75〉 ¥40,000



- カラー/白
- サイズ/S・M・L
- AR・BODONシールド装置(キズが付きにくい超硬度+くもりどめ)
- スネル1975年規格認定
- アゴヒモ/ネックパットヘッドクッション本皮
- JIS規格2種
- M.F.J公認

〈インディー500(AR)〉 ¥23,000



- カラー/黒
- サイズ/S・M・L
- ARシールド装置(キズが付きにくい超硬度)
- JIS規格2種
- M.F.J公認

〈GENERAL(AR)〉 ¥15,800



- カラー/白・シルバー・黒
- サイズ/S・M・L
- ARシールド装置(キズが付きにくい超硬度)
- アゴヒモ90°(本格ベルトタイプ)
- JIS規格2種
- M.F.J公認

〈DX-DV(AR)〉 ¥18,000



- カラー/黒
- サイズ/S・M・L
- ARシールド装置(キズが付きにくい超硬度)
- JIS規格2種
- M.F.J公認
- ★マルシン契約ライダー 佐藤順造選手愛用デザインヘルメット

〈M-450(AR)〉 ¥14,000



- カラー/白・オレンジ・シルバー・黒
- サイズ/S・M・L
- ARシールド装置(キズが付きにくい超硬度)
- JIS規格2種
- M.F.J公認

〈M-52〉 ¥10,500



- カラー/黒・シルバー・白・オレンジ・ブルー
- サイズ/S・M・L
- JIS規格2種
- M.F.J公認

〈M-38〉 ¥9,500



- カラー/白・キャンディーオレンジ・キャンディーブルー・レモンイエロー・黒ツヤ消
- サイズ/S・M・L
- JIS規格2種
- M.F.J公認



MFJ公認ヘルメット

株式会社コミネオートセンター

〒111 東京都台東区小島2-18-18
☎ 03-862-9811(代)



〈FUJI-800 II〉

- カラー/白/赤/白/青
- サイズ/S・M・L・LL
- 特長/イタリアン感覚の広視界ウインドウ
- アゴヒモ/高級牛皮
- 第二種規格合格
- S・SGマーク付
- FRP製

¥16,000



〈FUJI-800 II〉

- カラー/白/赤/白/青
- サイズ/S・M・L・LL
- 特長/イタリアン感覚の広視界ウインドウ
- アゴヒモ/高級牛皮
- 第二種規格合格
- S・SGマーク付
- FRP製

¥16,000



〈FUJI-800 SPECIAL II〉

- カラー/シルバーに黒筋、黒に金筋
- サイズ/S・M・L・LL
- 特長/無彩色にカラーリング
- アゴヒモ/高級牛皮
- 第二種規格合格
- S・SGマーク付
- FRP製

¥20,000



〈FUJI-800 SPECIAL II〉

- カラー/シルバーに黒筋、黒に金筋
- サイズ/S・M・L・LL
- 特長/無彩色にカラーリング
- S・SGマーク付
- FRP製

¥20,000



〈RT-200〉

- カラー/白・オレンジ 黒・銀
- サイズ/S・M・L・LL
- 特長/FRP構体のジェットタイプ
- アゴヒモ/高級牛皮
- S・SGマーク付
- 第二種規格合格

¥10,500



〈FUJI-500〉

- カラー/白・オレンジ 黒・銀
- サイズ/S・M・L・LL
- 特長/強いシェルに優れた内装
- アゴヒモ/高級牛皮
- S・SGマーク付

¥13,500

- カラー/白・黒 銀・メタリック系



〈RT-201〉

- カラー/黒・銀
- サイズ/S・M・L・LL
- 特長/コミネ特許のイヤーホール付
- S・SGマーク付
- 縁はゴム
- 第二種規格合格
- アゴヒモ/高級牛皮

¥10,500

MOBILITY PLAZA
KOMINE
コミネオートセンター

●総合カタログは 〒111 東京都台東区小島2-18-18 コミネオートセンター
TEL(03)862-9811代へお申し込みください。送料共¥700。

M.F.J公認ヘルメット



クノー工業株式会社

東京都品川区西五反田 7-22-17

☎ 03-494-3371-6

〈ウベックスチャンピオン〉

¥23,000



- カラー/白・黒
- サイズ/S・M・L・LL
- JIS 2種 ●M.F.J公認

〈ウベックスモンテカルロ〉

¥20,000



- カラー/白・シルバー
- サイズ/S・M・L・LL
- JIS 2種 ●M.F.J公認

〈KH-100〉 ¥16,500



- カラー/白・シルバー・黒
- サイズ/S・M・L・LL
- JIS 2種 ●M.F.J公認

〈KH-808〉 ¥14,000



- カラー/白
- サイズ/S・M・L・LL
- JIS 2種 ●M.F.J公認

〈KH-56〉 ¥9,900



- カラー/白・オレンジ
- サイズ/S・M・L・LL
- JIS 2種 ●M.F.J公認

〈ウベックスレーシングジェット〉

¥16,500



- カラー/白・黒
- サイズ/S・M・L・LL
- JIS 2種 ●M.F.J公認

〈ウベックストライアル〉

¥9,500



- カラー/白
- サイズ/M・L
- JIS 1種 ●M.F.J公認



M F J 公認ヘルメット

メット工業株式会社

〒136 東京都江東区北砂 6-12-14
☎ 03-645-2545

FR-1

¥13,500



- カラー/ホワイト・ブラック・シルバー・イエロー・キャンディ(ブルー・レッド・グリーン・ゴールド) オレンジ
- サイズ/S・M・L ●ホードンシールド使用
- J.I.S. 1種 ●M.F.J. 公認

F-1

¥11,000



- カラー/ホワイト・オレンジ・ブラック・ブルー・グリーン・ゴールド・シルバー・レッド
- サイズ/S・M・L ●J.I.S. 1種 ●M.F.J. 公認

K-3

¥ 7,000



- カラー/ホワイト・オレンジ・ブラック・ブルー・グリーン・ゴールド・シルバー・レッド
- サイズ/S・M・L ●J.I.S. 1種 ●M.F.J. 公認

K-70

¥ 8,000



- カラー/ホワイト・オレンジ・ブラック・グリーン・ゴールド・シルバー・レッド・ブルー
- サイズ/S・M・L ●J.I.S. 1種 ●M.F.J. 公認

K-110

¥ 8,000



- カラー/シロクロツートン
- サイズ/M・L
- J.I.S. 1種
- M.F.J. 公認

KX-1

¥ 8,500



- カラー/ホワイト・ブラック・シルバー・イエロー・オレンジ・ブルー・ゴールド・レッド・グリーン
- サイズ/S・M・L ●J.I.S. 1種 ●M.F.J. 公認

K-2

¥ 8,000



- カラー/ホワイト・オレンジ・ブラック・ブルー・グリーン・ゴールド・シルバー・レッド
- サイズ/S・M・L ●J.I.S. 1種 ●M.F.J. 公認

M F J 公認ヘルメット



株式会社 立花自動車用品

〒133 東京都江戸川区本一色557-3
☎ 03-653-6277

GTX-1 ¥24,000



- カラー/ホワイト・ブラック・ブラウン
- サイズ/M・L
- J.I.S. 2種
- M.F.J公認

GT-1 ¥ 8,500



- カラー/ホワイト・ブラック
- サイズ/M・L
- J.I.S. 1種
- M.F.J公認

GT-2 ¥ 8,800

GT-2はGT-1の
カラーリングしたもの

- カラー/レッド・ブルー・オレンジ・シルバー・グリーン
- サイズ/M・L
- J.I.S. 1種
- M.F.J公認

F-500DX ¥ 7,800



- カラー/ホワイト
- サイズ/M・L
- J.I.S. 1種
- M.F.J公認

GT-200 ¥ 8,200



- カラー/ホワイト・レッド・ブルー・グリーン・ブラック
- サイズ/M・L
- J.I.S. 1種
- M.F.J公認

GPA 日本総発売元 **ユ ニ コ**

東京都港区麻布狸穴町41-1
ライオンズマンション麻布狸穴104
☎ 03-586-1777

GPA フルフェス-G1 ¥35,000



- カラー/白・黒・シルバー・ブルー・レッド
- サイズ/55mm-60mm
- J.I.S. 2種
- M.F.J公認

GPA ジェットタイプ-G4 ¥25,000



- カラー/白・黒・シルバー・ブルー・レッド
- サイズ/55mm-60mm
- M.F.J公認



MFJ公認ヘルメット

製造元 日栄プラスチック株式会社

〒143 東京都大田区大森西1丁目8番3号 ☎ 03-762-2421

販売 ヤマハ発動機(株)部品部

《FS-100》

¥9,600



- カラー/白・グレイ・イエロー・オレンジ
- サイズ/S・M・L
- J.I.S I種

●M.F.J公認

《CS-500》

¥6,900



- カラー/白・グレイ・イエロー・オレンジ
- サイズ/S・M・L
- J.I.S I種

●M.F.J公認

JEB'S日本総代理店 日新通商株式会社

〒104 東京都中央区京橋3-6-15

第2吉井ビル3F ☎ 03-567-1770

《JEB'S ジェットタイプ》

¥17,000



- カラー/白・黒・赤
- サイズ/S・M・L
- バイザー付
- S SG / M.F.J公認



皮革製品専門メーカー

主要商品

- 革製ブーツ
- 革製ウェア類
- 皮革カート用品
- 革製手袋
- セーム皮
- 皮カバン
- その他革製品



皮革製品に関する事なら、
なんでも御相談下さい。

バギー印皮製品発売元

バギー玉井

〒577 大阪市西成区千本南1-22-11 ☎06(659)5192

信頼に応えるNGK。

勝利には、エンジンとプラグの
絶妙な調和があった。



NGK ニューレーシングプラグ

数多くのレース経験を生かして登場。B8EGV・B9EGV・B10EGV

●ロードレース用 ●モトクロス用 ●カートレース用 ●四輪レース用





スカッとさわやか コカ・コーラ



Come on in. Drink **Coke.**

Coca-ColaとCoke、コカ・コーラとコーラは The Coca-Cola Company の登録商標です

TRADE MARK REGD.

ライオン・コカ・コーラ株式会社
昭和五十六年一月二日発行
昭和五十四年三月十日第三種郵便物認可
発行所：日本コカ・コーラ株式会社
発行人：山田成巳
〒104 東京都中央区銀座一の九の二
定価 ¥100円